

平成 29 年度宮城県外国人県民アンケート
調査結果報告書【概要版】

平成 30 年 3 月

宮 城 県

目 次

I	調査の概要	5
	(1) 調査の目的	5
	(2) 調査対象	5
	(3) 調査方法	5
	(4) 調査期間	5
	(5) 調査票言語	5
	(6) 調査項目	5
	(7) 回収結果	6
	(8) 宮城県における在留外国人の概況	7
II	調査結果	13
1	基本属性	13
	(1) 国籍	13
	(2) 居住地	14
	(3) 性別	15
	(4) 年齢	16
	(5) 婚姻状況	17
	(6) 同居人	18
	(7) 在留資格	19
	(8) 今後の居住予定	20
	(9) 日本国籍の取得予定	21
2	日常生活	22
	(10) 生活満足度	22
	(11) 個別の事柄の満足度	23
3	言語	24
	(12) 日本語能力	24
	(13) 日本語の必要性	28
	(14) 日本語の学習状況	29
	(15) 日本語の学習方法	30
	(16) 日本語を学習しない理由	31
4	情報	32
	(17) 生活に必要な情報の入手先	32
5	居住	34
	(18) 居住年数	34
	(19) 以前の居住地	35
6	医療・福祉	36

(20)	保健・医療・介護サービスの利用経験	36
(21)	病院での困った経験	37
(22)	病院に求める言語支援	38
7	育児・教育	39
(23)	18歳未満の子どもの有無・年齢	39
(24)	子どもと会話する言語	40
(25)	育児で困っていること	42
(26)	子育て支援制度の利用経験	43
(27)	教育で困っていること	44
(28)	日本語教育のサポート制度の利用経験	45
(29)	母国語・母国文化の教育	46
(30)	母国語・母国文化の教育をしていない理由	47
8	労働	48
(31)	現在の雇用形態	48
(32)	現在の職業	49
(33)	現在の仕事の見つけ方	50
(34)	仕事上の困りごと・不満	51
(35)	今後の勤務地	52
(36)	仕事を探していない理由	53
9	社会生活一般	55
(37)	日本人との付き合い	55
(38)	相談相手	56
(39)	日本人との交流希望	58
(40)	差別経験	59
(41)	いやな経験、つらい思いの具体的内容	60
(42)	現在困っていること	61
(43)	社会活動	63
10	防災	64
(44)	東日本大震災の被災経験	64
(45)	地震直後に知りたかった情報	65
(46)	地震直後に得た情報の入手先	67
(47)	地震についての知識	69
(48)	津波についての知識	70
(49)	地震・津波についての知識の入手先	71
(50)	防災用語についての知識	72
(51)	災害から身を守る方法	73

1 1	行政	74
	(5 3) 行政施設を利用する上で困ったこと	74
	(5 4) 充実してほしい行政情報	76
	(5 5) 行政に求めること	78
III	アンケート調査票	79

I 調査の概要

I 調査の概要

(1) 調査の目的

外国人県民の生活実態や社会環境、意識を把握し、今後の多文化共生の社会づくりを進める上での基礎データとする。

(2) 調査対象

宮城県内に住民登録のある20歳以上の外国人県民から無作為抽出した方を対象

(3) 調査方法

郵送による送付・回収

(4) 調査期間

平成29年12月5日～平成29年12月25日

(5) 調査票言語

日本語（ふりがな付き）、中国語（簡体字）、韓国語、英語、ベトナム語、ネパール語

(6) 調査項目

1 基本属性(9問)	7 育児・教育(8問)
2 日常生活(2問)	8 労働(6問)
3 言語(5問)	9 社会生活一般(7問)
4 情報(1問)	10 防災(9問)
5 居住(2問)	11 行政(3問)
6 医療・福祉(3問)	12 自由意見
	全56問

(7) 回収結果

- ①調査票配布数 1, 890件
- ②回収数 396件 (回収率 21.0%)
- ③地域別回収状況

	調査票配布数	回収数	回収率(%)
仙台市	1130	217	19.2
仙台市以外	760	179	23.6
仙南地域	107	31	29.0
仙台地域	265	46	17.4
大崎地域	118	23	19.5
栗原地域	38	13	34.2
登米地域	34	4	11.8
石巻地域	140	23	16.4
気仙沼地域	58	14	24.1
無回答	-	25	-
宮城県合計	1890	396	21.0

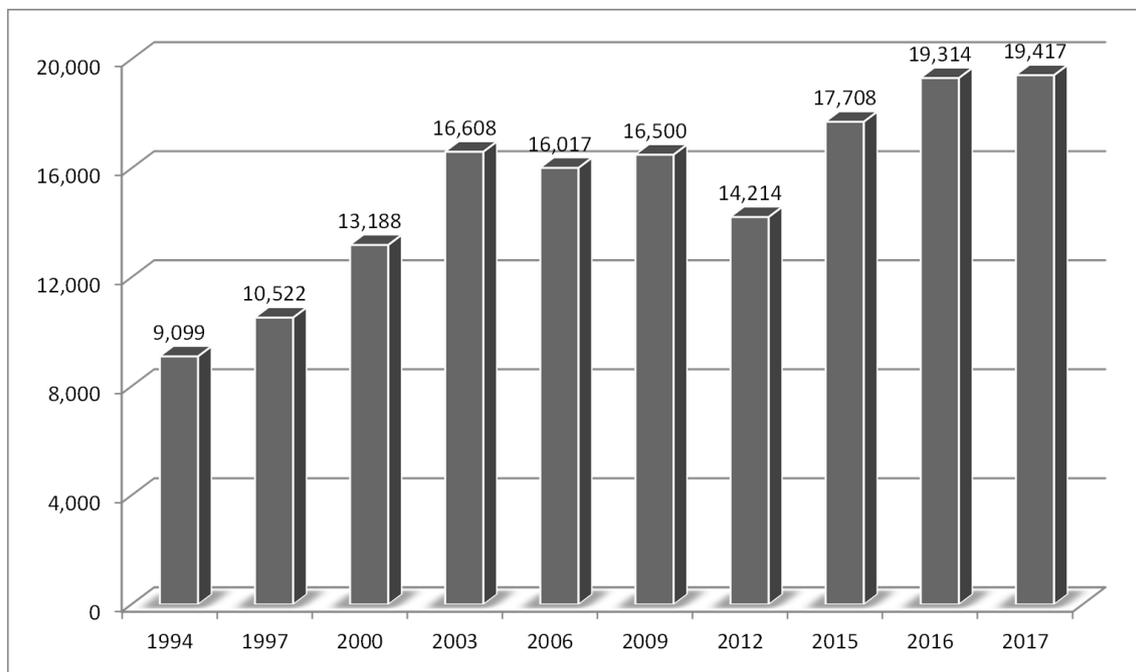
④有効回答の言語別内訳

	日本語	中国語	韓国語	英語	ベトナム語・ ネパール語	計
仙台市	93	53	19	46	7	218
仙台市以外	86	20	24	38	10	178
仙南地域	12	4	7	5	1	29
仙台地域	30	5	1	10	0	46
大崎地域	8	4	6	4	0	22
栗原地域	8	1	3	1	0	13
登米地域	1	1	1	1	0	4
石巻地域	12	2	4	5	0	23
気仙沼地域	11	1	0	2	0	14
無回答	4	2	2	10	9	27
宮城県合計	179 (45.2%)	73 (18.4%)	43 (10.9%)	84 (21.2%)	17 (4.3%)	396 (100%)

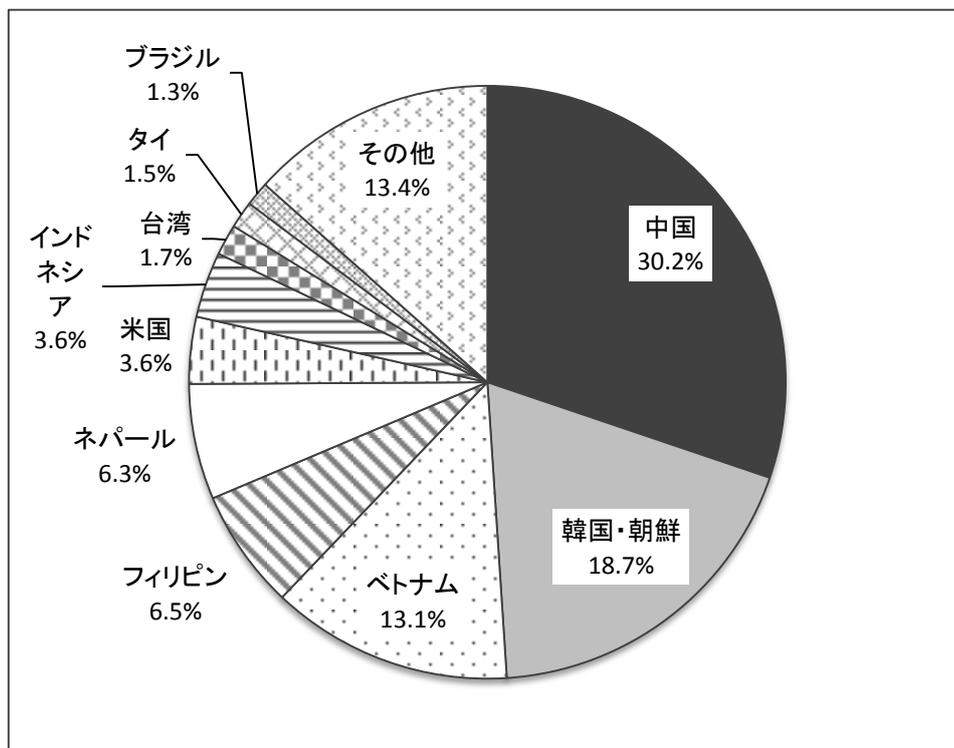
(8) 宮城県における在留外国人の概況

(【出典】法務省「在留外国人統計」)

①在留外国人数の推移 (人)

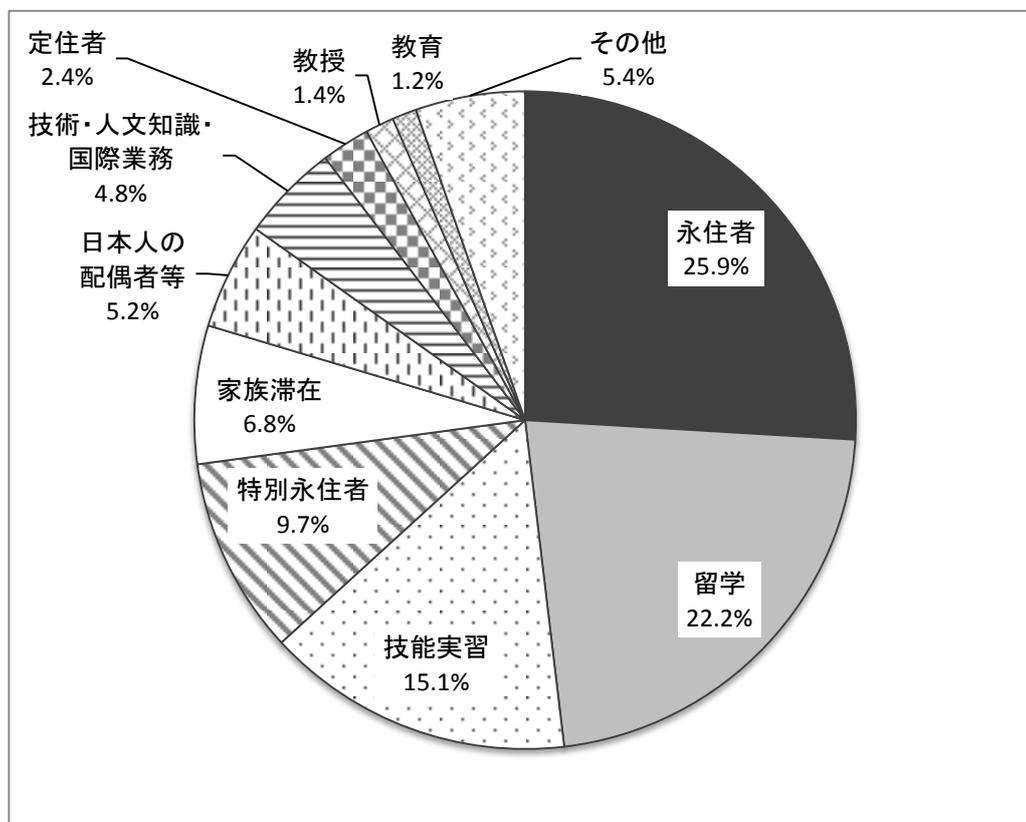


②国籍別登録者数



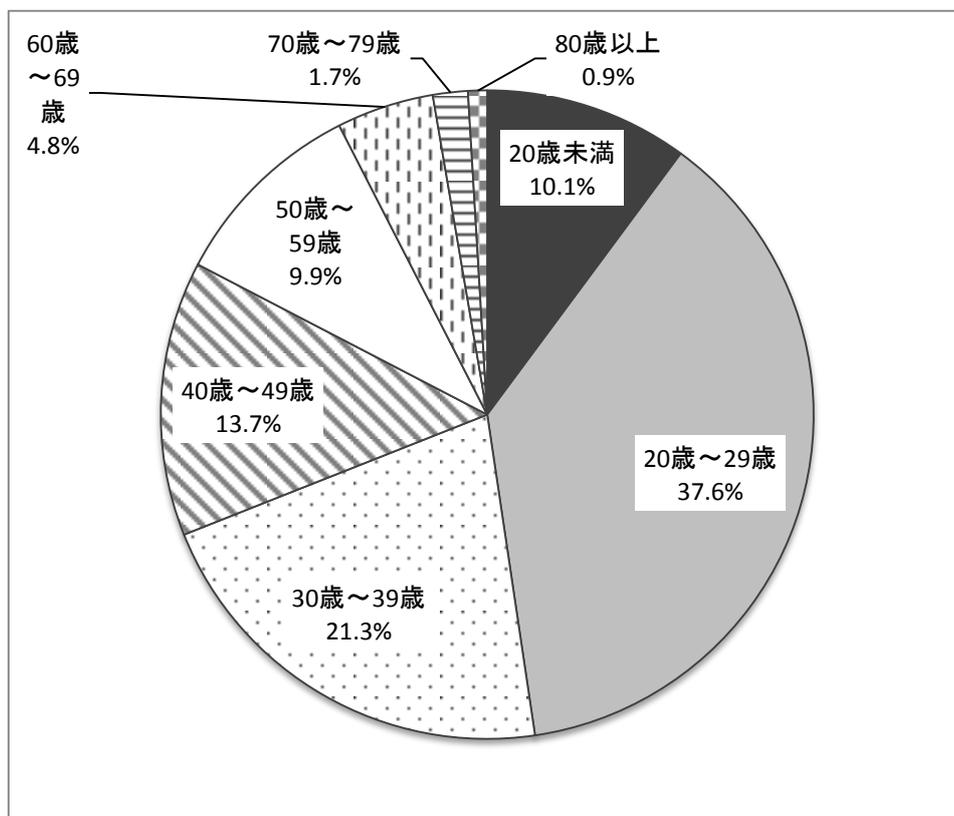
		N	%
1	中国	5,868	30.2%
2	韓国・朝鮮	3,639	18.7%
3	ベトナム	2,548	13.1%
4	フィリピン	1,266	6.5%
5	ネパール	1,224	6.3%
6	米国	708	3.6%
7	インドネシア	696	3.6%
8	台湾	326	1.7%
9	タイ	287	1.5%
10	ブラジル	256	1.3%
-	その他	2,599	13.4%
	計	19,417	100.0%

③在留資格別登録者数



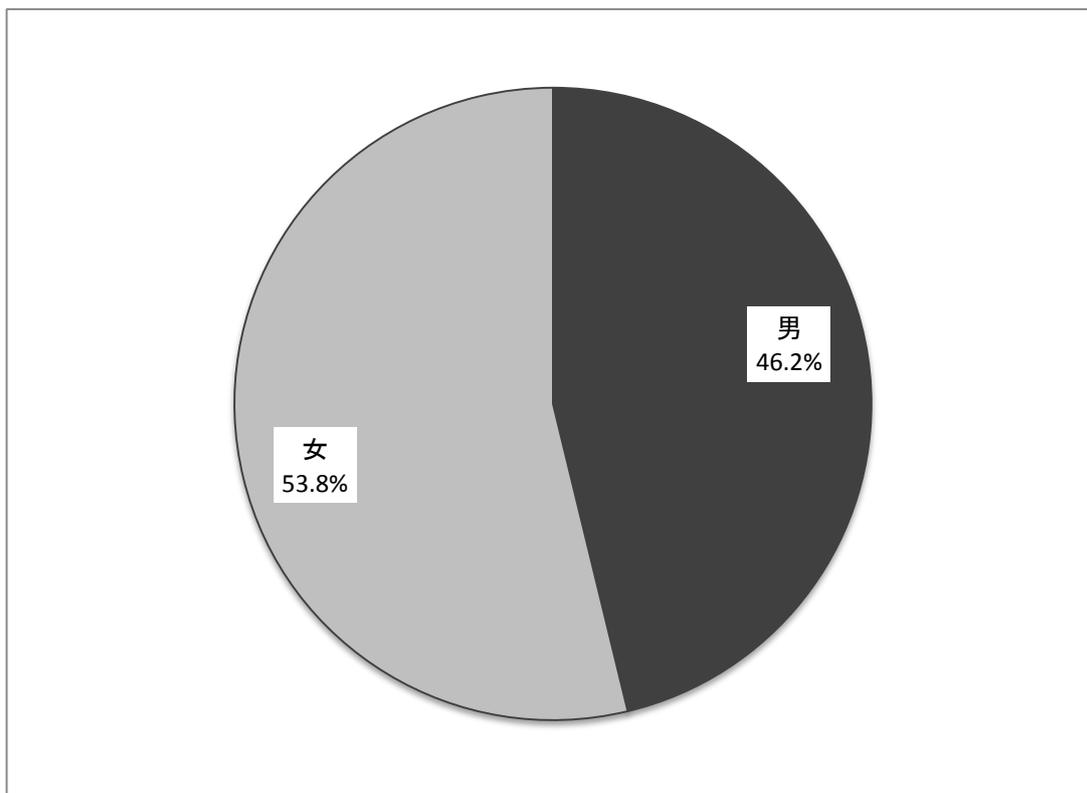
		N	%
1	永住者	5,038	25.9%
2	留学	4,304	22.2%
3	技能実習	2,926	15.1%
4	特別永住者	1,878	9.7%
5	家族滞在	1,319	6.8%
6	日本人の配偶者等	1,015	5.2%
7	技術・人文知識・国際業務	933	4.8%
8	定住者	460	2.4%
9	教授	273	1.4%
10	教育	231	1.2%
-	その他	1,040	5.4%
	計	19,417	100.0%

④年齢別登録者数



		N	%
1	20歳未満	1,961	10.1%
2	20歳～29歳	7,293	37.6%
3	30歳～39歳	4,137	21.3%
4	40歳～49歳	2,659	13.7%
5	50歳～59歳	1,913	9.9%
6	60歳～69歳	935	4.8%
7	70歳～79歳	336	1.7%
8	80歳以上	183	0.9%
	計	19,417	100.0%

⑤男女別登録者数



	N	%
男	8,976	46.2%
女	10,441	53.8%
計	19,417	100.0%

Ⅱ 調査結果

II 調査結果

1 基本属性

(1) 国籍

国籍の分布を見ると、中国籍者が 33.6%、韓国籍者が 23.2%を占めており、以下、フィリピンが 7.3%、ベトナムが 5.3%、アメリカ及びインドネシアが各 3.3%と続いている。

問1 あなたの国籍は次のどれですか

表1 国籍

	N	%
中国	133	33.6%
韓国	92	23.2%
フィリピン	29	7.3%
ベトナム	21	5.3%
米国	13	3.3%
インドネシア	13	3.3%
タイ	9	2.3%
台湾	7	1.8%
朝鮮	5	1.3%
ネパール	5	1.3%
パキスタン	2	0.5%
バングラデシュ	0	0.0%
その他	63	15.9%
無回答	4	1.0%
計	396	100.0%

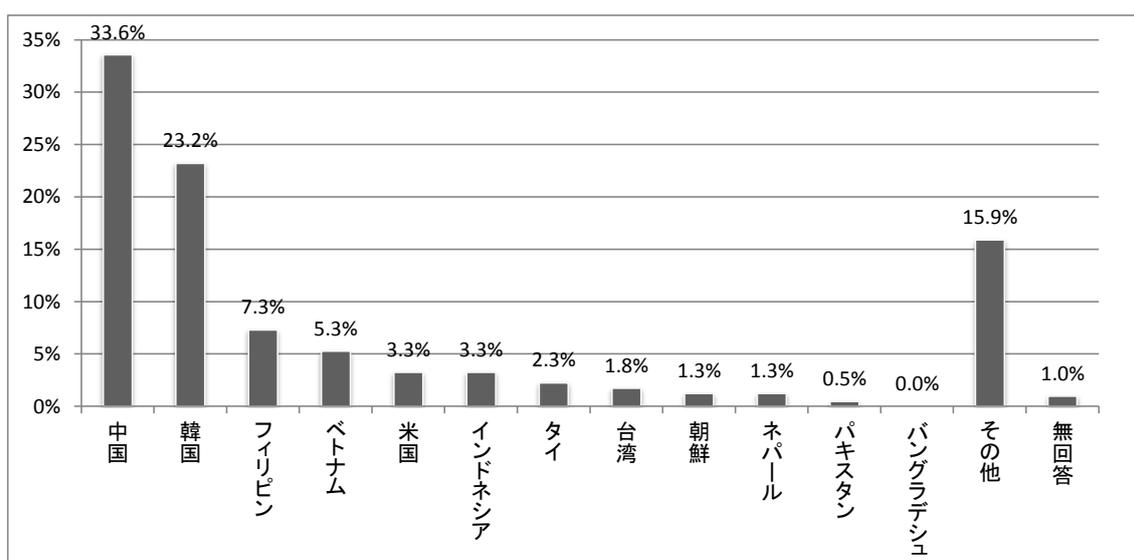


図1 国籍

(2) 居住地

回答者の居住地の分布を見ると、仙台市が全体の 54.8%を占めており、次いで仙台地域が 11.6%、仙南地域が 7.8%、大崎地域及び石巻地域が各 5.8%となっている。

問 2 あなたが住んでいる市町村はどこですか

表 2 居住地

	N	%		N	%		N	%
仙台市	217	54.8%	仙台地域	46	11.6%	加美町	3	9.7%
青葉区	74	18.7%	塩竈市	6	1.5%	涌谷町	1	0.3%
宮城野区	19	4.8%	名取市	7	1.8%	美里町	2	0.5%
太白区	17	4.3%	多賀城市	10	2.5%	栗原地域	13	3.3%
若林区	14	3.5%	岩沼市	6	1.5%	栗原市	13	3.3%
泉区	18	4.5%	富谷市	5	1.3%	登米地域	4	1.0%
無回答	75	18.9%	亶理町	0	0.0%	登米市	4	1.0%
仙南地域	31	7.8%	山元町	1	0.3%	石巻地域	23	5.8%
白石市	6	1.5%	松島町	3	0.8%	石巻市	19	4.8%
角田市	6	1.5%	七ヶ浜町	2	0.5%	東松島市	1	0.3%
蔵王町	1	0.3%	利府町	2	0.5%	女川町	3	0.8%
七ヶ宿町	3	0.8%	大和町	3	0.8%	気仙沼地域	14	3.5%
大河原町	4	1.0%	大郷町	0	0.0%	気仙沼市	13	3.3%
村田町	1	0.3%	大衡村	0	0.0%	南三陸町	1	0.3%
柴田町	5	1.3%	無回答	1	0.3%	その他	5	1.3%
川崎町	0	0.0%	大崎地域	23	5.8%	無回答	20	5.1%
丸森町	3	0.8%	大崎市	17	4.3%			
無回答	2	0.5%	色麻町	0	0.0%			
						計	396	100.0%

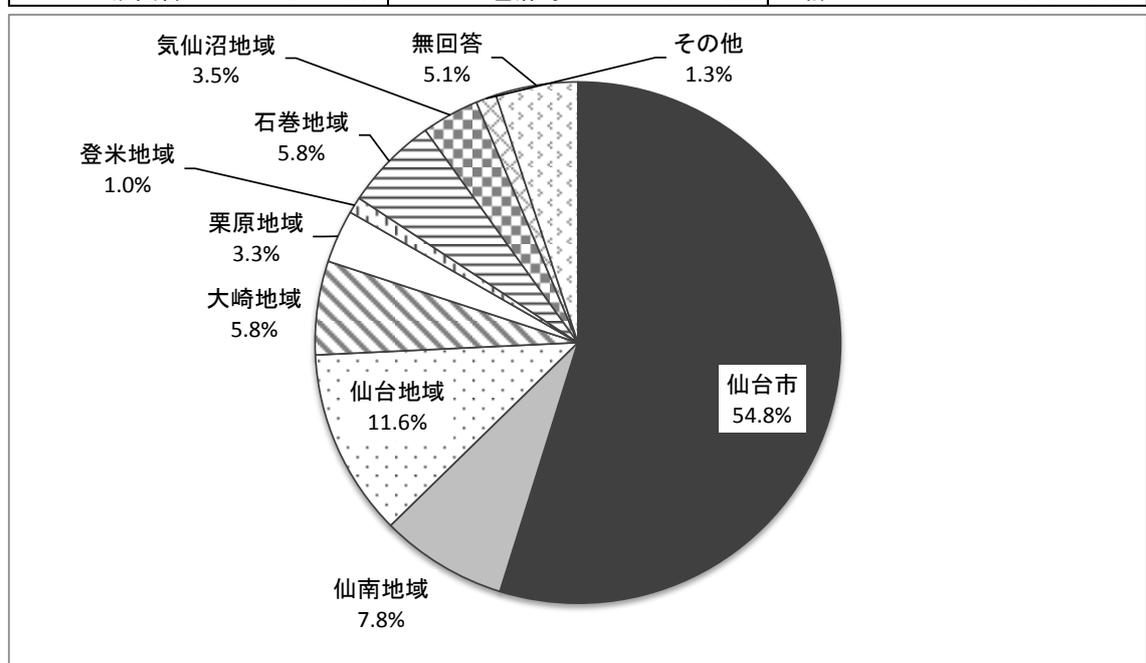


図 2 居住地

(3) 性別

性別の分布を見ると、女性が 64.4%、男性が 34.1%となっており、女性の割合が高くなっている。2017年6月の法務省在留外国人統計を見ると、宮城県に在住する外国籍者のうち女性が 53.8%、男性が 46.2%となっているため、今回の調査では女性の回答者数がやや高くなっていることがわかる。

問3 あなたの性別はどちらですか

表3 性別

	N	%
男	135	34.1%
女	255	64.4%
無回答	6	1.5%
計	396	100.0%

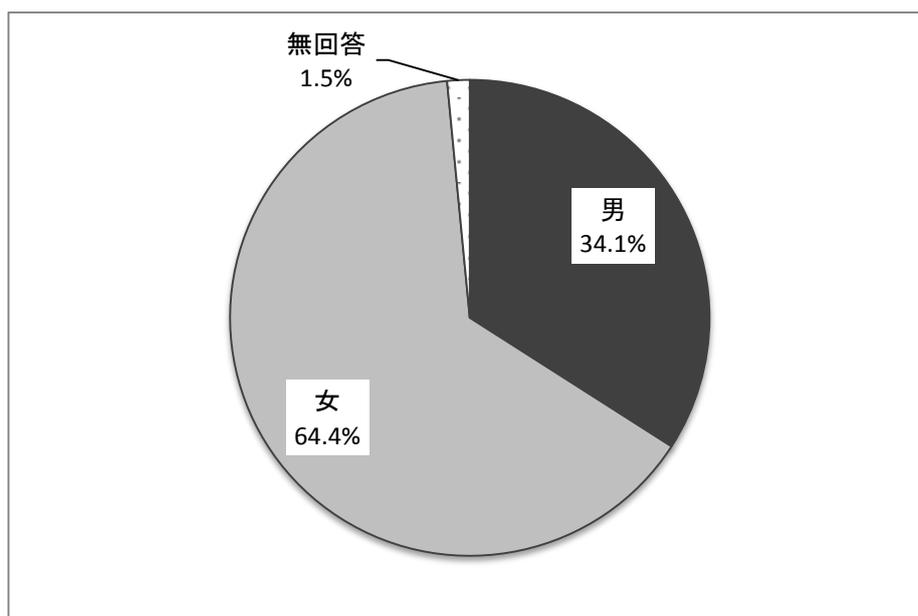


図3 性別

(4) 年齢

年齢の分布を見ると、30歳代が28.5%、20歳代が24.2%、40歳代が22.2%となっており、40歳代以下で全体の約75%を占めている。

問4 あなたの年齢は以下のどれにあてはまりますか

表4 年齢

	N	%
20歳未満	0	0.0%
20歳代	96	24.2%
30歳代	113	28.5%
40歳代	88	22.2%
50歳代	50	12.6%
60歳代	29	7.3%
70歳代	11	2.8%
80歳代	4	1.0%
無回答	5	1.3%
計	396	100.0%

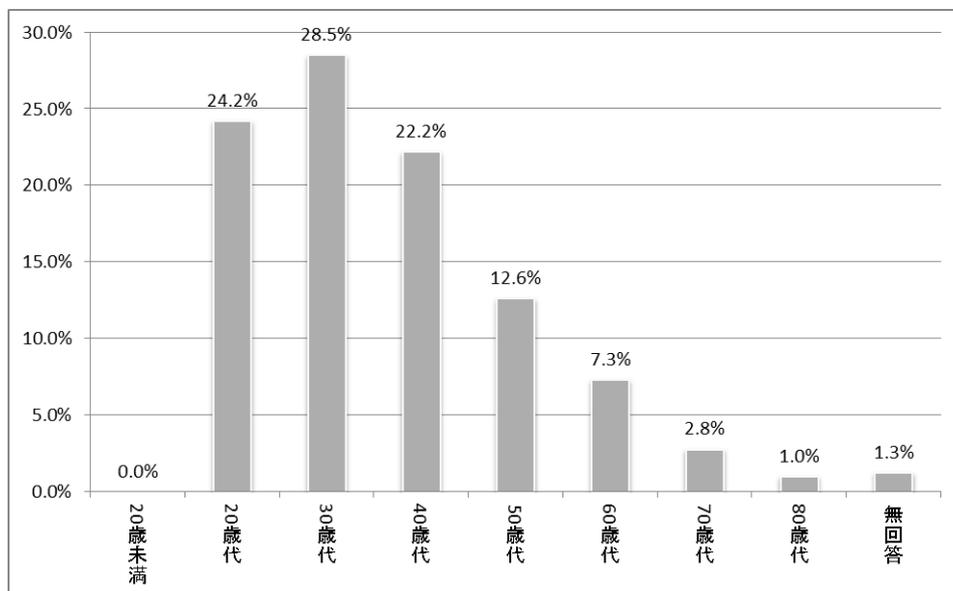


図4 年齢

(5) 婚姻状況

回答者の婚姻状況は、61.4%が既婚、29.0%が未婚となっている。既婚者のうち 55.1% (全体で見ると 33.8%) は配偶者が日本国籍を持っており、30.8% (全体で見ると 18.9%) は配偶者が回答者と同国籍である。

問 5 あなたは結婚していますか

表 5 婚姻状況

	N	%
している	243	61.4%
配偶者国籍		
日本	134	33.8%
同じ国籍	75	18.9%
その他	7	1.8%
無回答	27	6.8%
していない	115	29.0%
していたが、死別又は離別した	33	8.3%
無回答	5	1.3%
計	396	100.0%

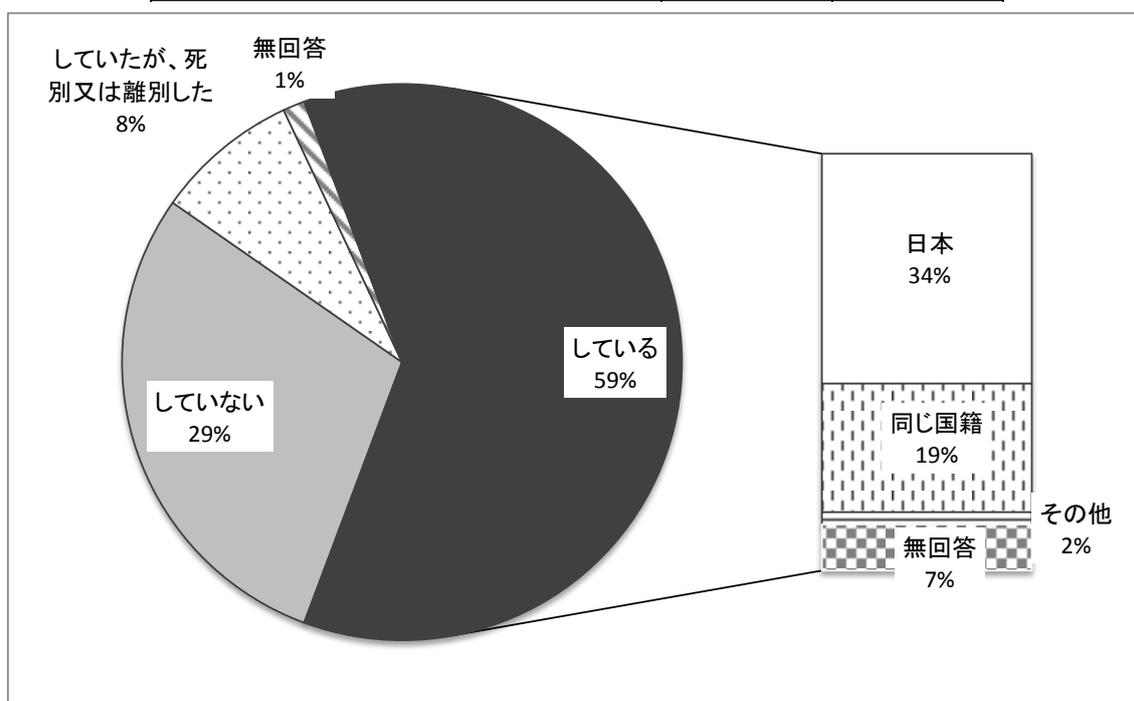


図 5 婚姻状況

(6) 同居人

回答者の同居の有無、誰と同居しているのかについて見ると、73.0%が誰かと同居していると答えており、一人暮らしをしている人は全体の22.7%である。同居している相手としては、配偶者の割合が最も高く56.3%となっている。次いで、子どもと同居している割合が36.1%、友人・知人と同居している割合が10.1%、父親・母親と同居している割合が8.3%となっている。

問6 現在あなたと同居している人はいますか（複数回答）

表6 同居人

	N	%
配偶者	223	56.3%
子ども	143	36.1%
父親・母親	33	8.3%
祖父母	5	1.3%
孫	5	1.3%
その他の親族(兄弟姉妹を含む)	11	2.8%
友人・知人	40	10.1%
ひとり暮らし	90	22.7%
無回答	17	4.3%
計	396	100.0%

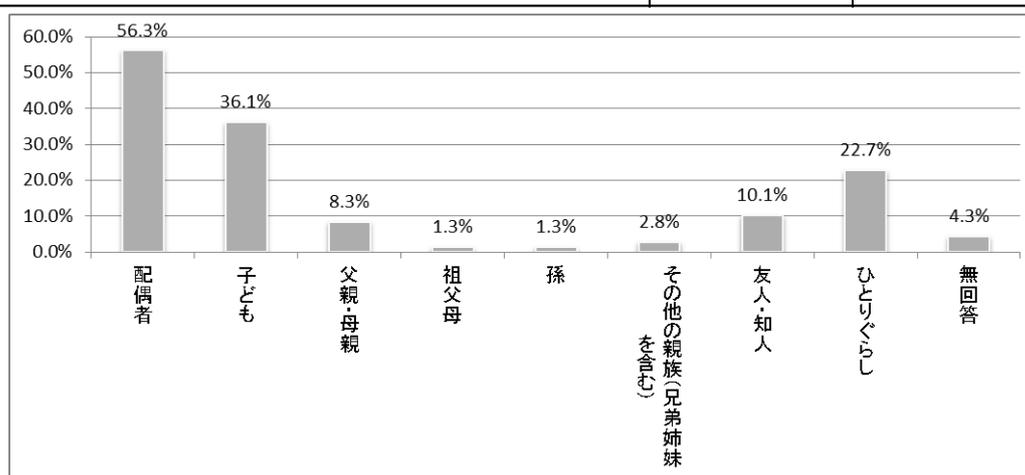


図6 同居人

(7) 在留資格

回答者の在留資格の分布を見ると、永住が 38.9%と最も高く、次いで留学が 15.9%、特別永住者が 9.8%、日本人の配偶者等が 9.1%となっている。

問 7 あなたの在留資格は以下のどれですか

表 7 在留資格

	N	%
永住者	154	38.9%
留学	63	15.9%
日本人の配偶者等	36	9.1%
特別永住者	39	9.8%
技能実習	25	6.3%
家族滞在	21	5.3%
技術・人文知識・国際業務	21	5.3%
定住者	6	1.5%
教育	7	1.8%
特定活動	5	1.3%
教授	4	1.0%
技能	3	0.8%
宗教	3	0.8%
その他	5	1.3%
無回答	4	1.0%
計	396	100.0%

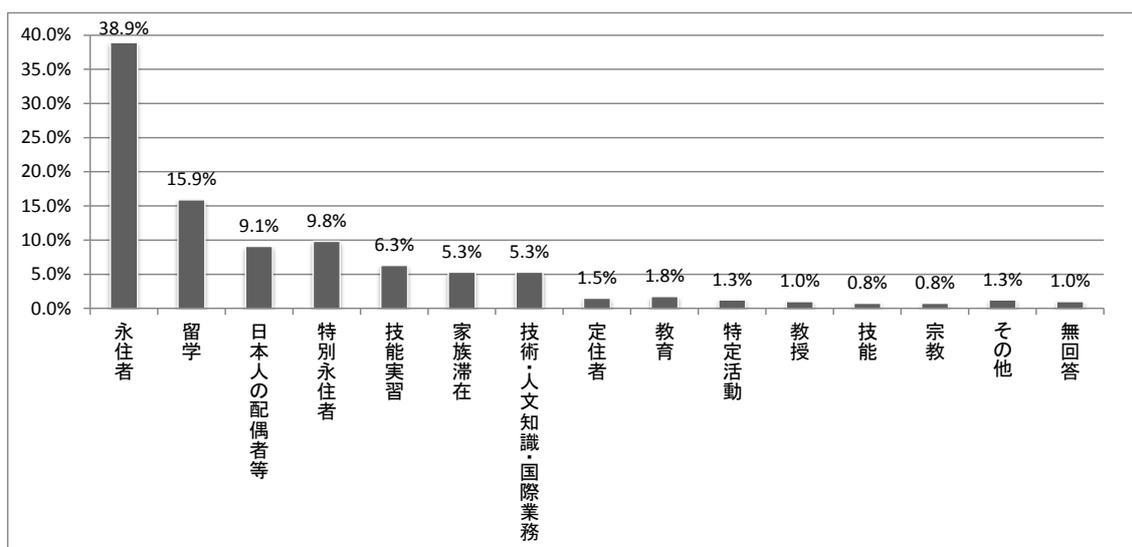


図 7 在留資格

(8) 今後の居住予定

今後の居住予定の分布を見ると、ずっと宮城県に住み続ける予定の人が最も多く、全体の43.2%を占めている。宮城県以外で日本に定住する予定の人（「日本には永住するが、宮城から転出する」または「日本には永住するが、宮城に住み続けるかわからない」）の割合は18.9%で、日本を離れるかどうかかわからない人（16.4%）や将来日本を離れる予定の人（14.9%）をやや上回っている。

問8 あなたは今後どれくらい、宮城県または日本に住もうと思っていますか

表8 今後の居住予定

	N	%
ずっと宮城県に住み続ける	171	43.2%
日本には永住するが、宮城県からは転出する	12	3.0%
日本には永住するが、宮城県に住み続けるかわからない	63	15.9%
将来は日本を離れる	59	14.9%
日本を離れるかどうかかわからない	65	16.4%
その他	23	5.8%
無回答	3	0.8%
計	396	100.0%

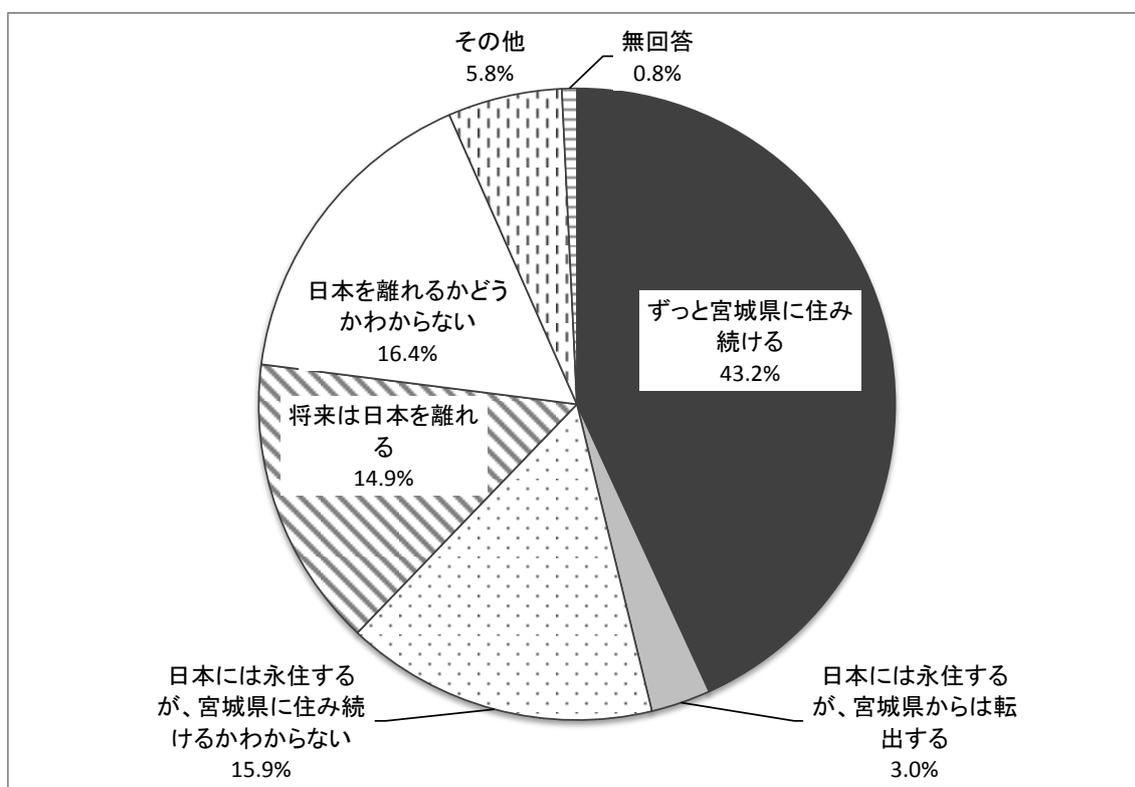


図8 今後の居住予定

(9) 日本国籍の取得予定

国籍取得予定の分布を見ると、取得する予定のない人が 42.9%と最も多く、わからないと答えた人が 36.4%、取得する予定の人は 17.7%にとどまる。

問 9 あなたは日本国籍を取得しようと思っていますか

表 9 日本国籍の取得予定

	N	%
取得する	70	17.7%
取得しない	170	42.9%
わからない	144	36.4%
無回答	12	3.0%
計	396	100.0%

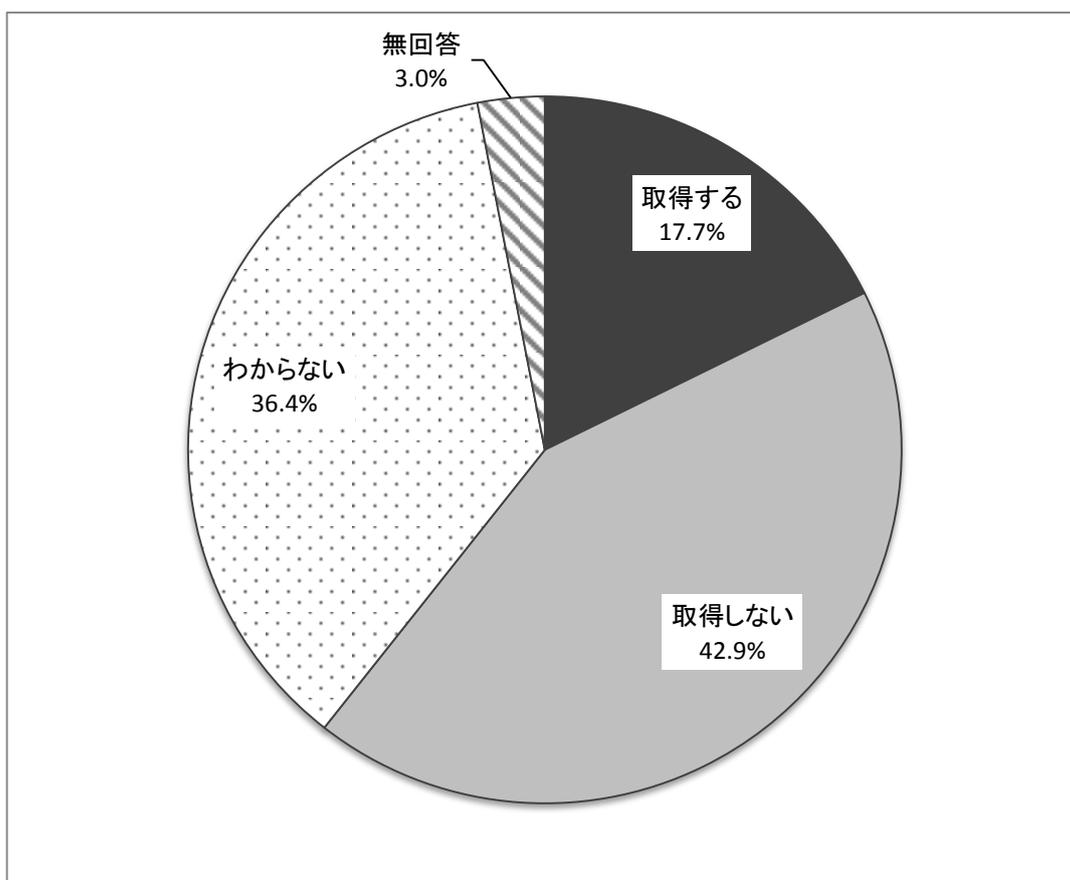


図 9 日本国籍の取得予定

2 日常生活

(10) 生活満足度

生活満足度の分布を見ると、全体の80%以上が「満足」(45.7%)または「やや満足」(37.9%)と答えており、「不満」(5.8%)または「やや不満」(2.3%)と答える人は全体の10%に満たない。

問10 お住まいの地域の日常生活について、総合的に、どのように感じていますか

表10 生活満足度

	N	%
満足	181	45.7%
やや満足	150	37.9%
やや不満	23	5.8%
不満	9	2.3%
どちらともいえない	23	5.8%
無回答	10	2.5%
総計	396	100.0%

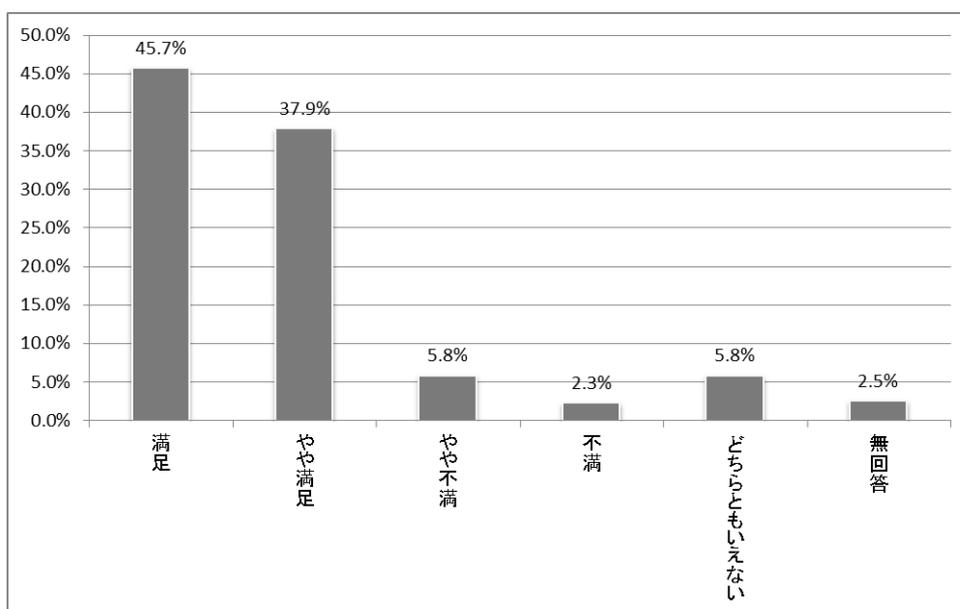


図10 生活満足度

(11) 個別の事柄の満足度

日常生活における個々の事項についての満足度の分布を見ると、生活情報や住環境、災害に対する備え、医療・福祉については、40%を上回る回答者が「満足」と回答し、「やや満足」と合わせると、80%程度となっている。これに対して、「近所付き合い」や「県や市町村が提供するサービス」については「満足」及び「やや満足」を合わせて約70%と満足度がやや低くなっており、「どちらともいえない」と回答する人が約16%となっている。

問 11 日常生活に関する次の個別の事柄について、どのように感じていますか

表 11 個別の事柄の満足度

	生活情報		住宅環境		災害に対する備え		医療・福祉		近所付き合い		県や市町村が提供するサービス	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
満足	159	40.2%	177	44.7%	188	47.5%	181	45.7%	126	31.8%	143	36.1%
やや満足	152	38.4%	141	35.6%	116	29.3%	129	32.6%	153	38.6%	134	33.8%
やや不満	26	6.6%	38	9.6%	34	8.6%	30	7.6%	25	6.3%	24	6.1%
不満	16	4.0%	13	3.3%	14	3.5%	15	3.8%	16	4.0%	18	4.5%
どちらともいえない	31	7.8%	16	4.0%	32	8.1%	30	7.6%	64	16.2%	66	16.7%
無回答	12	3.0%	11	2.8%	12	3.0%	11	2.8%	12	3.0%	11	2.8%
計	396	100%	396	100.0%	396	100%	396	100%	396	100%	396	100%

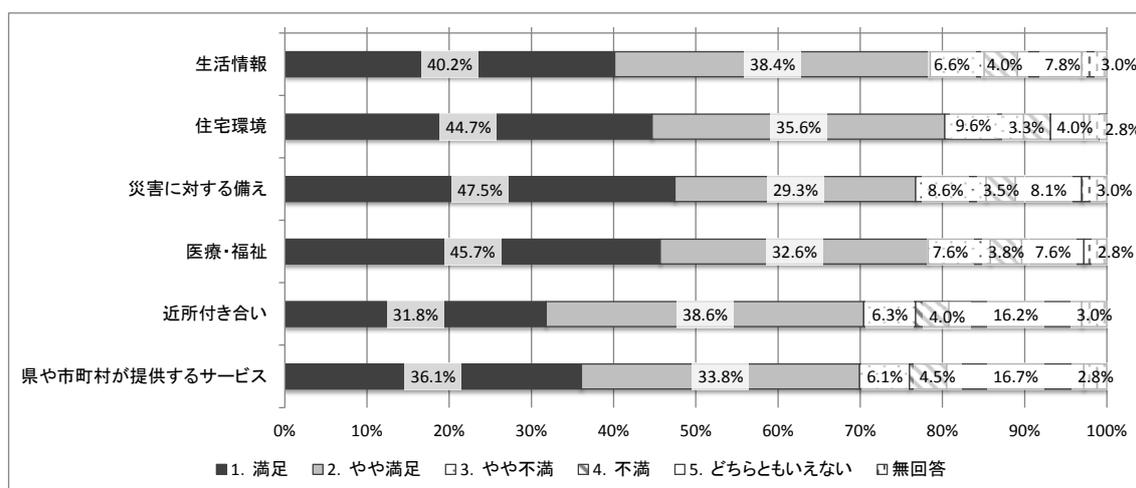


図 11 個別の事柄の満足度

3 言語

(12) 日本語能力

① 話す能力

日本語を話す能力については、不自由なく話せる人が 38.4%、だいたい話せる人が 36.4% となり、「あまり話せない」または「ほとんど話せない」と回答した人は全体の 23.5% となっている。

問 12 あなたの日語能力を自分で判断するとすれば、次のどれにあたりますか

表 12-1 話す能力

A 話す	N	%
不自由なく話せる	152	38.4%
だいたい話せる	144	36.4%
あまり話せない	65	16.4%
ほとんど話せない	28	7.1%
無回答	7	1.8%
計	396	100%

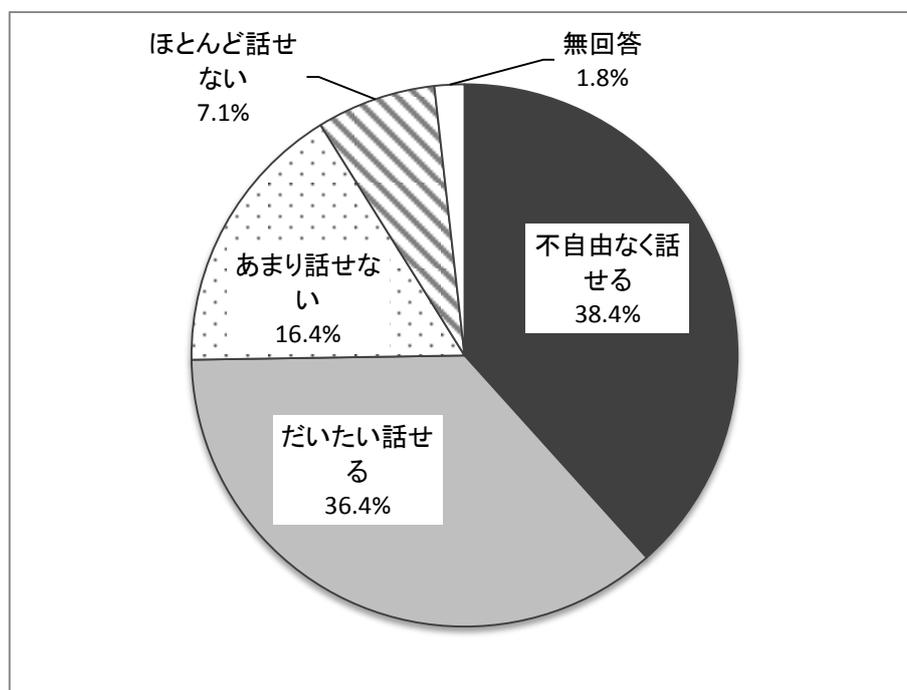


図 12-1 話す能力

② 聞く能力

日本語を聞く能力の分布を見ると、「だいたい聞き取れる」と回答した人が40%を超えており、「不自由なく聞き取れる」と回答した人と合わせると、全体の約80%となっている。一方で、「あまり聞き取れない」または「ほとんど聞き取れない」と回答した人の割合は全体の20%未満にとどまる。

表 12-2 聞く能力

B 聞く	N	%
不自由なく聞き取れる	151	38.1%
だいたい聞き取れる	163	41.2%
あまり聞き取れない	52	13.1%
ほとんど聞き取れない	22	5.6%
無回答	8	2.0%
計	396	100%

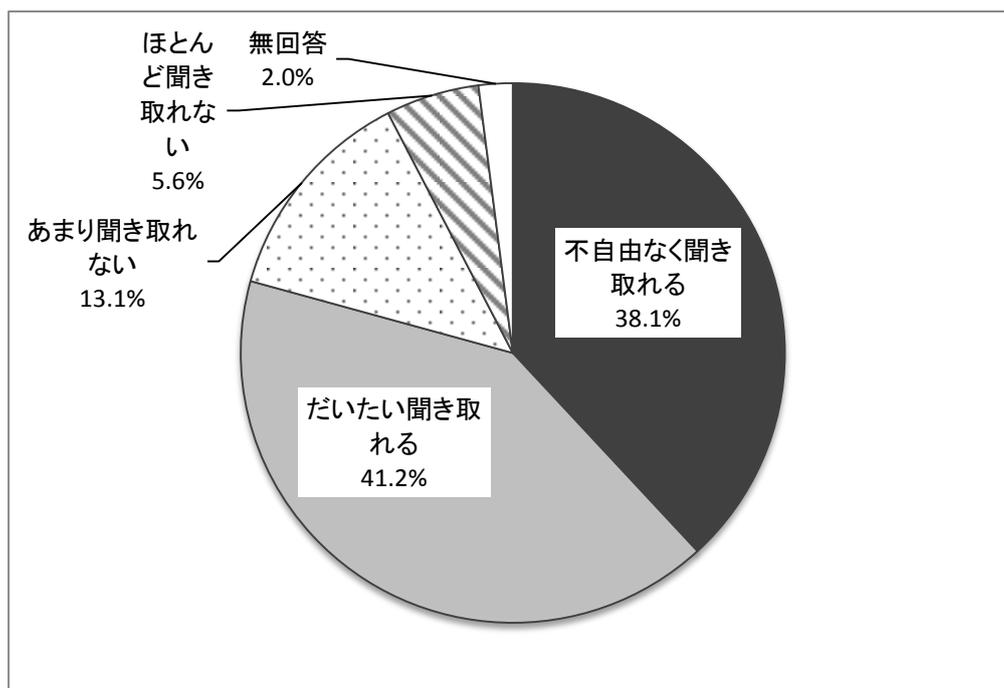


図 12-2 聞く能力

③ 読む能力

日本語を読む能力の分布を見ると、ひらがなやカタカナを読める割合は高く、ひらがなは63.1%が「不自由なく読める」、21.7%が「だいたい読める」、カタカナについては56.1%が「不自由なく読める」、27.3%が「だいたい読める」と回答している。これに比べて漢字を読むことができる割合はやや低く、「不自由なく読める」割合は31.3%、「あまり読めない」と「ほとんど読めない」を合わせると37.7%となっている。

表 12-3 読む能力

C 読む	漢字		ひらがな		カタカナ	
	N	%	N	%	N	%
不自由なく読める	124	31.3%	250	63.1%	222	56.1%
だいたい読める	116	29.3%	86	21.7%	108	27.3%
あまり読めない	89	22.5%	23	5.8%	26	6.6%
ほとんど読めない	60	15.2%	20	5.1%	24	6.1%
無回答	7	1.8%	17	4.3%	16	4.0%
計	396	100%	396	100%	396	100%

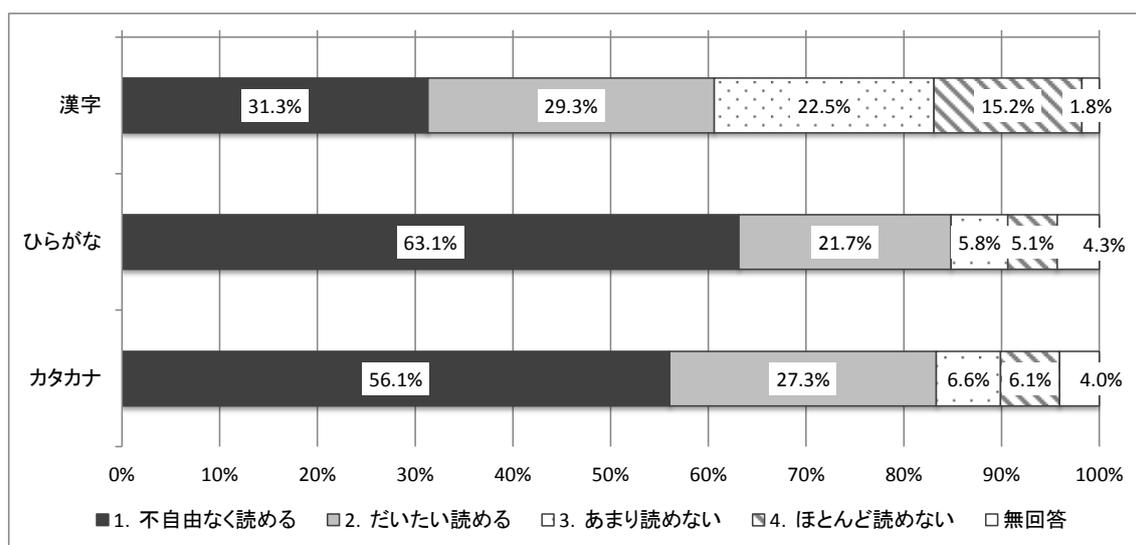


図 12-3 読む能力

④ 書く能力

日本語を書く能力については、読む能力と同様、ひらがなとカタカナを書ける割合は高く、80%程度が「不自由なく書ける」もしくは「だいたい書ける」と回答している。一方、漢字については、「不自由なく書ける」または「だいたい書ける」割合は53.8%にとどまり、「あまり書けない」または「ほとんど書けない」と回答している割合が40%を超えている。

表 12-4 書く能力

D 書く	漢字		ひらがな		カタカナ	
	N	%	N	%	N	%
不自由なく書ける	111	28.0%	227	57.3%	206	52.0%
だいたい書ける	102	25.8%	96	24.2%	100	25.3%
あまり書けない	99	25.0%	32	8.1%	41	10.4%
ほとんど書けない	76	19.2%	27	6.8%	36	9.1%
無回答	8	2.0%	14	3.5%	13	3.3%
計	396	100%	396	100%	396	100%

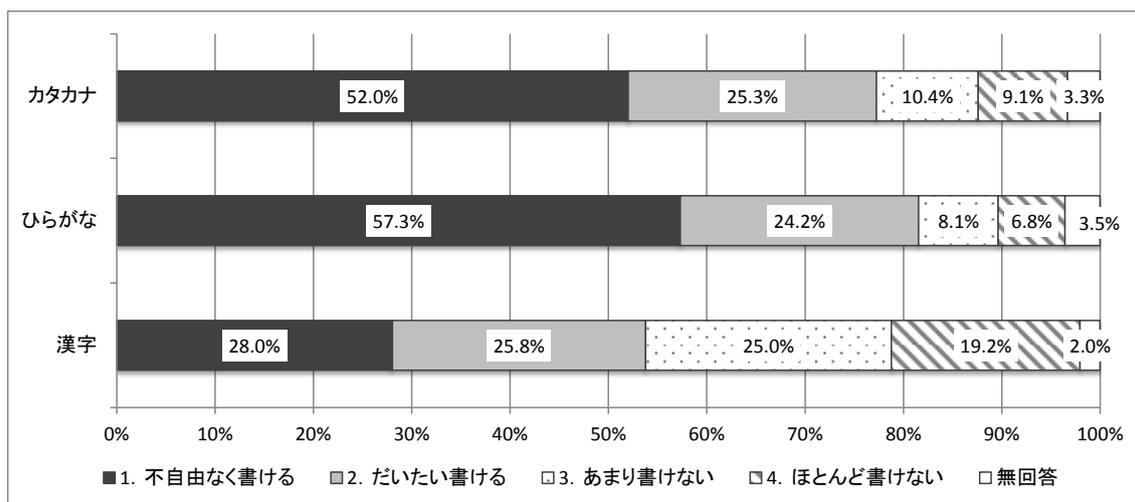


図 12-4 書く能力

(13) 日本語の必要性

日本語の必要性についての意見の分布を見ると、「日常生活のために必要」と考える人が69.7%と最も多く、次いで「現在の仕事・勉強をしていくために必要」が52.3%、「日本人とつきあうために必要」が46.7%となっている。一方、日本語が必要ないと考える人は少数であり、「必要ない」、「いずれ帰国するのであれば必要ない」、「母国語で暮らせるのであれば必要ない」と答えた人はいずれも3%に満たない。

問 13 日本語の必要性についてどのように考えますか (複数回答)

表 13 日本語の必要性

	N	%
日常生活のために必要	276	69.7%
現在の仕事・勉強をしていくために必要	207	52.3%
日本人とつきあうために必要	185	46.7%
日本に永住するために必要	147	37.1%
希望する仕事を見つけるために必要	111	28.0%
必要ない	9	2.3%
いずれ帰国するのであれば必要ない	7	1.8%
母国語で暮らせるのであれば必要ない	4	1.0%
その他	17	4.3%
無回答	6	1.5%
計	396	100%

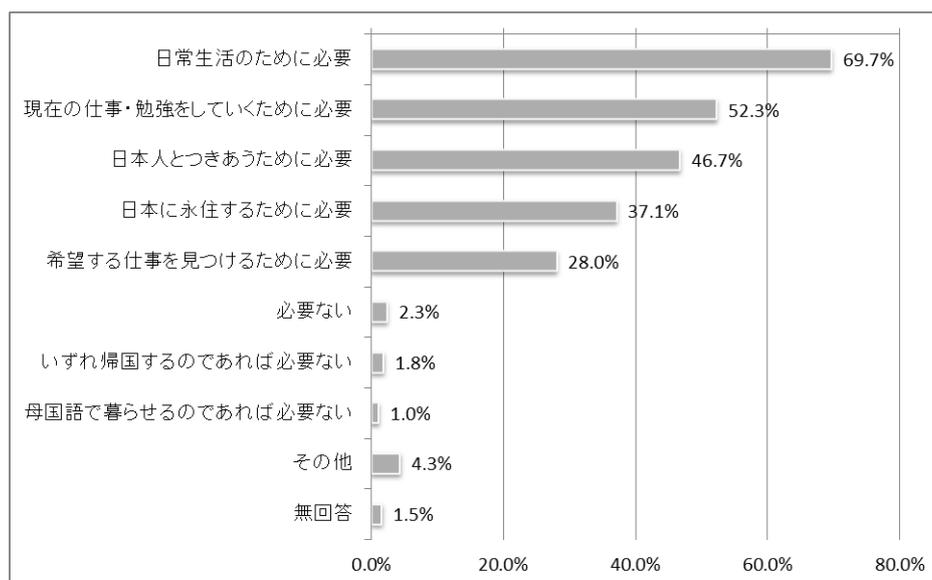


図 13 日本語の必要性

(14) 日本語の学習状況

日本語の学習状況の分布を見ると、「現在、学習している」が 35.1%と最も多く、次いで「日本語に不自由はないので、学習の必要はない」が 30.8%、「現在は学習していないが、できれば学習したい」が 28.0%、「現在は学習していないし、学習するつもりはない」が 3.8%となっている。

問 14 あなたの日本語の学習状況は、次のどれにあてはまりますか

表 14 日本語の学習状況

	N	%
現在、学習している	139	35.1%
日本語に不自由はないので、学習の必要はない	122	30.8%
現在は学習していないが、できれば学習したい	111	28.0%
現在は学習していないし、学習するつもりもない	15	3.8%
無回答	9	2.3%
計	396	100%

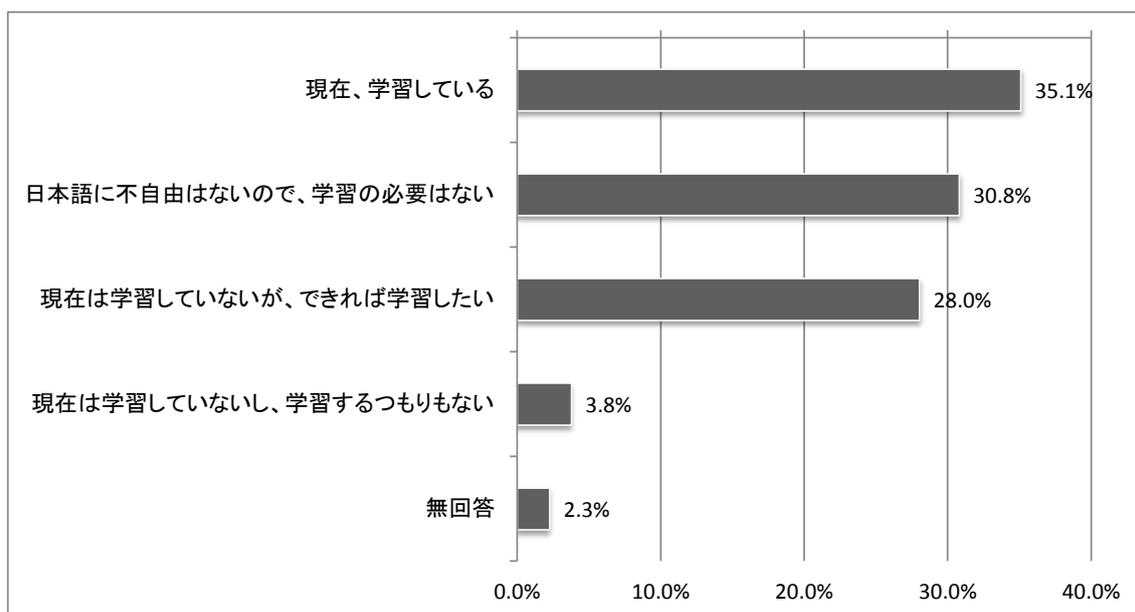


図 14 日本語の学習状況

(15) 日本語の学習方法

日本語の学習方法を見ると、「教材やインターネットまたはオンラインなどを通じて自分で勉強している」の割合が最も高く、現在日本語を学習している人のうちの 61.2%となっている。次いで、「日本人の知人・友人に教えてもらっている」または「通っている大学や学校で学んでいる」が各 22.3%、「ボランティアの日本語教室に通っている」が 14.4%となっている。

問 15 あなたはどのように日本語を学んでいますか（複数回答）

（問 14 で「現在、学習している」を選択した人）

表 15 日本語の学習方法

	N	%
教材やインターネットまたはオンラインなどで自分で勉強している	85	61.2%
日本人の知人・友人に教えてもらっている	31	22.3%
通っている大学や学校で学んでいる	31	22.3%
家族に教えてもらっている	16	11.5%
ボランティアの日本語教室に通っている	20	14.4%
語学学校（日本語学校）に通っている	11	7.9%
自宅に講師を招き、個人指導を受けている	3	2.2%
その他	16	11.5%
無回答	1	0.7%
計	139	100%

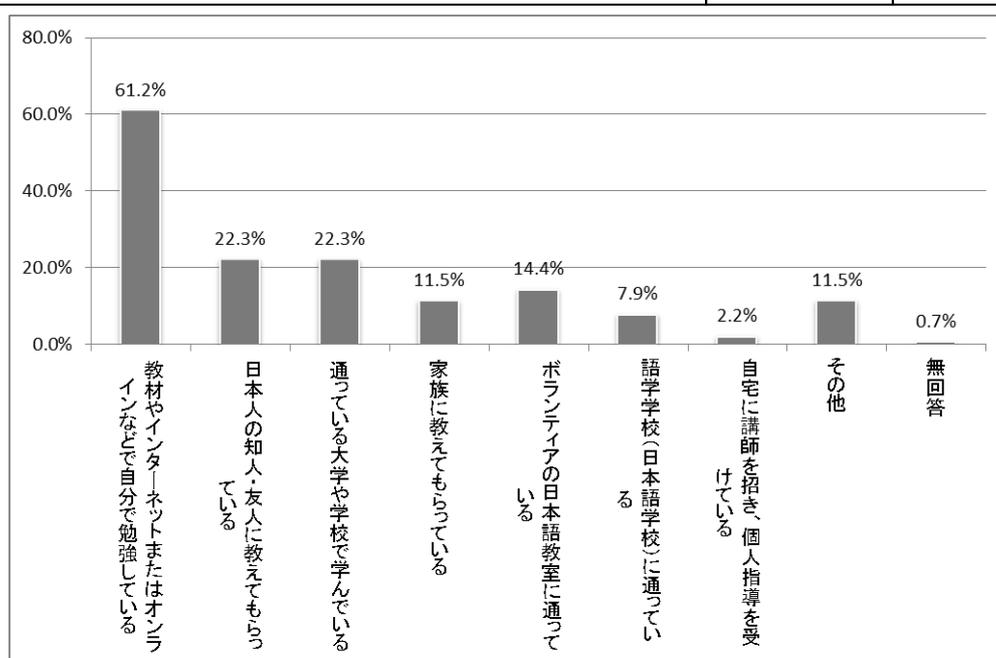


図 15 日本語の学習方法

(16) 日本語を学習しない理由

日本語を学習しない理由の分布を見ると、「忙しくて勉強する時間がないから」と答えた人が最も多く、現在学習していない人のうち 55.6% を占めている。次いで、「近くに学べる場がないから」を選択する人が 33.3%、「日本語教室や日本語学校の情報がないから」を選択する人が 23.8%、「勉強するお金がないから」を選択する人が 21.4% となっている。

問 16 あなたが日本語を学ばない、学んでいない理由は何ですか（複数回答）

（問 14 で「現在は学習していないが、できれば学習したい」または「現在は学習していないし、学習するつもりもない」と選択した人）

表 16 日本語を学習しない理由

	N	%
忙しくて勉強する時間がないから	70	55.6%
近くに学べる場がないから	42	33.3%
日本語教室や日本語学校の情報がないから	30	23.8%
勉強するお金がないから	27	21.4%
家族や友人などが通訳してくれるから	25	19.8%
母国の言葉だけで生活できるから	3	2.4%
その他	16	12.7%
無回答	4	3.2%
計	126	100%

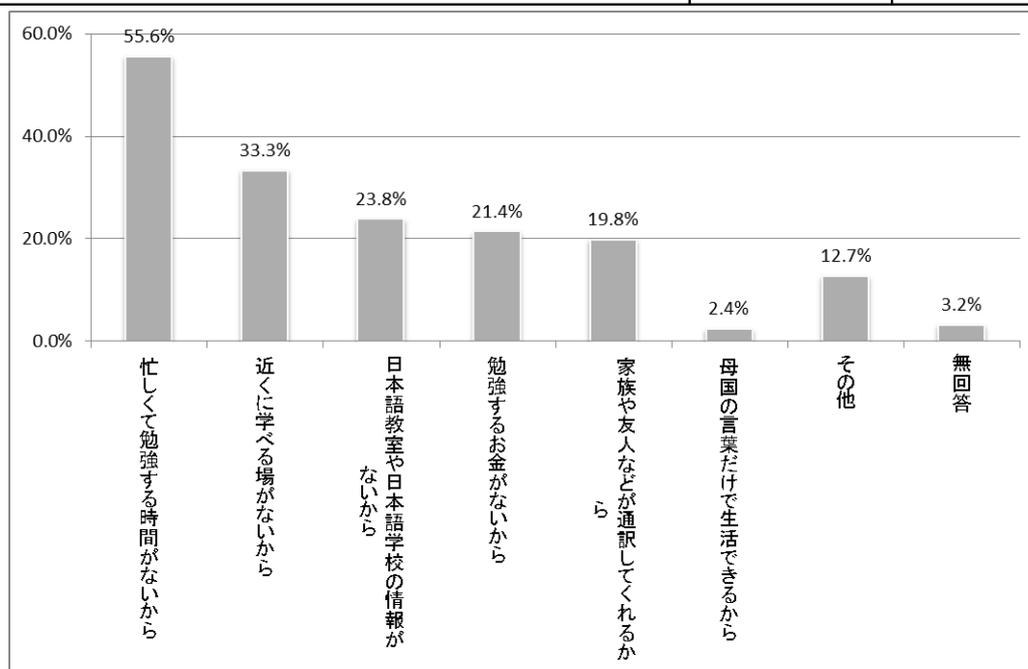


図 16 日本語を学習しない理由

4 情報

(17) 生活に必要な情報の入手先

生活に必要な情報の入手手段として、最も多くの方が携帯電話を使用したインターネットと答え、47.2%を占める。次いで、テレビ・ラジオを選んだ人が45.7%、日本人の友人・知人を選んだ人が42.7%、パソコンを使用したインターネットを選んだ人が41.4%となっている。メディアや個人的なネットワークを利用して情報を入手する人が多い一方、母国の大使館や領事館、外国籍住民向け相談窓口などの公的機関や団体などを通して情報を入手している人の割合は低いと言える。

問 17 あなたは、生活に必要な情報をどこから得ていますか（複数回答）

表 17 生活に必要な情報の入手先

	N	%
携帯電話を使用したインターネット	187	47.2%
テレビ・ラジオ	181	45.7%
日本人の友人・知人	169	42.7%
パソコンを使用したインターネット	164	41.4%
職場・学校	138	34.8%
家族	131	33.1%
母国出身の友人・知人	103	26.0%
新聞・雑誌	86	21.7%
近所の日本人、町内会の回覧	72	18.2%
外国籍住民向け相談窓口(みやぎ外国人相談センターなど)	22	5.6%
母国の大使館・領事館	14	3.5%
ボランティア団体	9	2.3%
入手する方法がない	9	2.3%
その他	11	2.8%
無回答	20	5.1%
計	396	100%

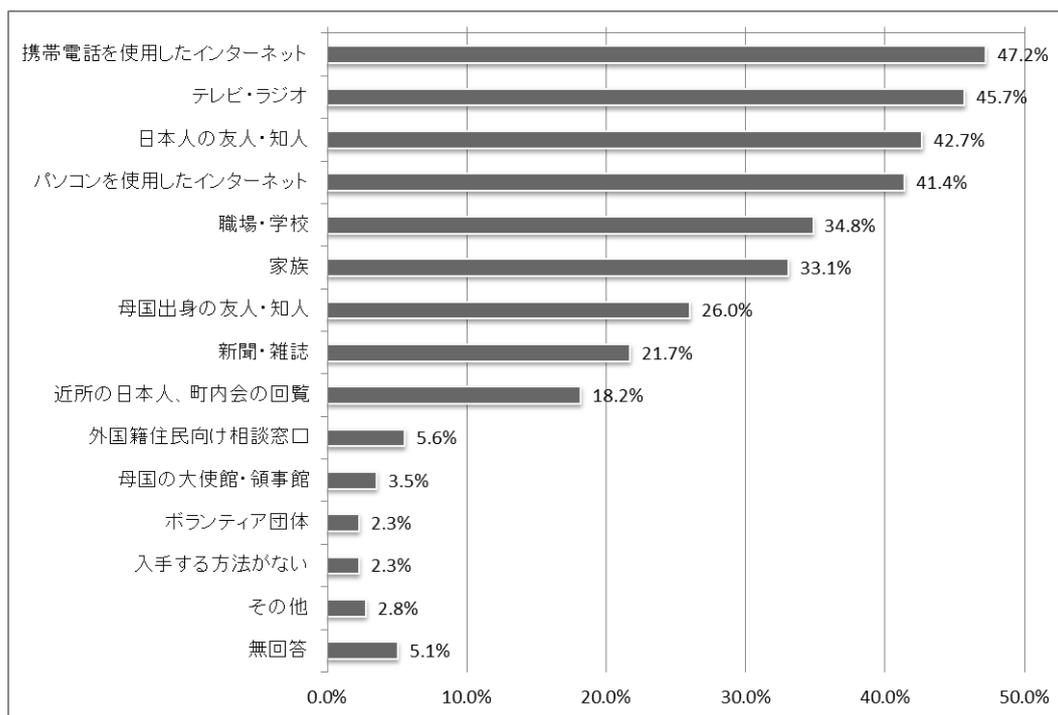


図 17 生活に必要な情報の入手先

5 居住

(18) 居住年数

居住年数の分布を見ると、日本の居住年数は10年以上20年未満が23.7%、3年未満が14.6%、30年以上が13.6%となっており、宮城県の居住年数は10年以上20年未満が23.7%、3年未満が19.2%、5年以上10年未満が11.9%となっている。現在の市町村については、3年未満が22.2%、10年以上20年未満が19.2%、5年以上10年未満が13.4%となっている。

問18 あなたは、通算して日本にどのくらい住んでいますか。

また、宮城県、現在住んでいる市町村には、通算して何年間住んでいますか

表18 居住年数

	日本		宮城県		現在住んでいる市町村	
	N	%	N	%	N	%
6ヶ月未満	21	5.3%	37	9.3%	44	11.1%
1年未満	25	6.3%	32	8.1%	43	10.9%
3年未満	58	14.6%	76	19.2%	88	22.2%
3～5年	40	10.1%	38	9.6%	37	9.3%
5～10年	46	11.6%	47	11.9%	53	13.4%
10～20年	94	23.7%	94	23.7%	76	19.2%
20～30年	39	9.8%	31	7.8%	25	6.3%
30年以上	54	13.6%	28	7.1%	19	4.8%
無回答	19	4.8%	13	3.3%	11	2.8%
計	396	100%	396	100%	396	100%

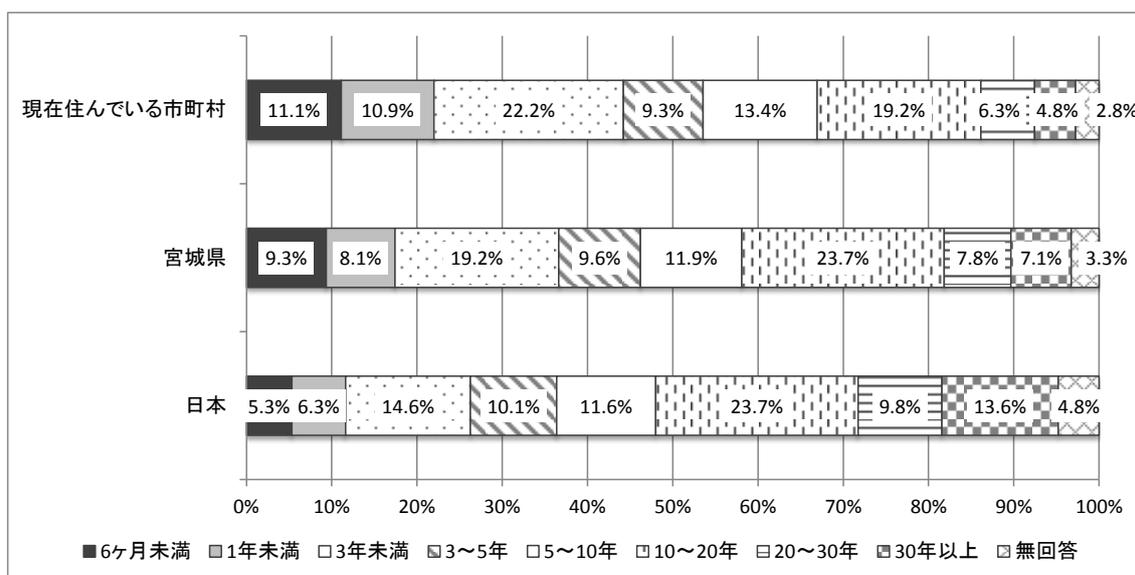


図18 居住年数

(19) 以前の居住地

現在の住所に住む以前の居住地を見ると、宮城県以外の都道府県に住んでいた割合が25.0%と最も多く、次いで宮城県内の他の市町村が23.5%、現在住んでいる市町村以外に住んだことはないと答えた人が21.2%となっている。

問 19 あなたは現在住んでいる市町村の前はどこに住んでいましたか

表 19 以前の居住地

	N	%
宮城県内の他の市町村	93	23.5%
宮城県以外の都道府県	99	25.0%
日本以外の国・地域	77	19.4%
現在お住まいの市町村以外に住んだことはない	84	21.2%
無回答	43	10.9%
計	396	100%

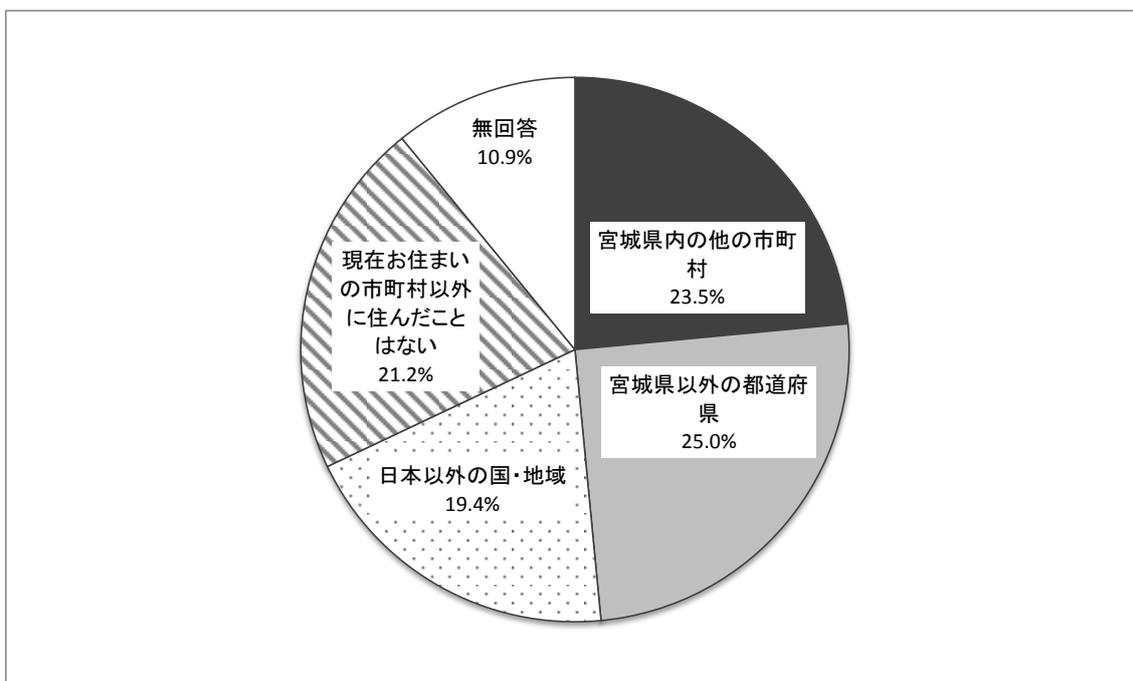


図 19 以前の居住地

6 医療・福祉

(20) 保健・医療・介護サービスの利用経験

保健・医療・介護サービスの利用経験の分布について見ると、基礎健康診断は最も多くの人に利用されており、47.5%が利用経験がある。次いで、がん検診が 22.0%、時間外診療が 17.7%に利用されている。

問 20 以下のような保健・医療・介護サービスを利用したことがありますか（複数回答）

表 20 保健・医療・介護サービスの利用経験

	N	%
県または市町村の基礎健康診断	188	47.5%
県または市町村の各種がん検診	87	22.0%
休日・時間外の診療機関	70	17.7%
県または市町村の健康相談	28	7.1%
外国語で診療可能な医療機関	25	6.3%
介護保険サービス	16	4.0%
県または市町村の心の健康相談	2	0.5%
無回答	116	29.3%
計	396	100%

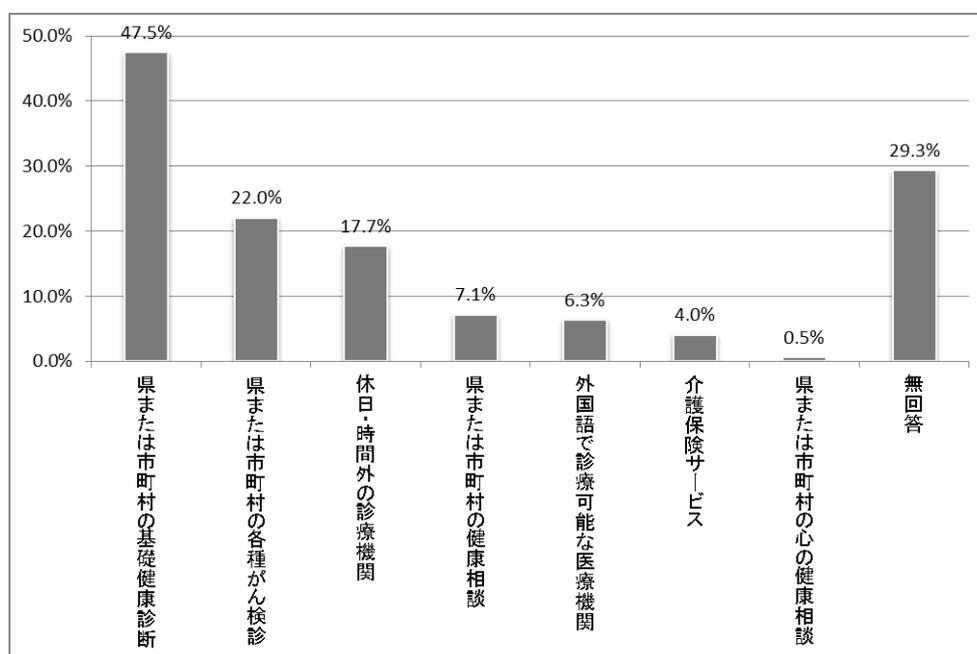


図 20 保健・医療・介護サービスの利用経験

(21) 病院での困った経験

病院で困った経験についての分布を見ると、50%以上の方が「とくに困っていることはない」と回答している一方、「日本語の書類・案内が理解できない」が16.2%、「医師や看護師と言葉が通じない」が15.2%、「外国語が通じる病院を利用したいが、どこにあるかわからない」、「医療費が高すぎる」が各13.4%となっている。

問 21 あなたが病気になって病院に行くときに困ったことはありますか（複数回答）

表 21 病院で困った経験

	N	%
とくに困っていることはない	209	52.8%
日本語の書類・案内が理解できない	64	16.2%
医師や看護師と言葉が通じない	60	15.2%
外国語が通じる病院を利用したいが、どこにあるかわからない	53	13.4%
医療費が高すぎる	53	13.4%
休日・夜間に利用できる病院が、どこにあるかわからない	38	9.6%
その他	33	8.3%
無回答	25	6.3%
計	396	100%

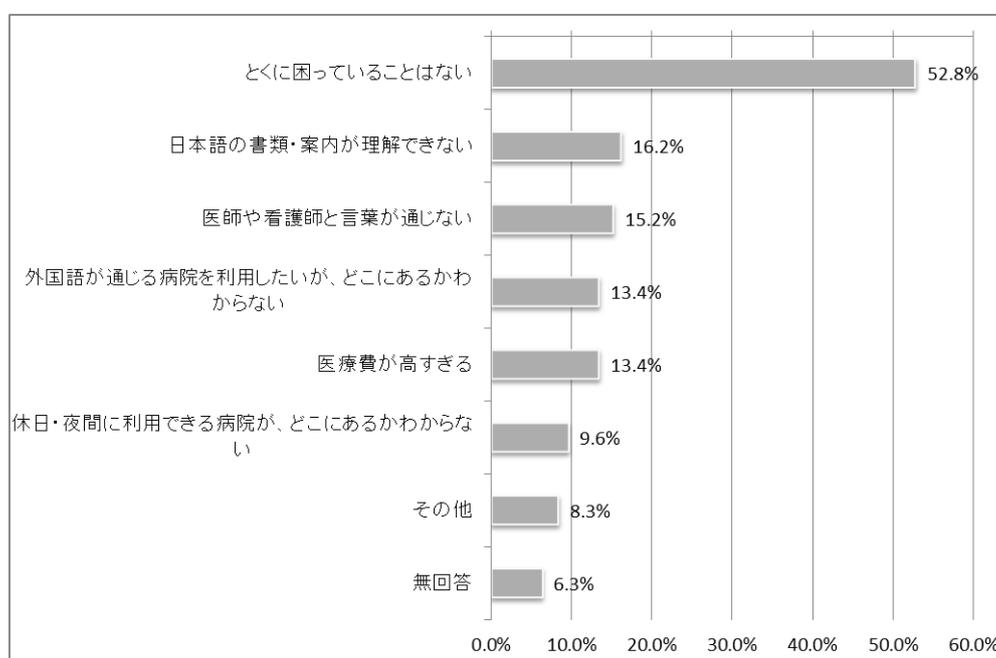


図 21 病院で困った経験

(22) 病院に求める言語支援

病院に求める言語支援の分布を見ると、「言語支援の必要はない」と回答した人が 41.2%と最も多い一方、「母国語で会話ができるスタッフや医師」が 27.0%、「通訳者」が 24.5%、「母国語のパンフレット」が 23.2%となっている。

問 22 あなたが病気になって病院に行くとき、
どのような言語支援があると良いと思いますか（複数回答）

表 22 病院に求める言語支援

	N	%
言語支援の必要はない	163	41.2%
母国語で会話ができるスタッフや医師	107	27.0%
通訳者	97	24.5%
母国語のパンフレット	92	23.2%
その他	34	8.6%
無回答	22	5.6%
計	396	100.0%

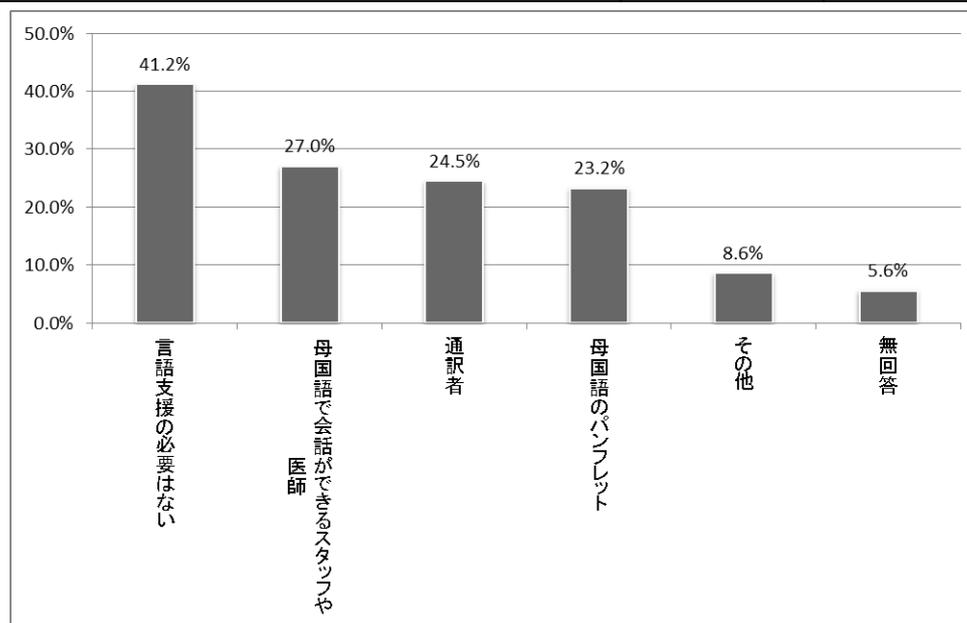


図 22 病院に求める言語支援

7 育児・教育

(23) 18歳未満の子どもの有無・年齢

18歳未満の子どもの有無の分布を見ると、18歳未満の子どもがいない人が59.1%、18歳未満の子どもがいる人が32.6%となっている。子どもの人数は、1人が58.1%、2人が32.6%、3人が6.2%となっている。

問23 あなたには現在、18歳未満のお子さんがいますか

表23-1 18歳未満の子どもの有無

	N	%	人数内訳
いない	234	59.1%	
いる	129	32.6%	
1人	75	18.9%	58.1%
2人	42	10.6%	32.6%
3人	8	2.0%	6.2%
無回答	4	1.0%	3.1%
無回答	33	8.3%	
計	396	100%	

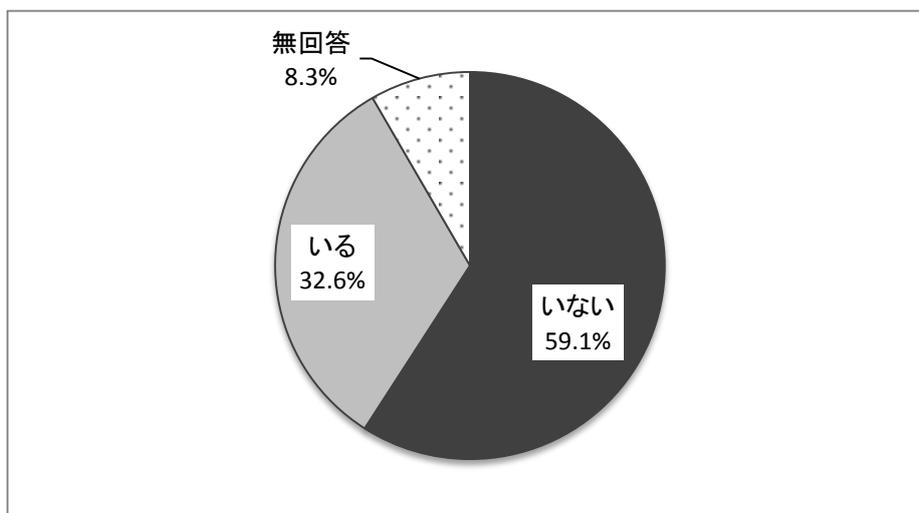


図23 18歳未満の子どもの有無

表23-2 子どもの世代構成

	N	%
すべて1.5世代	22	17.1%
すべて2世代	86	66.7%
1.5世代と2世代	5	3.9%
世代無回答	16	12.4%
計	129	100.0%

(24) 子どもと会話する言語

① 日本で生まれた子ども

日本生まれの子どもとの会話で使用する言語は、「日本語だけ」の割合が29.9%と最も多く、次いで、「主に日本語」が25.2%、「日本語と母国語が同じくらい」が15.9%となっている。

問 24 あなたがご家庭でお子さんと会話するときに使う言語は以下のうちどれですか

表 24-1 使用言語（日本で生まれた子どもがいる場合）

	N	%
日本語だけ	32	29.9%
主に日本語	27	25.2%
日本語と母国語が同じくらい	17	15.9%
主に母国語	15	14.0%
その他	7	6.5%
無回答	9	8.4%
計	107	100%

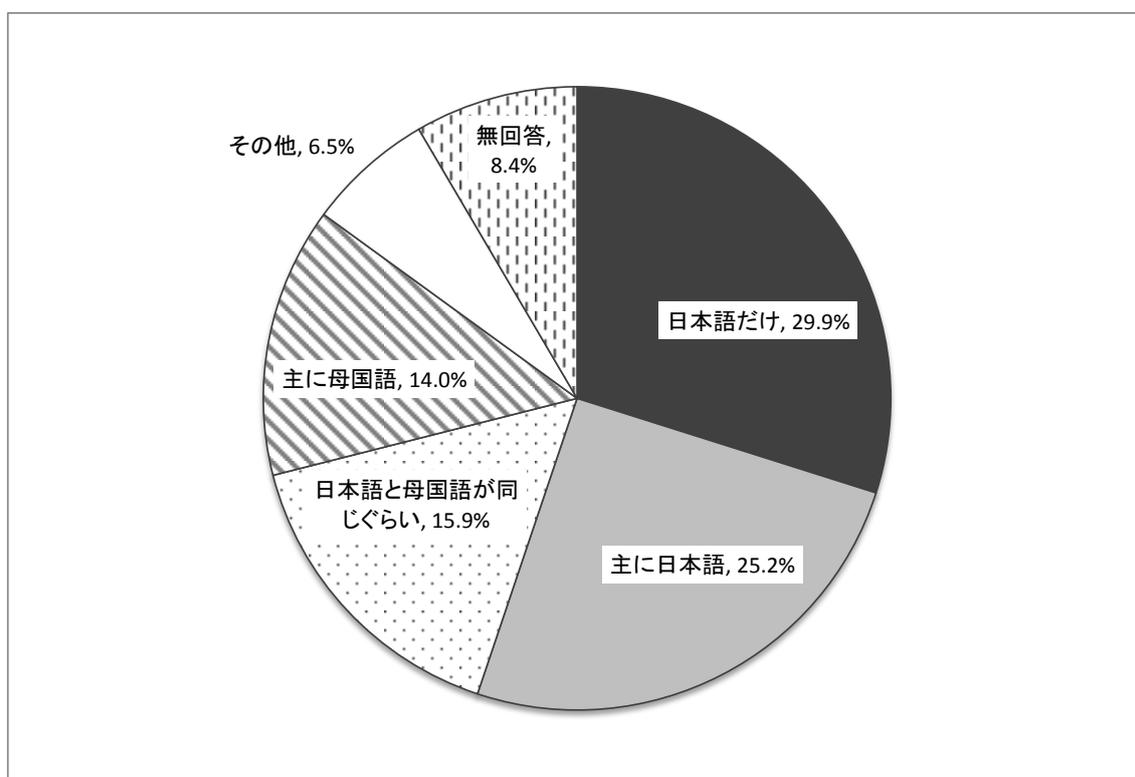


図 24-1 使用言語（日本で生まれた子どもがいる場合）

② 移住してきた子ども

日本に移住にしてきた子どもとの会話に使用する言語の分布を見ると、日本生まれの子どもの場合とは逆に「主に母国語」が 39.5%と最も多く、「日本語と母国語が同じくらい」が 14.0%、「日本語だけ」および「主に日本語」が各 4.7%となっている。

表 24-2 使用言語（日本に移住してきた子どもがいる場合）

	N	%
日本語だけ	2	4.7%
主に日本語	2	4.7%
日本語と母国語が同じくらい	6	14.0%
主に母国語	17	39.5%
その他	3	7.0%
無回答	13	30.2%
計	43	100.0%

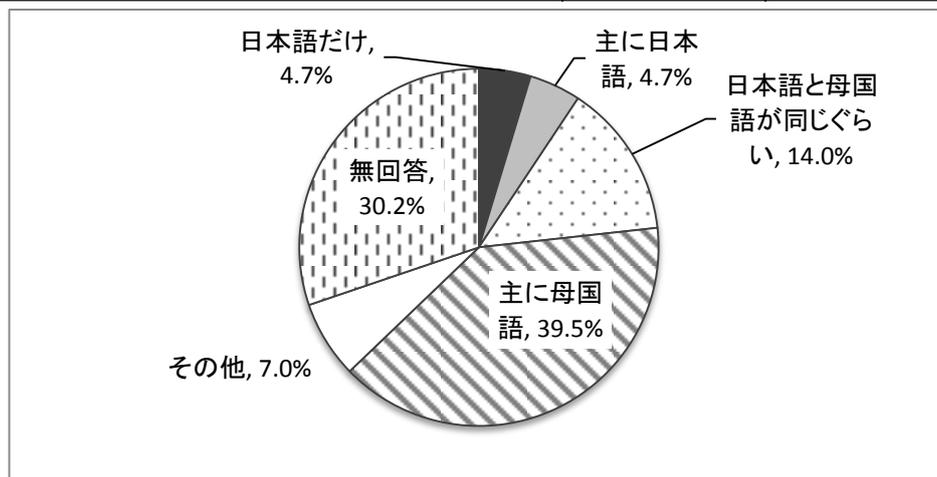


図 24-2 使用言語（日本に移住してきた子どもがいる場合）

(25) 育児で困っていること

子育てで困っていることの分布を見ると、「とくにない」を選んだ人が 48.1%と最も多い。悩みがある人の中では、「子育てについて日本人の家族と意見が合わない」が 18.6%と最も多く、次いで、「子育てに関する悩みを相談できる相手がいない」が 17.8%、「同じように子育てをしている人と知り合う機会がない」が 15.5%、「子育てに関する情報が日本語なのでわかりにくい」および「保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない」が各 8.5%となっている。

問 25 育児について、以下のようなことで困っていることはありますか（複数回答）

表 25 育児で困っていること

	N	%
子育てに関する悩みを相談できる相手がいない	23	17.8%
同じように子育てをしている人と知り合う機会がない	20	15.5%
子育てに関する情報が日本語なのでわかりにくい	11	8.5%
子育てについて日本人の家族と意見が合わない	24	18.6%
保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない	11	8.5%
その他	6	4.7%
とくにない	62	48.1%
無回答	12	9.3%
計	129	100%

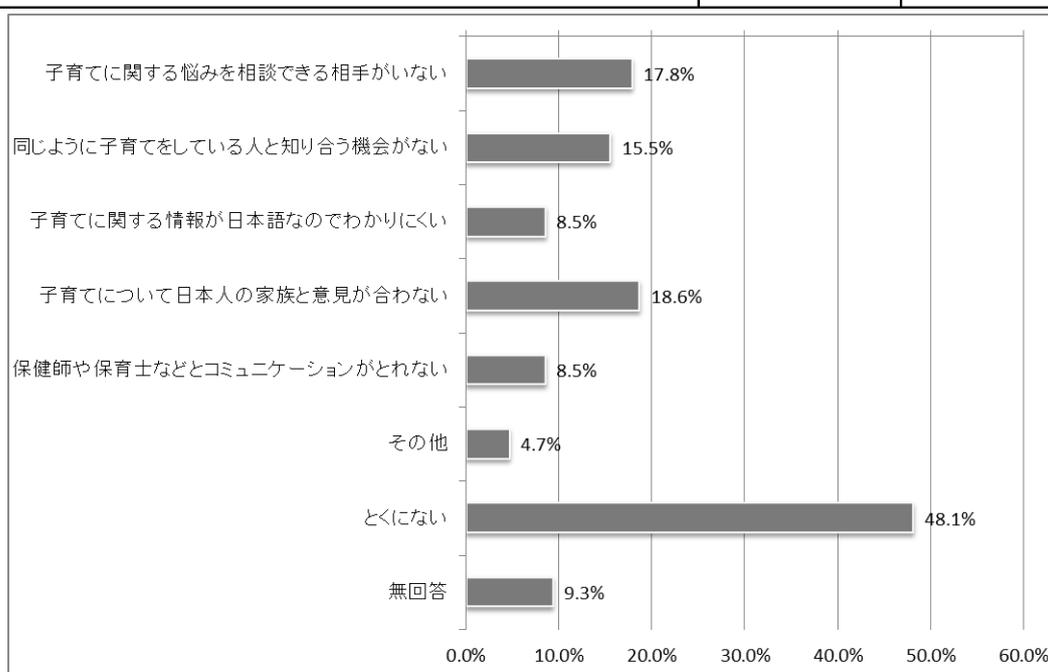


図 25 育児で困っていること

(26) 子育て支援制度の利用経験

子育て支援制度の利用経験の分布を見ると、母子手帳が最も利用されており、18歳未満の子どもがいる回答者の76.7%が経験がある。次いで、妊産婦・新生児訪問指導が72.1%、乳幼児への予防接種が68.2%、乳幼児の健康診査、検査が56.6%となっている。

問26 以下のような子育て支援制度を利用したことはありますか（複数回答）

表26 子育て支援制度の利用経験

	N	%
母子健康手帳	99	76.7%
児童手当	42	32.6%
乳幼児への予防接種	88	68.2%
乳幼児の健康診査、検査	73	56.6%
妊産婦・新生児訪問指導	93	72.1%
児童扶養手当	27	20.9%
放課後児童クラブ	17	13.2%
子育てに関する各種電話相談	3	2.3%
無回答	19	14.7%
計	129	100%

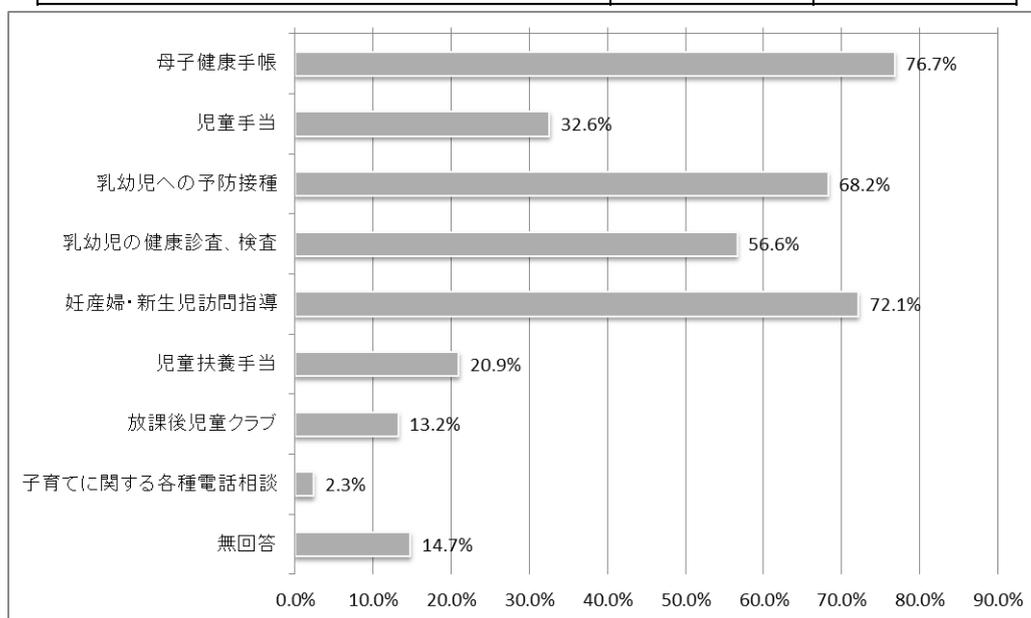


図26 子育て支援制度の利用経験

(27) 教育で困っていること

教育で困っていることの分布を見ると、「とくにない」と答える割合が41.1%と最も高い。次いで、「進路、進学について不安がある」が21.7%、「いろいろな費用が高い」が14.0%、「言葉の違いなどから、保護者と学校との意思疎通がうまく行かない」が7.0%となっている。

問 27 教育について、以下のようなことで困っていることはありますか

表 27 教育で困っていること

	N	%
進路、進学について不安がある	28	21.7%
色々な費用が高い	18	14.0%
言葉の違いなどから、保護者と学校との意思疎通がうまく行かない	9	7.0%
子どもが外国人であることで差別を受けていると感じる	8	6.2%
子どもが日本語がうまくできないので授業が理解しにくい	6	4.7%
子どもが学校になじまない	3	2.3%
保育所が近くにない	0	0.0%
その他	11	8.5%
とくにない	53	41.1%
無回答	18	14.0%
計	129	100%

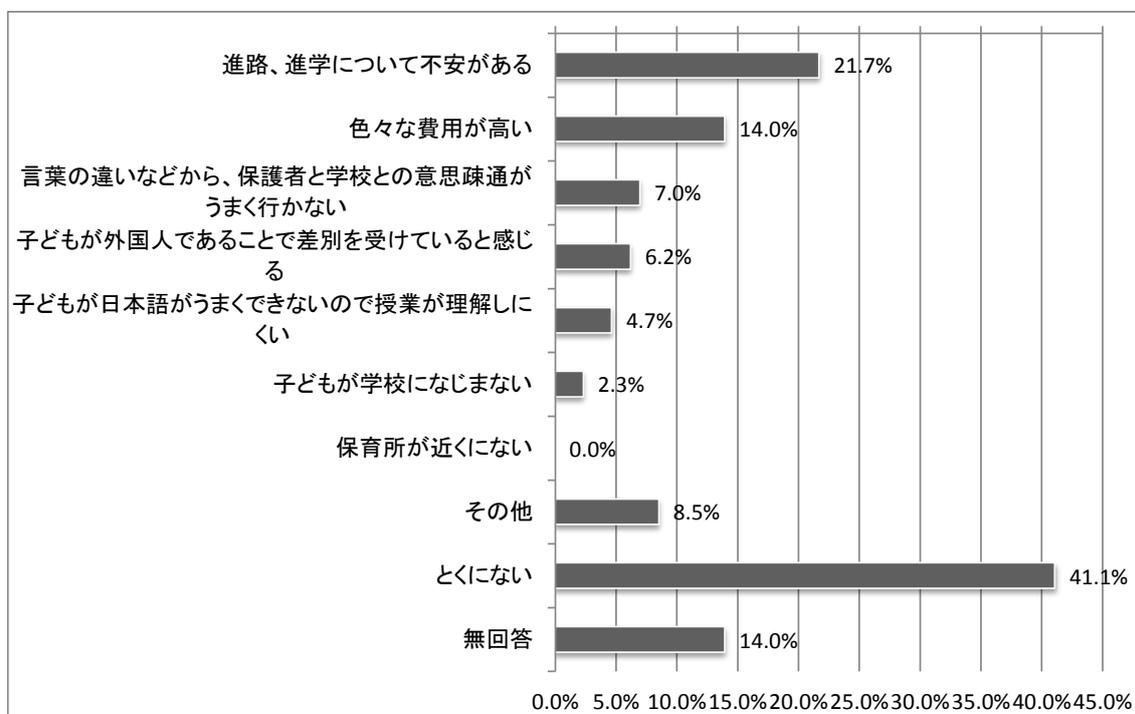


図 27 教育で困っていること

(28) 日本語教育のサポート制度の利用経験

日本語教育のサポート制度の利用経験を見ると、無回答者を除き「日本語教室」、「学校へのボランティア派遣制度」、「その他のサポート」のいずれも「知らない」と回答する人の割合が最も多く、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計を大きく上回っている。「利用したことがある」割合はいずれも5%となっている。

問 28 あなたのお子さんは、学校で、以下のような制度を利用したことはありますか

表 28 日本語教育のサポート制度の利用経験

	日本語教室		学校へのボランティア派遣制度		その他のサポート	
	N	%	N	%	N	%
利用したことがある	5	3.9%	6	4.7%	1	0.8%
知っているが、利用したことはない	25	19.4%	16	12.4%	13	10.1%
知らない	42	32.6%	50	38.8%	55	42.6%
無回答	57	44.2%	57	44.2%	60	46.5%
計	129	100%	129	100%	129	100%

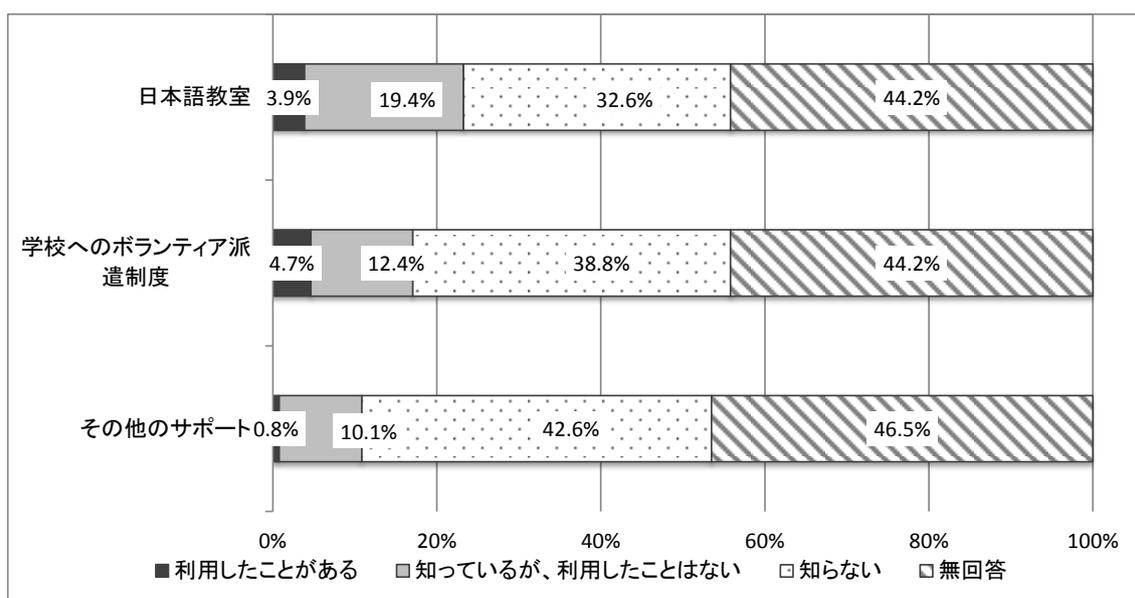


図 28 日本語教育のサポート制度の利用経験

(29) 母国語・母国文化の教育

母国語・母国文化教育に対する意向を見ると、「現在は受けさせていないが、今後は受けさせたいと思う」と答える割合が37.2%と最も多く、次いで、「現在受けさせており、今後も受けさせたいと思う」が24.0%、「わからない」が17.8%、「現在受けさせておらず、今後も受けさせたいとは思わない」が6.2%となっている。

問 29 あなたはお子さんに母国語や文化についての教育を受けさせたいと思いますか

表 29 母国語・母国文化の教育

	N	%
現在受けさせており、今後も受けさせたいと思う	31	24.0%
現在は受けさせていないが、今後は受けさせたいと思う	48	37.2%
現在受けさせているが、今後は受けさせたいとは思わない	0	0.0%
現在受けさせておらず、今後も受けさせたいとは思わない	8	6.2%
わからない	23	17.8%
無回答	19	14.7%
計	129	100%

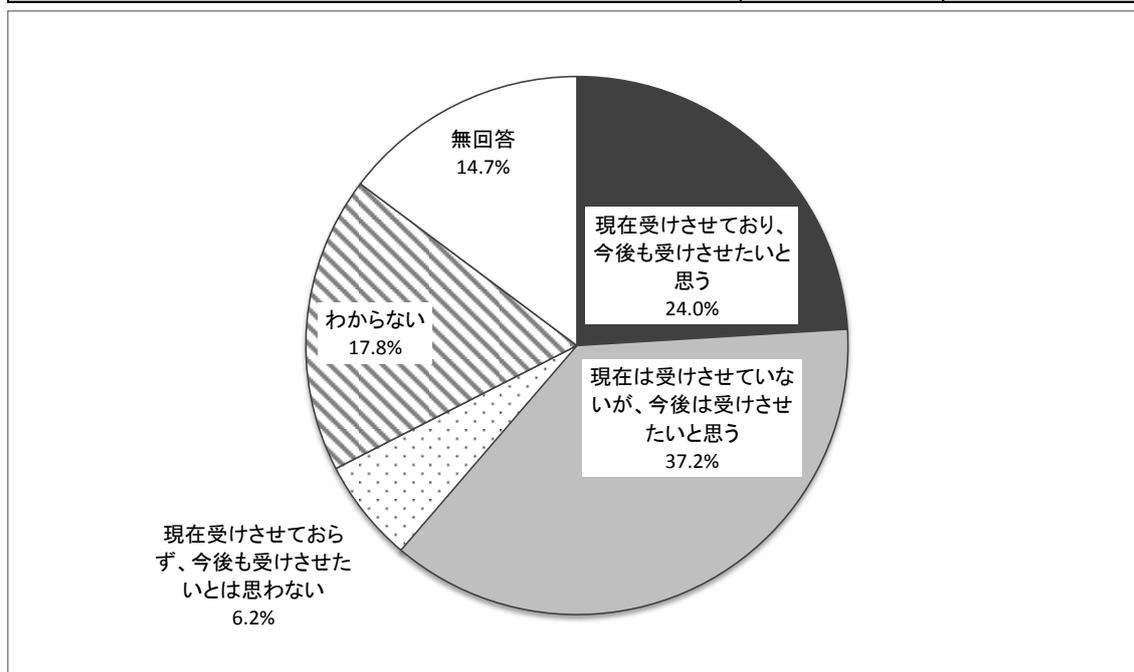


図 29 母国語・母国文化の教育

(30) 母国語・母国文化の教育をしていない理由

母国語・母国文化教育をしていない理由として、44.6%が「母国語や文化を教えてくれる場所がない・知らない」をあげており、次いで「子供が関心をもっていない」が37.5%、「日本での勉強の妨げになる」が10.7%、「日本語や日本文化を身につける妨げになる」が10.7%となっている。

問 30 現在受けさせていない、あるいは今後受けさせたいとは思わない理由は
何ですか（複数回答）

表 30 母国語・母国文化の教育をしていない理由

	N	%
母国語や文化を教えてくれる場所がない・知らない	25	44.6%
子どもが関心をもっていない	21	37.5%
日本での勉強の妨げになる	6	10.7%
日本語や日本文化を身につける妨げになる	2	3.6%
母国語や文化を学ぶ必要はない	1	1.8%
その他	11	19.6%
無回答	3	5.4%
計	56	100%

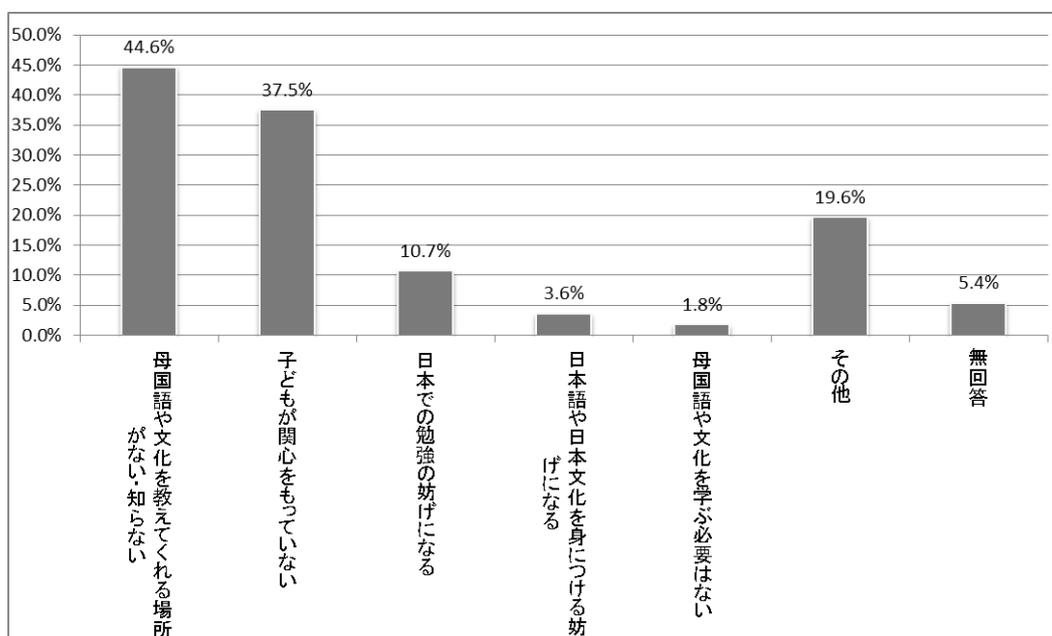


図 30 母国語・母国文化の教育をしていない理由

8 労働

(31) 現在の雇用形態

現在の雇用形態の分布を見ると、正社員が 20.7%と最も多く、次いでパート・アルバイトが 16.4%、無職で仕事を探していない人が 15.7%、学生が 15.4%となっている。

問 31 あなたは現在、どのような形態で仕事をしていますか

表 31 現在の雇用形態

	N	%
経営者	14	3.5%
正社員	82	20.7%
派遣社員・契約社員	44	11.1%
自営業(家業従事者、自由業等含む)	28	7.1%
パートタイム勤務、アルバイト、内職	65	16.4%
学生	61	15.4%
無職(1～6以外で仕事を探している)	27	6.8%
無職(1～6以外で仕事を探していない)	62	15.7%
無回答	13	3.3%
計	396	100%

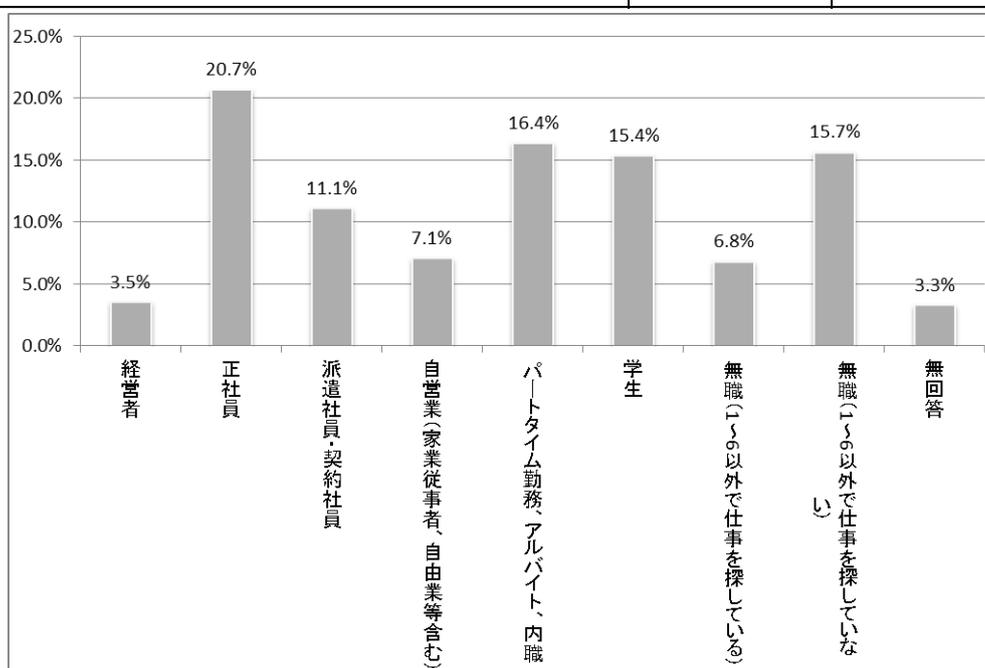


図 31 現在の雇用形態

(32) 現在の職業

職業の分布を見ると、サービス業が 20.2%と最も多く、次いでその他の職業が 16.7%、教員が 14.2%、技能職が 12.0%となっている。

問 32 あなたの現在の職業は以下のうちどれにあたりますか

表 32 現在の職業

	N	%
教員	33	14.2%
医療関係職	5	2.1%
その他の専門職(弁護士、会計士等)	3	1.3%
経営・管理職(課長以上)	14	6.0%
事務職	12	5.2%
技術職(研究員、技術者等)	16	6.9%
技能職(工場労働者、運転士等)	28	12.0%
サービス職(販売員、接客業等)	47	20.2%
作業員(清掃、建設・土木、配達員等)	27	11.6%
農林漁業	5	2.1%
その他の職業	39	16.7%
無回答	4	1.7%
計	233	100%

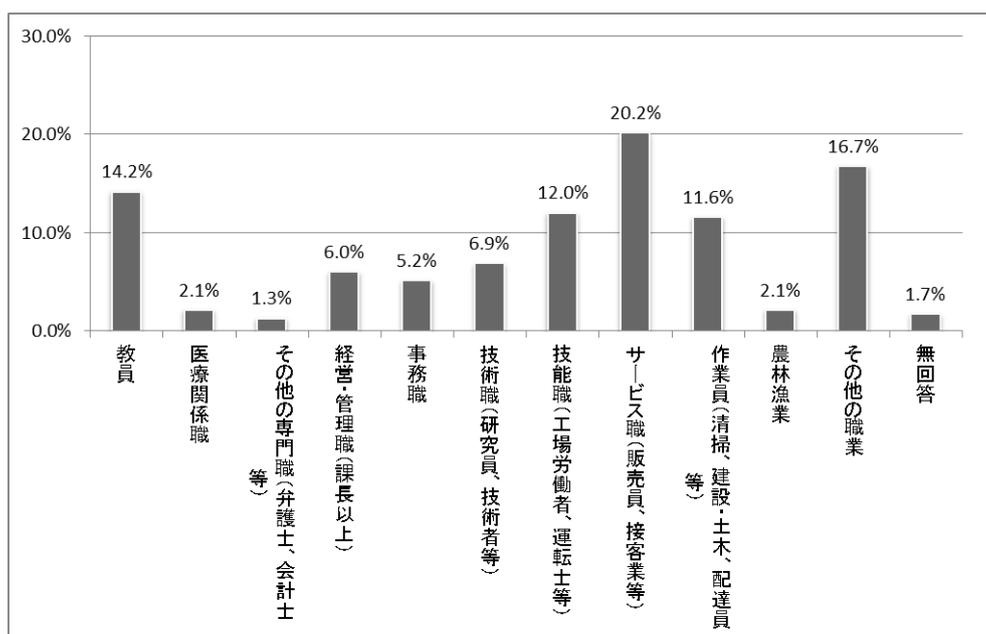


図 32 現在の職業

(33) 現在の仕事の見つけ方

仕事の見つけ方の分布を見ると、その他を除くと家族の紹介で仕事を見つけた人が最も多く 14.6%を占めている。次いで新聞・求人誌・チラシが 12.4%、職業安定所の紹介が 12.0%、日本人の友人・知人の紹介が 11.6%となっている。

問 33 あなたは現在の仕事をどのようにして見つけましたか

表 33 現在の仕事の見つけ方

	N	%
家族の紹介(親の仕事を継いだり、家族の仕事を手伝っている場合も含む)	34	14.6%
新聞・求人誌・チラシなど	29	12.4%
職業安定所(ハローワーク)の紹介	28	12.0%
母国出身の友人・知人の紹介	24	10.3%
日本人の友人・知人の紹介	27	11.6%
自分で設立	17	7.3%
仕事の紹介する民間会社の紹介	18	7.7%
学校の紹介	12	5.2%
その他	38	16.3%
無回答	6	2.6%
計	233	100%

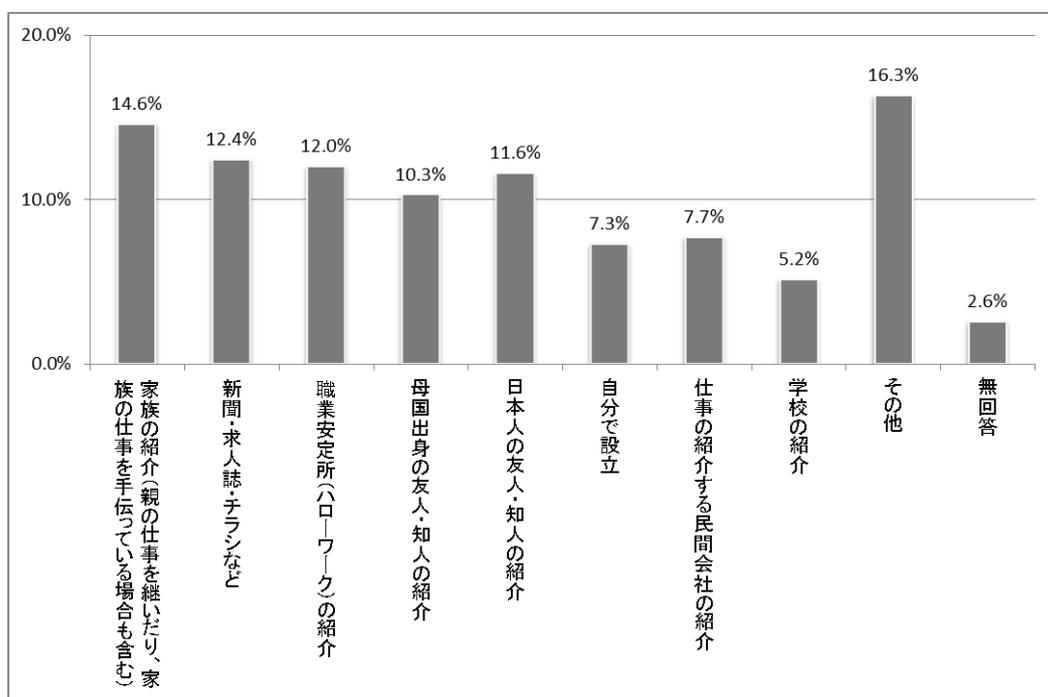


図 33 現在の仕事の見つけ方

(34) 仕事上の困りごと・不満

仕事の不満について見ると、「とくにない」と回答した人が47.0%と最も多い。不満がある人の中では、「給料が安い」が29.9%、「外国人として差別的な扱いを受けているように感じる」が10.7%、「希望する職種、業種ではない」が10.3%となっている。

問34 仕事で困っていることや不満はありますか（複数回答）

表34 仕事上の困りごと・不満

	N	%
給料が安い	70	29.9%
外国人として差別的な扱いを受けているように感じる	25	10.7%
希望する職種、業種ではない	24	10.3%
労働時間が長い	20	8.5%
正職員になれない、又は昇格できない	18	7.7%
日本人とお互いの考えを理解しあえない	16	6.8%
いつ解雇されるか不安がある	16	6.8%
雇用期間が短い	14	6.0%
上司や同僚との人間関係がうまくいっていない	10	4.3%
その他	16	6.8%
とくにない	110	47.0%
無回答	7	3.0%
計	234	100%

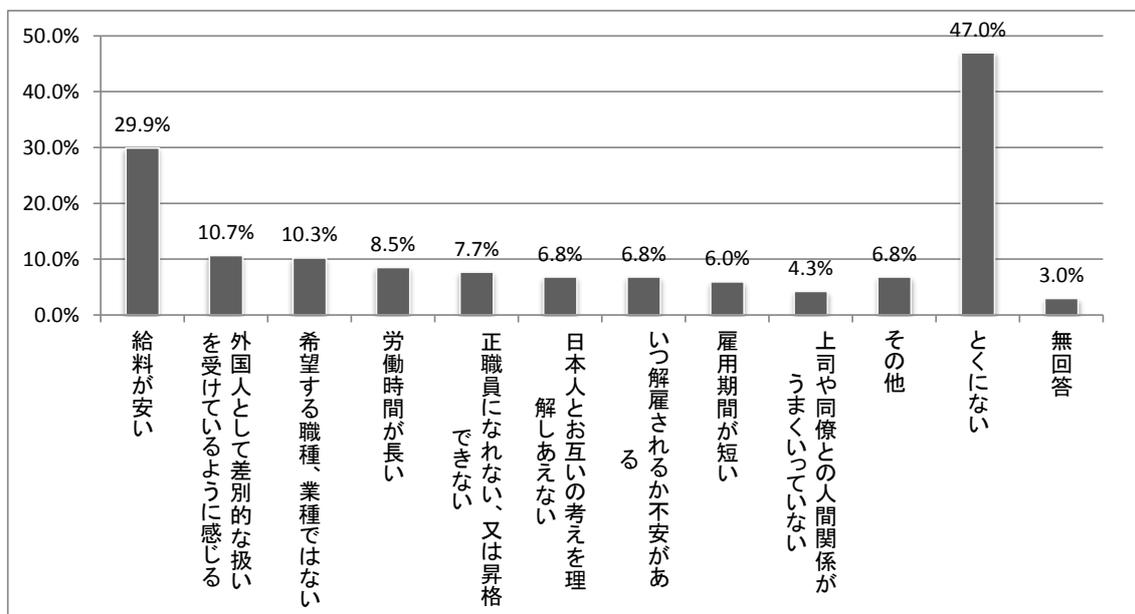


図34 仕事上の困りごと・不満

(35) 今後の勤務地

今後の勤務地についての希望の分布を見ると、53.0%の人が宮城県での就労を希望しており、次いで「わからない」が19.9%、「日本で働きたいが、宮城県以外で働きたい」が9.7%、「母国に帰って働きたい」が7.2%となっている。

問 35 あなたは今後、宮城県または日本で働こうと思っ
ていますか

表 35 今後の勤務地

	N	%
宮城県で働きたい	170	53.0%
日本で働きたいが、宮城県以外で働きたい	31	9.7%
母国に帰って働きたい	23	7.2%
日本と母国以外の国で働きたい	3	0.9%
その他	17	5.3%
わからない	64	19.9%
無回答	13	4.0%
計	321	100%

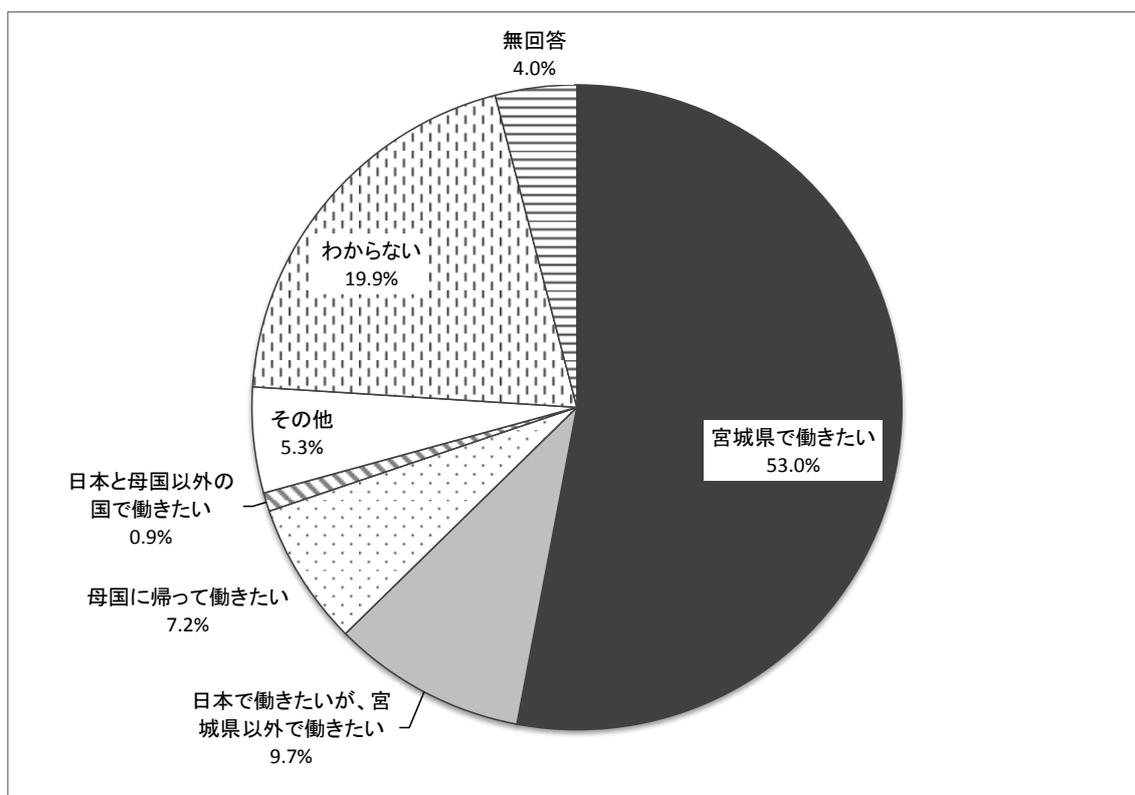


図 35 今後の勤務地

(36) 仕事を探していない理由

仕事を探していない理由で最も多いのは「生活していく上で必要がないから」であり、全体の 21.0%を占めている。次いで「就職できないから」が 16.1%と比較的高くなっていく。また、その他の中では、「育児や家事で忙しい」や「高齢のため」といった理由が多く見られた。

問 36 仕事を探していない理由は何ですか

(問 31 で「無職 (1~6 以外で仕事を探していない)」と選択した人)

表 36-1 仕事を探していない理由

	N	%
就職できないから	10	16.1%
生活していく上で必要がないから	13	21.0%
働く意欲がわからないから	3	4.8%
人間関係がよくないから	0	0.0%
その他	32	51.6%
無回答	4	6.5%
計	62	100%

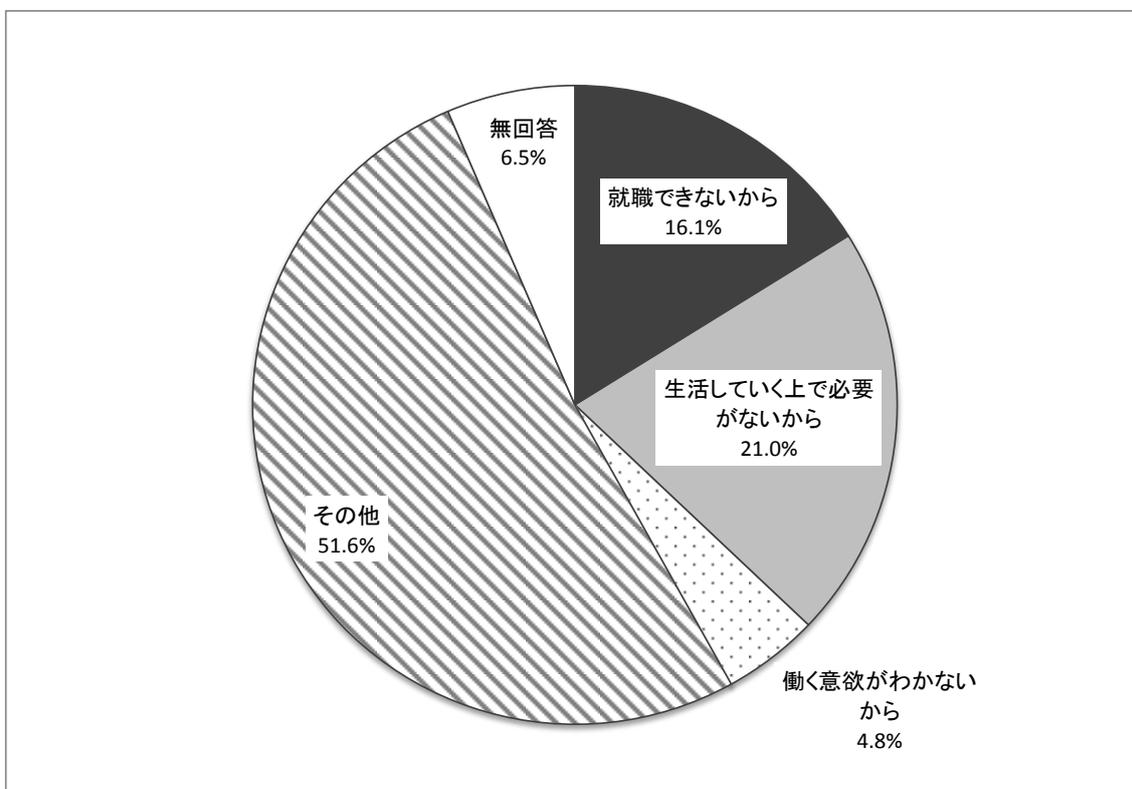


図 36-1 仕事を探していない理由

また、「就職ができないから」を選んだ人がなぜ就職できないと考えているかの分布を見ると、70.0%の人が「日本語がうまく話せないから」と回答しており、「探しても希望する就職先が見つからないから」が20.0%、「外国人を雇用する企業が少ないから」が10.0%となっている。

表 36-2 就職できない理由

	N	%
日本語がうまく話せないから	7	70.0%
探しても希望する就職先が見つからないから	2	20.0%
外国人を雇用する企業が少ないから	1	10.0%
無回答	0	0.0%
計	10	43%

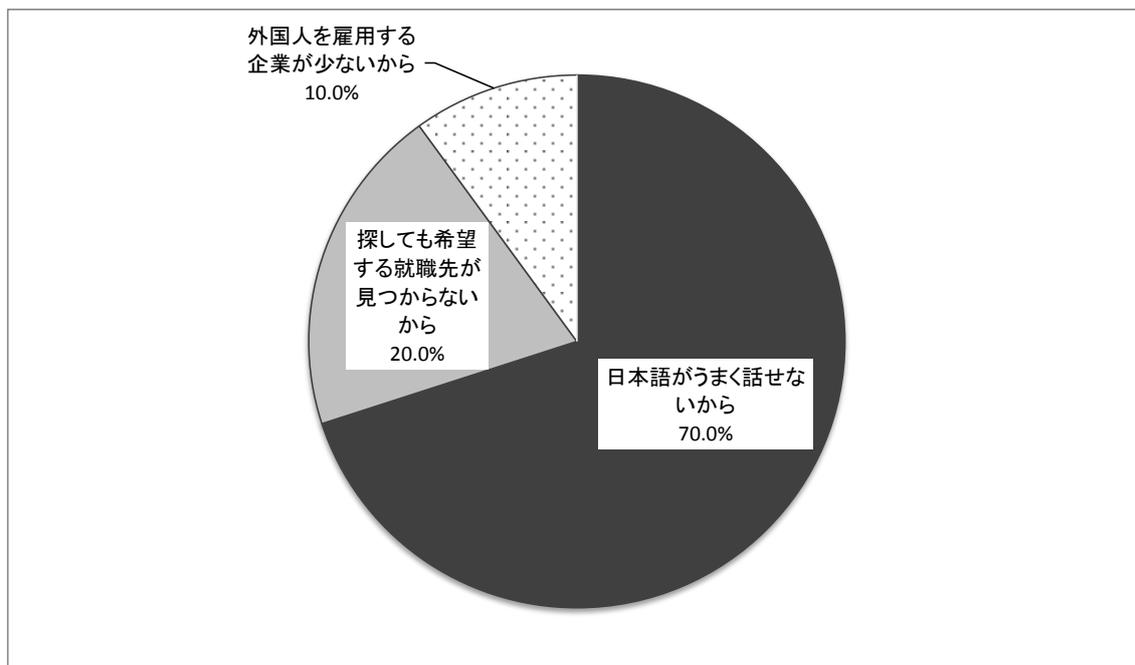


図 36-2 就職できない理由

9 社会生活一般

(37) 日本人との付き合い

日本人との付き合いの分布を見ると、職場では 25.0%が「何でも話し合える人がいる」、24.5%が「たまに立ち話をする人ならいる」と回答しており、「まったくいない」は 4.3%となっている。学校では 8.3%が「なんでも話し合える人がいる」、12.9%が「たまに立ち話をする人ならいる」と回答しており、「まったくいない」は 3.3%と低くなっている。地域では 27.8%が「あいさつをする程度の人しかいない」、22.7%が「たまに立ち話をする人ならいる」と回答している一方、「まったくいない」は 15.9%となっている。その他の付き合いについて見ると、28.8%が「何でも話し合える人がいる」、21.2%が「たまに立ち話をする人がいる」を選択しており、「まったくいない」は 18.4%となっている。

問 37 現在、あなたには、仲良くしている日本人はいますか

表 37 日本人との付き合い

	職場		学校		地域		その他	
	N	%	N	%	N	%	N	%
何でも話し合える人がいる	99	25.0%	33	8.3%	80	20.2%	114	28.8%
たまに立ち話をする人ならいる	97	24.5%	51	12.9%	90	22.7%	84	21.2%
あいさつをする程度の人しかいない	29	7.3%	17	4.3%	110	27.8%	35	8.8%
まったくいない	17	4.3%	13	3.3%	63	15.9%	73	18.4%
働いていない・学校に行っていない	74	18.7%	123	31.1%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	80	20.2%	159	40.2%	53	13.4%	90	22.7%
計	396	100%	396	100%	396	100%	396	100%

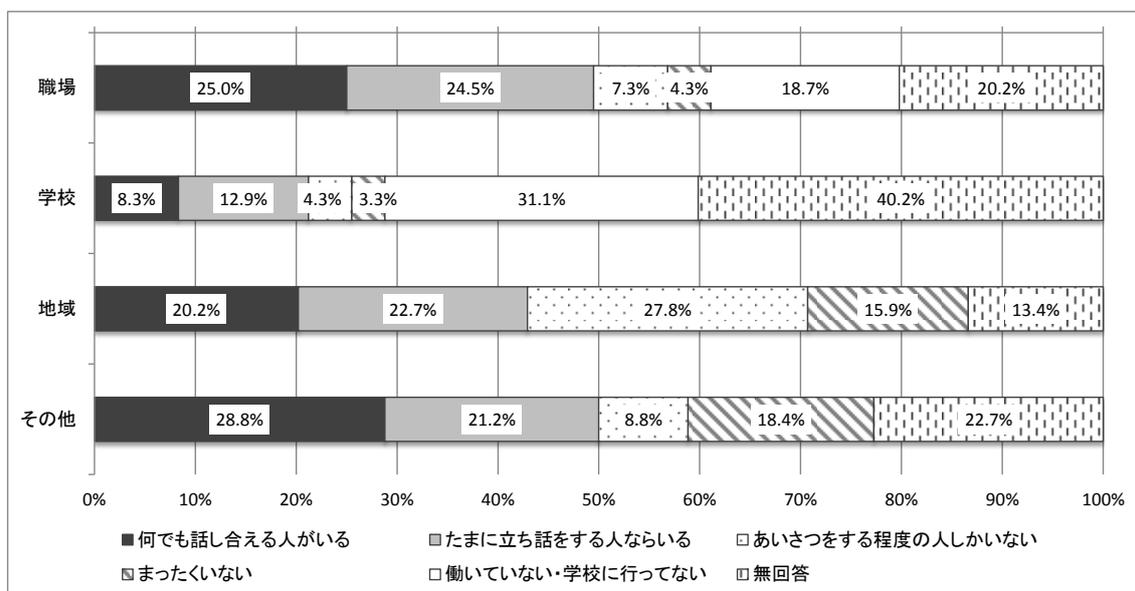


図 37 日本人との付き合い

(38) 相談相手

困ったときの相談相手の分布を見ると、いずれの内容においても、母国出身の友人・知人と日本人の友人・知人をあげる割合が他と比較して著しく高い。

人間関係については60%近くの人が母国出身の友人・知人を相談相手としてあげており、最も割合が高くなっている。家族・生活や仕事・学業においても、母国出身の友人・知人をあげる割合が最も高い。文化・習慣については日本人の友人・知人を相談相手と答える割合が最も多く、50%を超えている。

一方、「近所の人」、「日本語教室の関係者」、「民間の相談所やボランティア団体」、「市役所、町村役場、県庁などの窓口」、「市町村国際交流会や宮城県国際化協会」、「その他」と回答した割合はいずれも10%未満にとどまっている。

なお、すべての内容において、「自分で解決するので、相談しない」が20%前後、「相談する相手がいない」が4%程度となっている。

問 38 あなたには、次のようなことで悩んだり困ったりした場合、

家族や親戚以外で、誰にまたはどこに相談しようと思いますか（複数回答）

表 38 相談相手

	A人間関係		B文化・習慣		C家族・生活		D仕事・学業	
	N	%	N	%	N	%	N	%
母国出身の友人・知人	231	58.3%	183	46.2%	211	53.3%	189	47.7%
近所の人	20	5.1%	34	8.6%	25	6.3%	15	3.8%
日本人の友人・知人	155	39.1%	201	50.8%	141	35.6%	183	46.2%
母国出身者や日本人以外の友人・知人	40	10.1%	41	10.4%	32	8.1%	40	10.1%
日本語教室の関係者	19	4.8%	22	5.6%	11	2.8%	20	5.1%
民間の相談所やボランティア団体	4	1.0%	4	1.0%	2	0.5%	4	1.0%
市役所、町村役場、県庁などの窓口	15	3.8%	19	4.8%	18	4.5%	14	3.5%
市町村国際交流会や宮城県国際化協会	5	1.3%	9	2.3%	3	0.8%	9	2.3%
その他	21	5.3%	22	5.6%	19	4.8%	24	6.1%
自分で解決するので、相談しない	82	20.7%	63	15.9%	92	23.2%	73	18.4%
相談する相手がいない	15	3.8%	15	3.8%	16	4.0%	13	3.3%
無回答	16	4.0%	21	5.3%	23	5.8%	37	9.3%
計	396	100%	396	100%	396	100%	396	100%

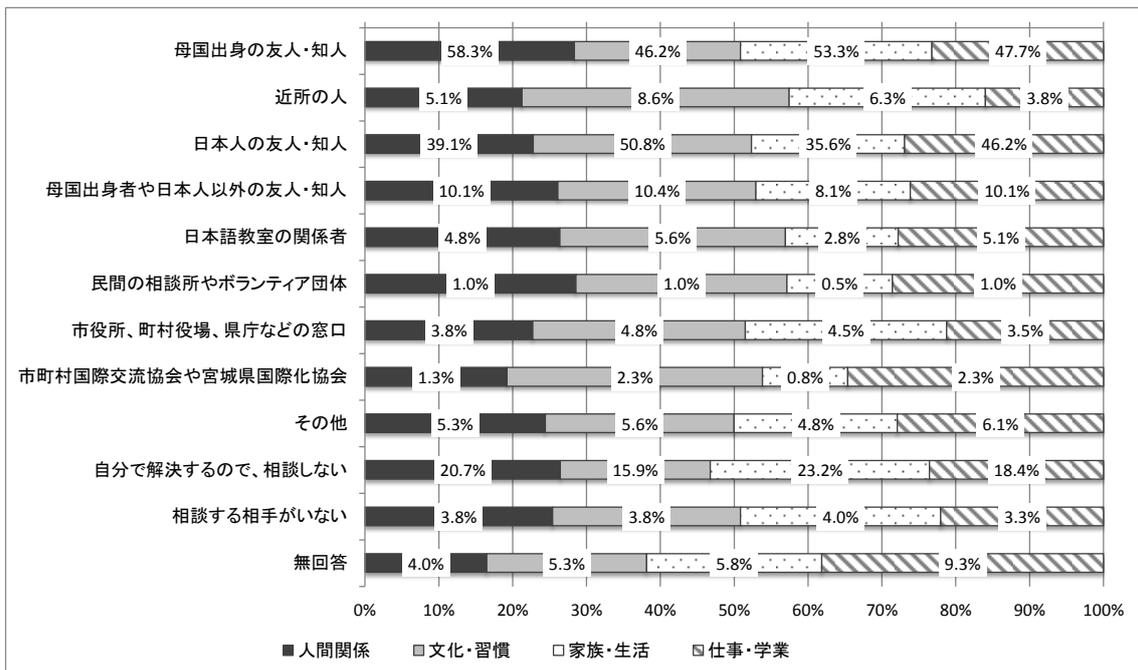


図 38 相談相手

(39) 日本人との交流希望

今後の日本人との交流希望については、「日本の文化や習慣を学びたい」の割合が最も多く、45.7%が選択している。次いで「地域の行事にもっと参加したい」が37.6%、「いっしょにボランティア活動などの社会活動をしたい」が31.1%、「日本人に母国の文化を紹介したい」が25.5%となっている。一方で、「とくに交流したいとは思わない」と回答した割合が16.7%と一定数存在する。

問 39 あなたは今後、地域の日本人とどのような交流をしたいと思いますか（複数回答）

表 39 日本人との交流希望

	N	%
日本の文化や習慣を学びたい	181	45.7%
地域の行事にもっと参加したい	149	37.6%
いっしょにボランティア活動などの社会活動をしたい	123	31.1%
日本人に母国の文化を紹介したい	101	25.5%
いっしょに食事や買い物に行きたい	98	24.7%
家庭のことや子育てなどについて話し合いたい	81	20.5%
その他	13	3.3%
とくに交流したいとは思わない	66	16.7%
無回答	19	4.8%
計	396	100%

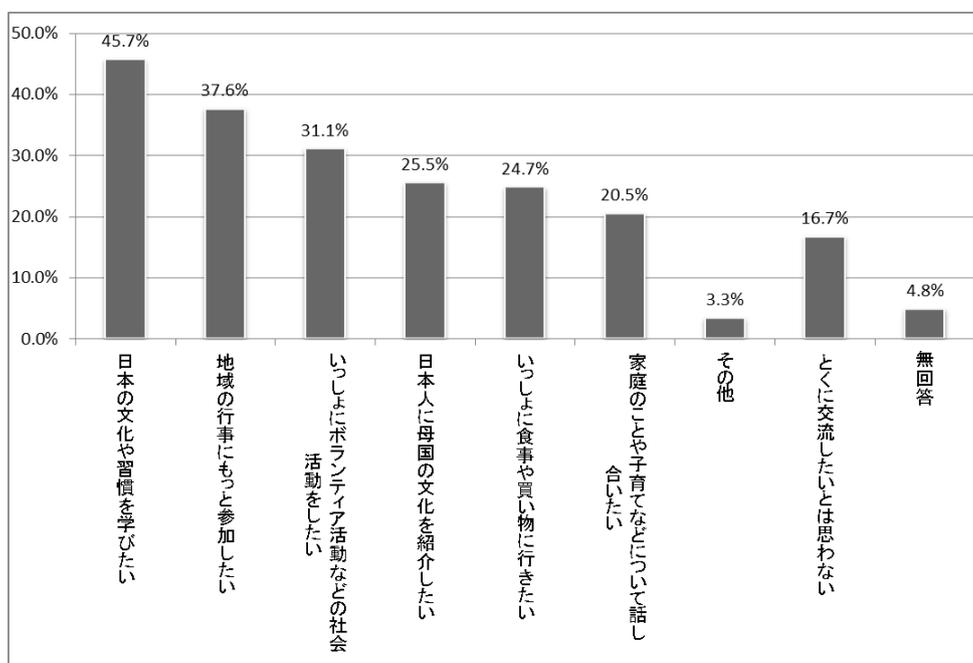


図 39 日本人との交流希望

(40) 差別経験

外国人だということできいやな経験やつらい思いをしたことがあるかについては、「よくある」が7.1%、「時々ある」が31.3%であり、合わせて40%程度の人は何らかの差別経験がある。一方で、「まったくない」または「ほとんどない」と回答する割合も合計で40%程度であり、いやな経験・つらい思いをしている人とあまり感じていない人が同程度となっている。また、「過去に経験したが今はない」と回答した割合は19.7%となっている。

問 40 あなたは生活上、外国人だということできいやな経験や
つらい思いをした（している）ことがありますか

表 40 差別経験

	N	%
よくある	28	7.1%
時々ある	124	31.3%
ほとんどない	94	23.7%
まったくない	63	15.9%
過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくない	78	19.7%
無回答	9	2.3%
計	396	100%

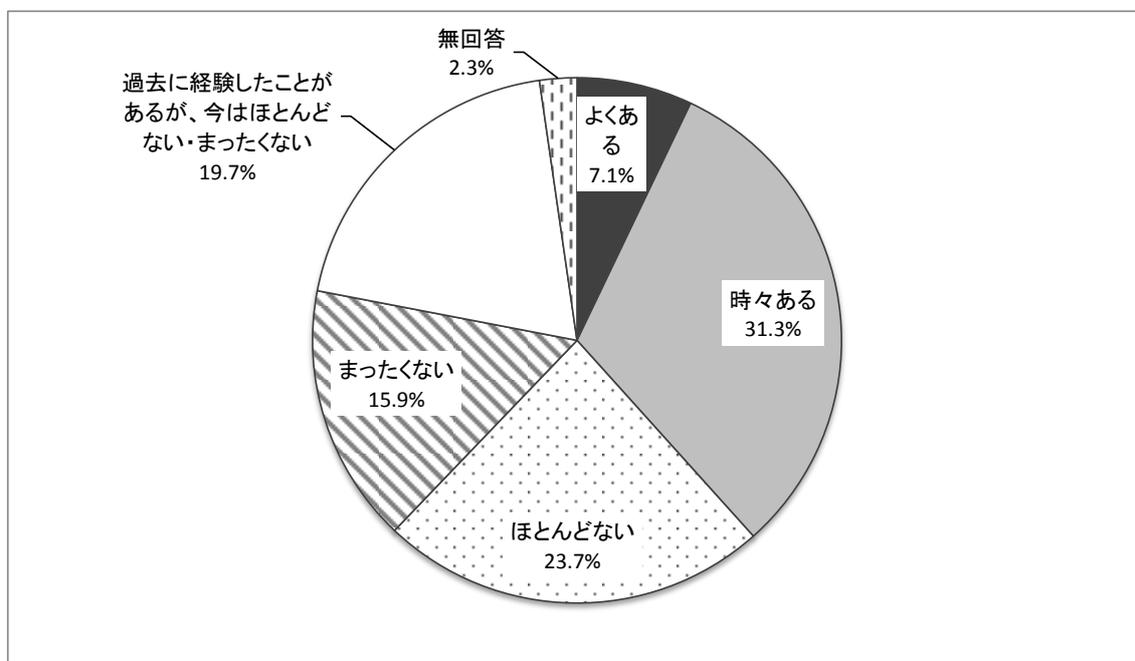


図 40 差別経験

(41) いやな経験、つらい思いの具体的内容

いやな経験やつらい思いの具体的な内容を見ると、「工作中」をあげる割合が42.2%と最も多く、次いで「住まいを探すとき」が28.3%、「仕事を探すとき」および「公的機関などでの手続きのとき」が各27.4%となっている。また、その他の内容としては、「自分が小さい時・学校に通っていたとき・バイトしているとき」や「警察とのやり取り」、「免許センター」といった回答が複数見られた。

問41 それほどのようなときに感じましたか（複数回答）

（問40で「よくある」「時々ある」「過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくない」と回答した人）

表41 いやな経験・つらい思いの具体的内容

	N	%
工作中	97	42.2%
住まいを探すとき	65	28.3%
仕事を探すとき	63	27.4%
公的機関などでの手続きのとき	63	27.4%
日本人の友人との交際のとき	53	23.0%
買い物や食事をしているとき	46	20.0%
近所との付き合いの中で	46	20.0%
テレビ・インターネットなどのメディアの情報で	37	16.1%
移動しているとき	27	11.7%
子どもが学校などで	19	8.3%
その他	22	9.6%
無回答	8	3.5%
計	230	100%

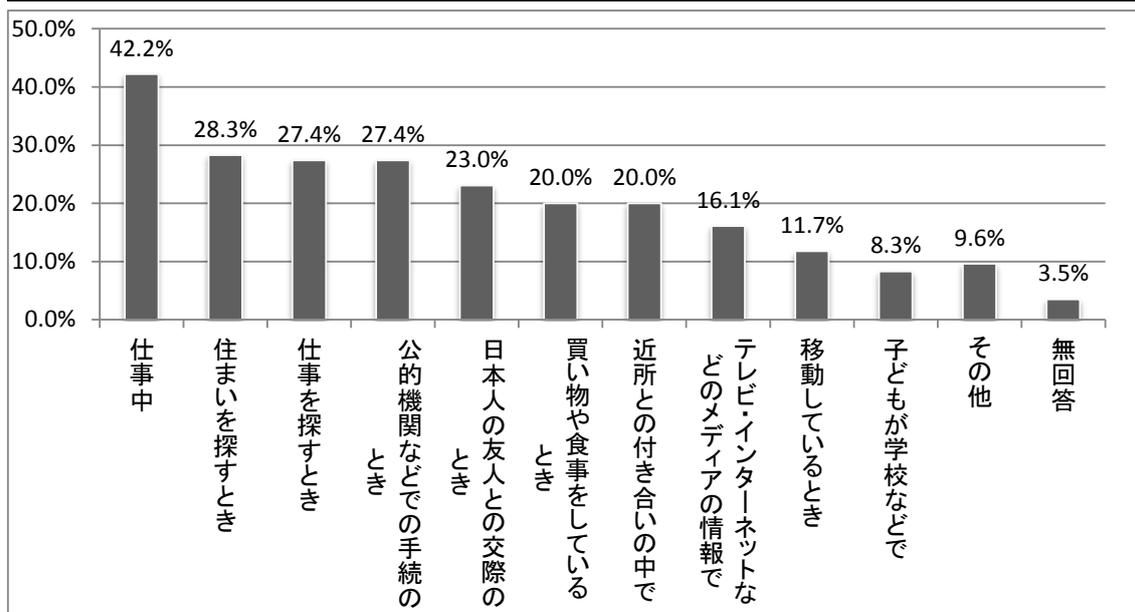


図41 いやな経験・つらい思いの具体的内容

(42) 現在困っていること

現在生活上で最も困っていることについては、「日本語の理解」が最も多くの人からあげられており、25.2%の回答者が選択している。次いで、「生活費用」が23.2%、「子育て・教育」および「老後の生活」が各17.2%となっている。一方、24.0%の回答者が「とくになし」と回答している。

問 42 あなたが生活している上で、現在最も困っていることは何ですか (3つまで)

表 42 現在困っていること

	N	%
日本語の理解	101	25.5%
生活費用	92	23.2%
子育て・教育	68	17.2%
老後の生活	68	17.2%
病気・けが	52	13.1%
就職	43	10.9%
仕事	41	10.4%
友人・知人や近所の人との人間関係	32	8.1%
住宅	27	6.8%
家族の介護	14	3.5%
家族との人間関係	13	3.3%
家族に関する問題(1、8~10を除く)	12	3.0%
その他	18	4.5%
とくになし	95	24.0%
無回答	28	7.1%
計	396	100%

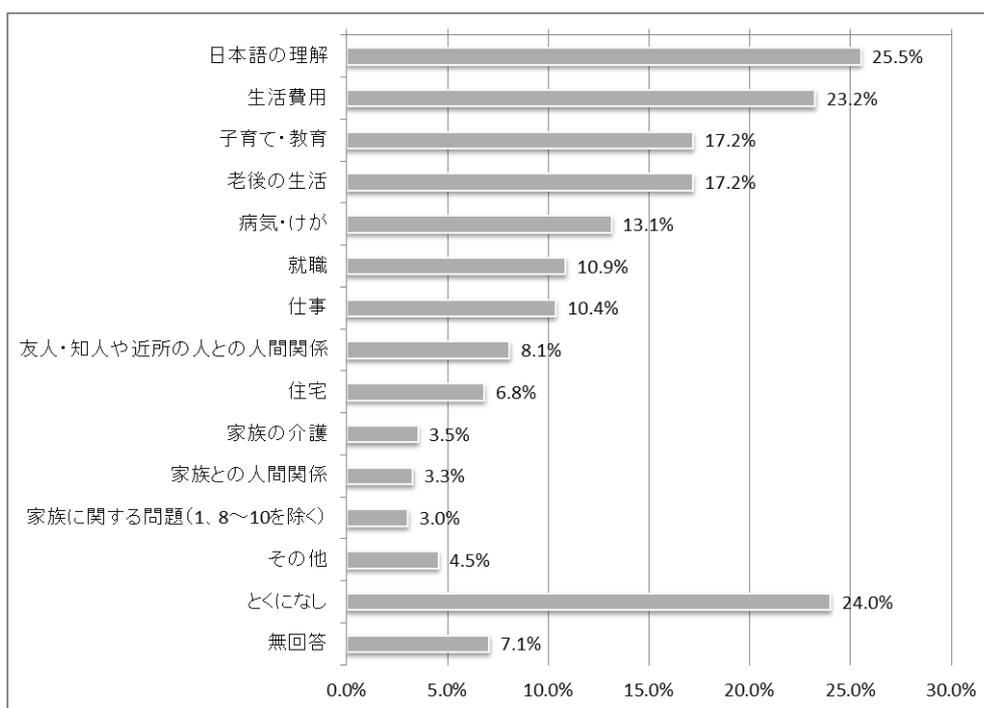


図 42 現在困っていること

(43) 社会活動

社会活動への参加および参加意向について見ると、「母国語や母国文化を生かせる交流活動」と「自分の仕事や学業を生かせる交流活動」は「する予定なし」割合が最も高く、「特技や趣味を生かせる文化・スポーツ活動」、「住民として地域のために役立つ活動」、「福祉や国際交流などボランティア活動」、「母国出身者のために役立つ活動」はいずれも「してみたい」割合が最も高くなっている。「母国語や母国文化を生かせる交流活動」および「特技や趣味を生かせる文化・スポーツ活動」をしている割合は各 10.4%で、その他の活動をしている割合はいずれも 10%に満たない。

問 43 あなたは、仕事や学業以外で何らかの社会活動をしていますか。
 またはどのように考えていますか。

表 43 社会活動

		している	してみたい	する予定なし	無回答	計
母国語や母国文化を生かせる交流活動	N	41	142	160	53	396
	%	10.4%	35.9%	40.4%	13.4%	100%
自分の仕事や学業(専攻)を生かせる交流活動	N	25	146	160	65	396
	%	6.3%	36.9%	40.4%	16.4%	100%
特技や趣味を生かせる文化・スポーツ活動	N	41	164	137	54	396
	%	10.4%	41.4%	34.6%	13.6%	100%
住民として地域のために役立つ活動	N	38	186	120	52	396
	%	9.6%	47.0%	30.3%	13.1%	100%
福祉や国際交流などのボランティア活動	N	23	174	144	55	396
	%	5.8%	43.9%	36.4%	13.9%	100%
母国出身者のために役立つ活動	N	27	177	134	58	396
	%	6.8%	44.7%	33.8%	14.6%	100%
その他	N	8	13		375	396
	%	2.0%	3.3%		94.7%	100%

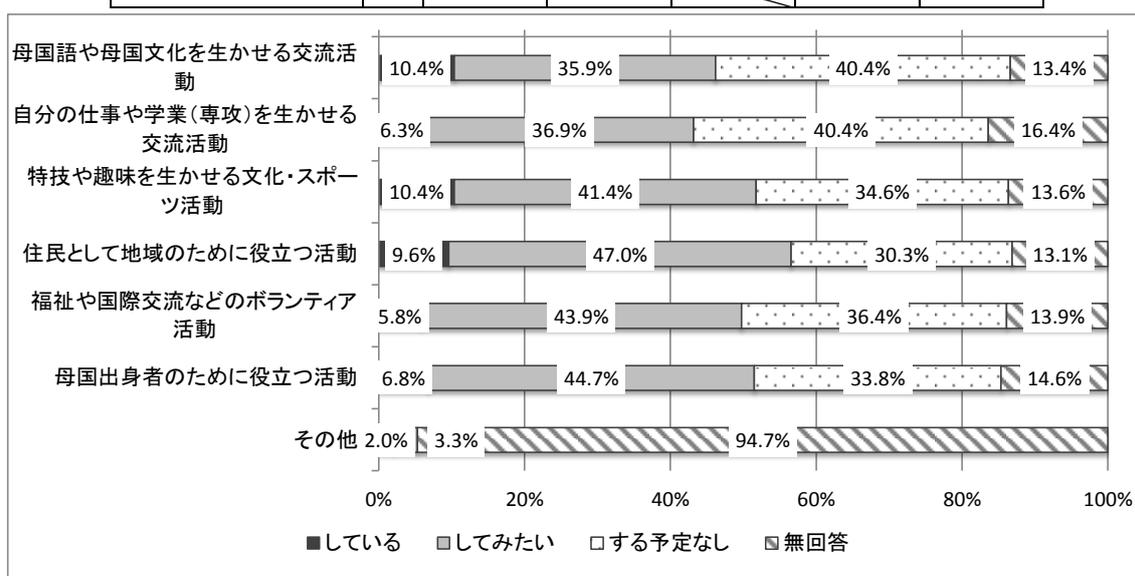


図 43 社会活動

10 防災

(44) 東日本大震災の被災経験

東日本大震災の被災経験について見ると、宮城県内で被災した人が 42.9%、他の都道府県で被災した人が 9.3%で、全体のうち 52.2%が被災経験があり、被災していない人の割合 45.2%を上回っている。

問 44 あなたは、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災を経験しましたか

表 44 東日本大震災の被災経験

	N	%
宮城県内で経験した	170	42.9%
他の都道府県で経験した	37	9.3%
経験していない	179	45.2%
無回答	10	2.5%
計	396	100%

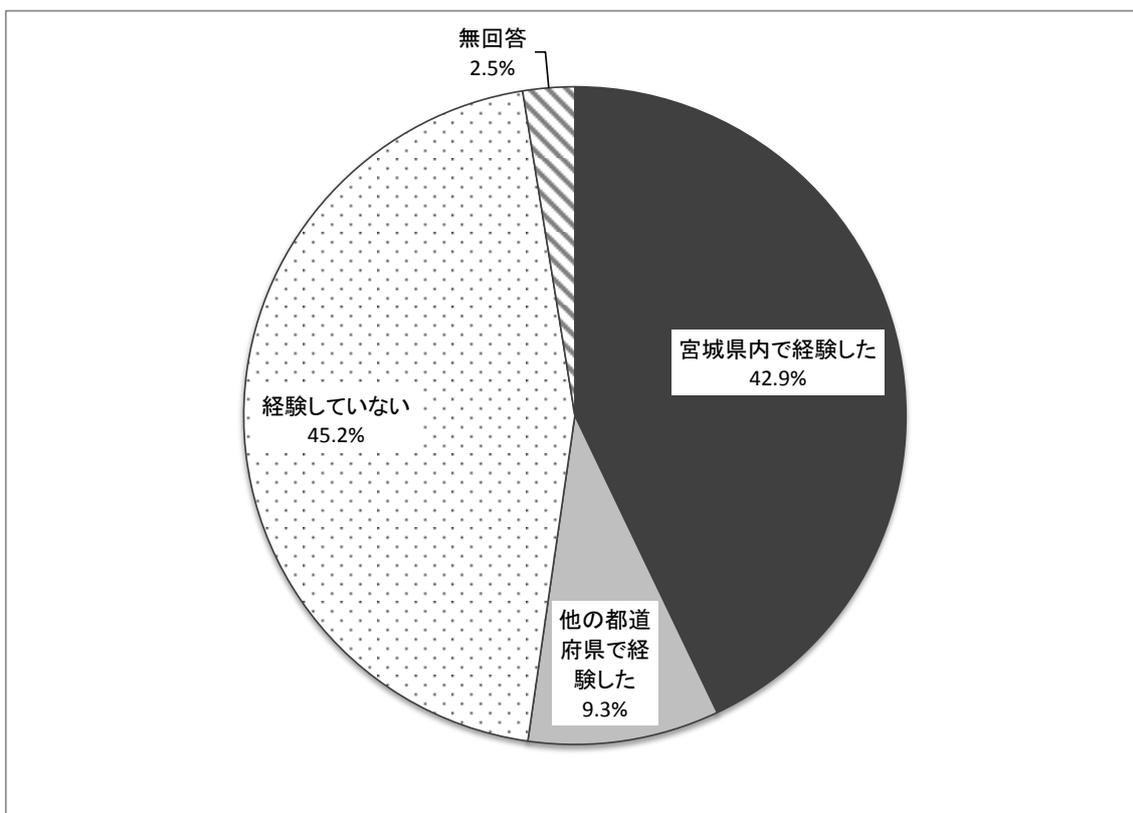


図 44 東日本大震災の被災経験

(45) 地震直後に知りたかった情報

地震から1週間までの間に知りたかった情報については、「ライフラインの復旧状況」が最も多く、71.8%の回答者が選択している。次いで「地震の情報」が64.7%、「福島第一原子力発電所の事故の情報」が53.5%、「家族・友人の安否」が52.9%となっている。また、「津波の情報」も50%程度の人があげている。

問 45 地震直後から1週間までの間に知りたいことは、何でしたか（複数回答）

（問 44 で「宮城県内で経験した」と回答した人）

表 45 地震直後に知りたかった情報

	N	%
ライフライン（電気・ガス・水道）の復旧状況	122	71.8%
地震の情報	110	64.7%
福島第一原子力発電所の事故の情報	91	53.5%
家族・友人の安否	90	52.9%
津波の情報	87	51.2%
どのに避難すればよいか	53	31.2%
母国の大使館・領事館の情報	34	20.0%
出国の方法	24	14.1%
外国語で相談できる窓口	9	5.3%
行政の8以外の相談窓口	6	3.5%
その他	5	2.9%
無回答	1	0.6%
計	170	100%

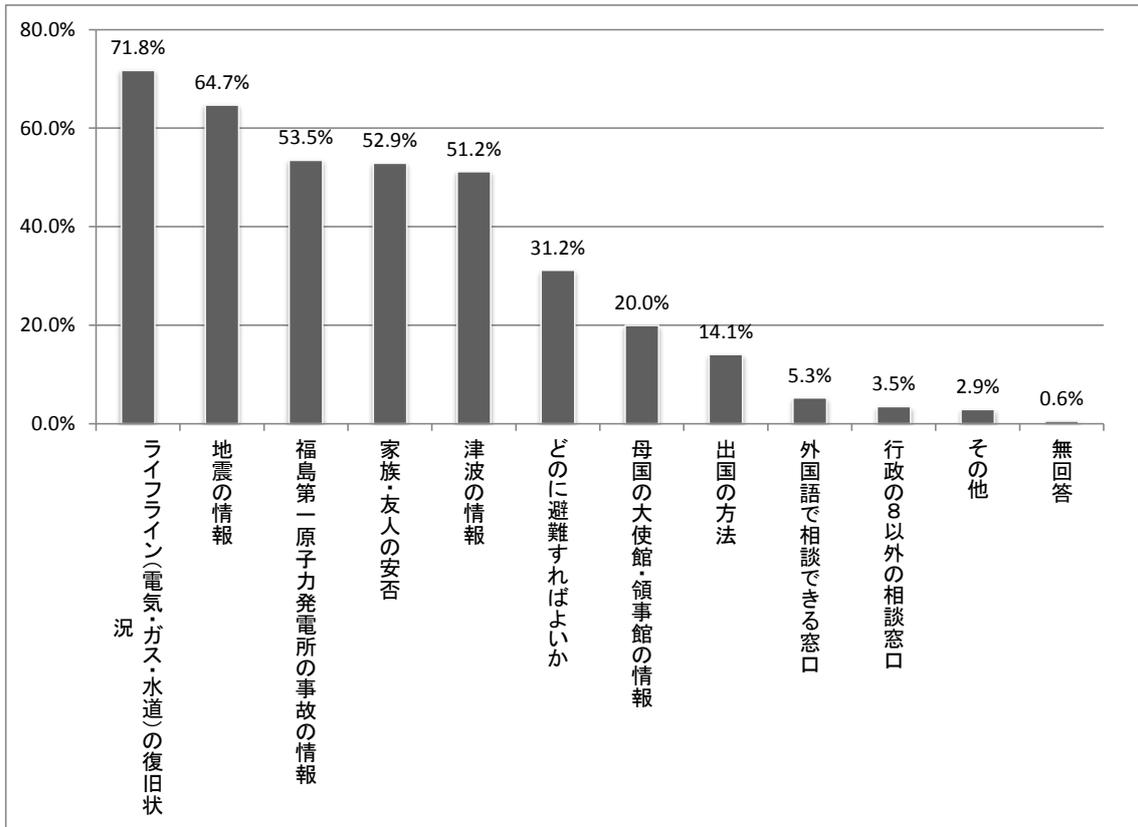


図 45 地震直後に知りたかった情報

(46) 地震直後に得た情報の入手先

地震直後に得た情報の入手先を見ると、日本語のテレビ放送から情報を得ていた人の割合が最も高く、46.5%を占めた。次いで日本語のラジオ放送が 35.5%、日本人の友人・知人が 26.7%、日本にいる家族・親戚が 25.3%となった。一方、情報を全く得ることができなかった人は回答者の 1.8%にとどまった。

問 46 地震直後から 1 週間までの間、知りたい情報はどこから得ましたか (複数回答)

表 46 地震直後に得た情報の入手先

	N	%
日本語のテレビ放送	101	46.5%
日本語のラジオ放送	77	35.5%
日本人の友人・知人	58	26.7%
日本にいる家族・親戚	55	25.3%
携帯電話のワンセグテレビ・インターネット	50	23.0%
母国出身の友人・知人	44	20.3%
近所の人	42	19.4%
職場・学校	36	16.6%
新聞	33	15.2%
パソコンのインターネット	28	12.9%
行政のお知らせ	27	12.4%
国外にいる家族・親戚	27	12.4%
避難所にいた人	25	11.5%
地域の災害エフエム放送	14	6.5%
ツイッター、フェイスブック	9	4.1%
母国以外の外国出身の友人・知人	8	3.7%
情報は全く得ることができなかった	4	1.8%
日本語以外のテレビ放送	3	1.4%
情報は必要なかった	2	0.9%
日本語以外のラジオ放送	1	0.5%
その他	0	0.0%
無回答	16	7.4%
計	217	100%

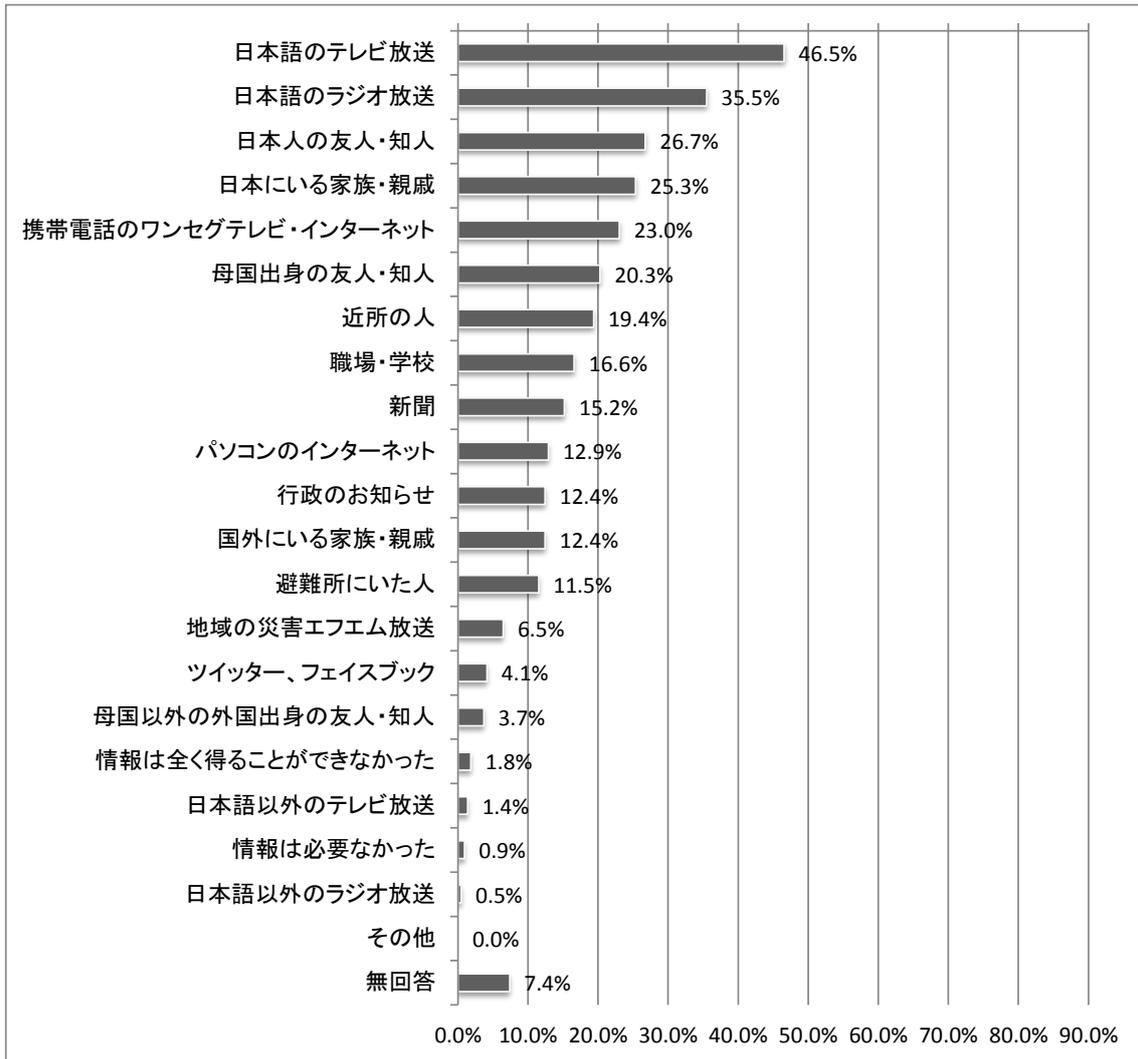


図 46 地震直後に得た情報の入手先

(47) 地震についての知識

宮城県で地震が多いことを知っていた割合は 61.8%となっており、知らなかった割合 34.1%を上回っている。

問 47 宮城県では地震が多いことを知っていましたか

表 47 地震についての知識

	N	%
知っていた	134	61.8%
知らなかった	74	34.1%
無回答	9	4.1%
計	217	100%

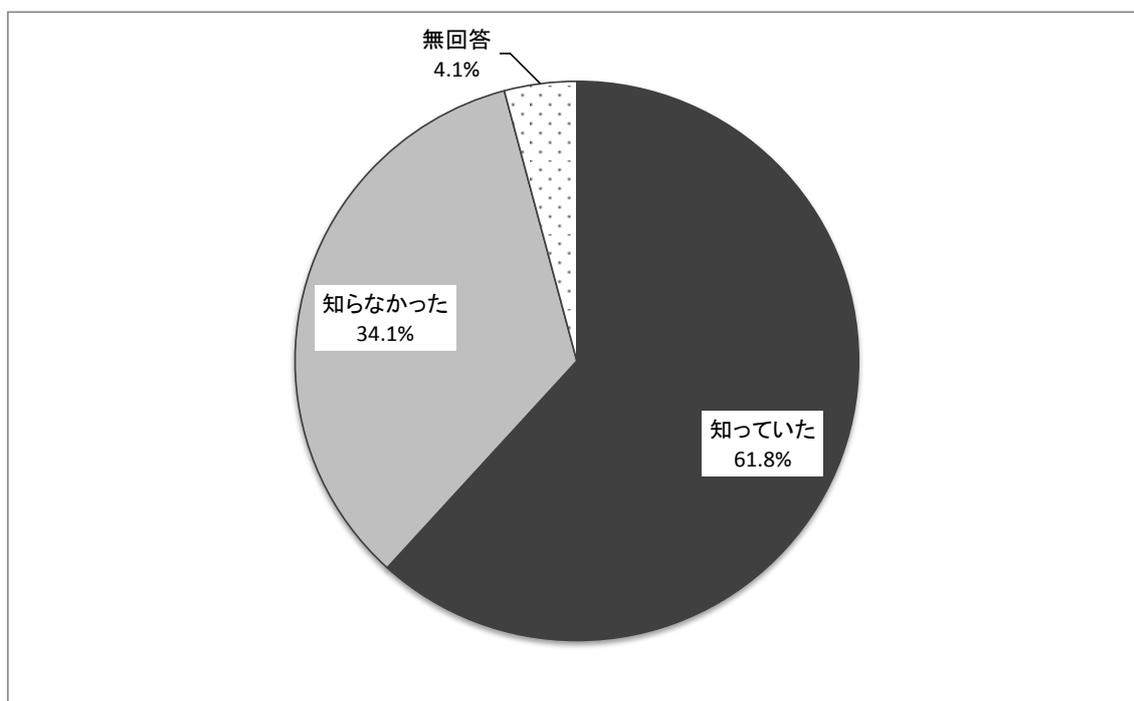


図 47 地震についての知識

(48) 津波についての知識

地震発生後に津波が来る可能性があることを知っていた人の割合は 50.2%で、知らなかった人の割合 46.1%をやや上回った。なお、津波が来る可能性があることを知っていた割合は、地震が多いことを知っていた割合と比べると 10 ポイント以上低くなっている。

問 48 地震発生後には、津波が来る可能性があることを知っていましたか

表 48 津波についての知識

	N	%
知っていた	109	50.2%
知らなかった	100	46.1%
無回答	8	3.7%
計	217	100%

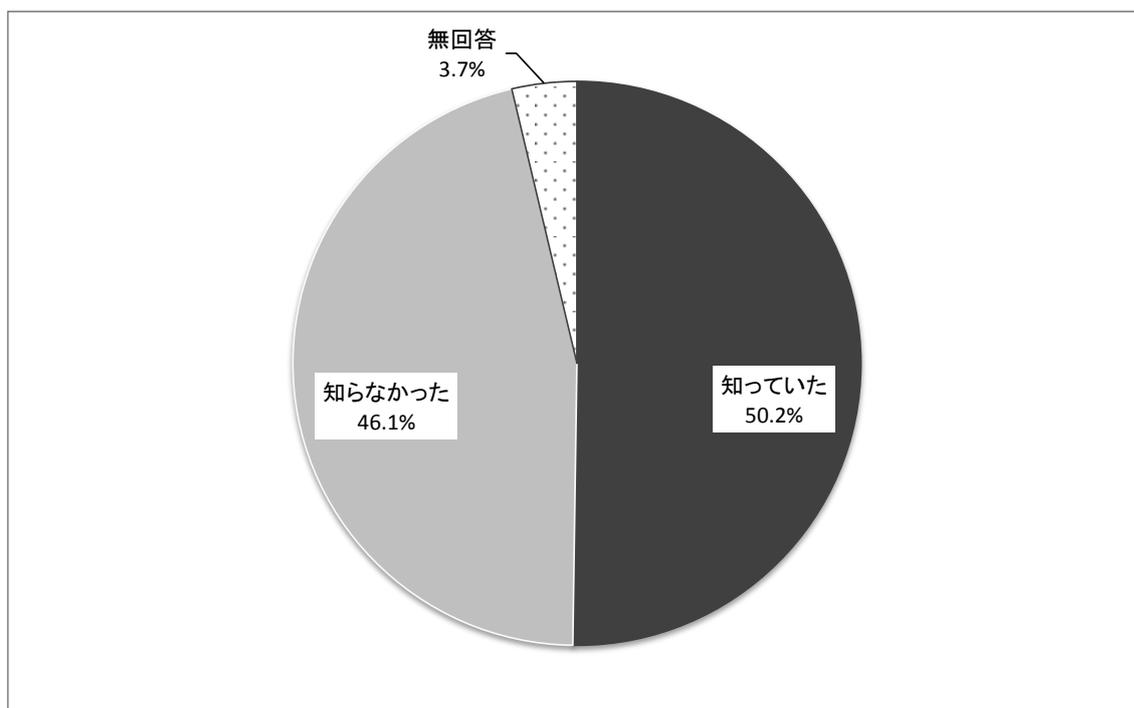


図 48 津波についての知識

(49) 地震・津波についての知識の入手先

地震や津波についての知識を獲得した方法について見ると、家族や友人などから聞いた人が最も多く、29.1%となっている。また、日本に来る前から知っていた人の割合も21.7%と比較的高い。その他の入手先については、いずれも10%を下回っている。

問 49 それをどのようにして知りましたか

(問 47・問 48 で「知っていた」と答えた人)

表 49 地震・津波についての知識の入手先

	N	%
家族や友人などから聞いた	51	29.1%
日本に来る前から知っていた	38	21.7%
自分で勉強した	16	9.1%
先生から聞いた、または学校の資料で見た	12	6.9%
防災訓練に参加した時に知った	7	4.0%
職場で聞いた	4	2.3%
その他	22	12.6%
無回答	25	14.3%
計	175	100%

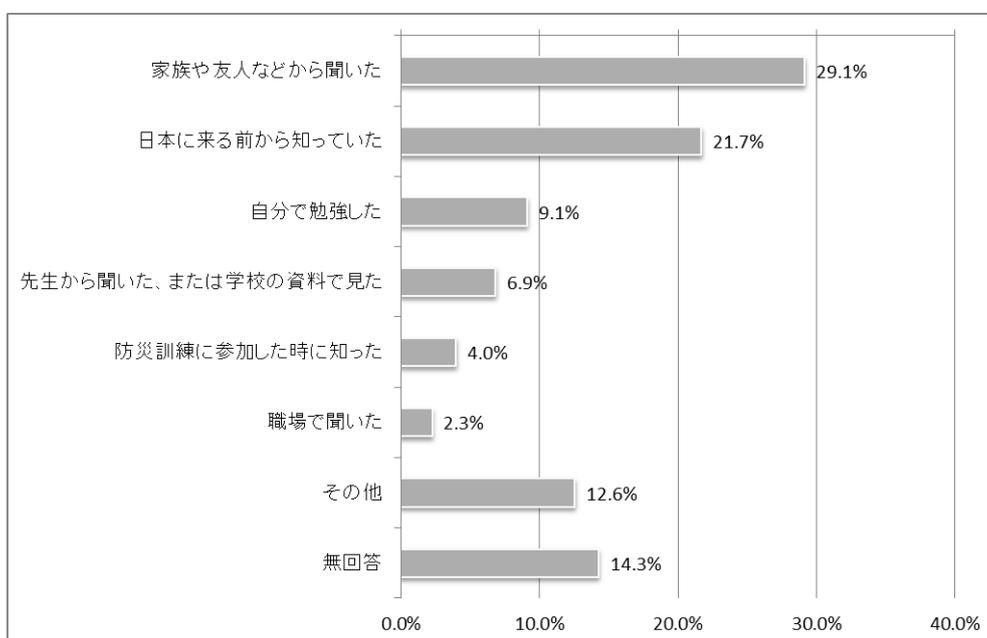


図 49 地震・津波についての知識の入手先

(50) 防災用語についての知識

4つの防災用語の意味を知っているかどうかを見ると、最も意味が知られている津波であり、67.7%の人が「意味も知っている」と回答している。避難は57.1%、注意報は52.3%、警報は52.5%の人が「意味も知っている」と回答している。これに対し、高台については「意味も知っている」と答えた割合は42.7%にとどまり、32.8%が「知らない」と回答している。

問 50 『津波』、『高台』、『避難』、『注意報』、『警報』の意味を知っていますか。

震災を経験した方は、経験前に知っていたかについてお答えください

表 50 防災用語についての知識

	津波		高台		避難		注意報		警報	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
聞いたことがある	76	19.2%	79	19.9%	80	20.2%	92	23.2%	86	21.7%
意味も知っている	268	67.7%	169	42.7%	226	57.1%	207	52.3%	208	52.5%
知らない	33	8.3%	130	32.8%	71	17.9%	78	19.7%	82	20.7%
無回答	19	4.8%	18	4.5%	19	4.8%	19	4.8%	20	5.1%
計	396	100%	396	100%	396	100%	396	100%	396	100%

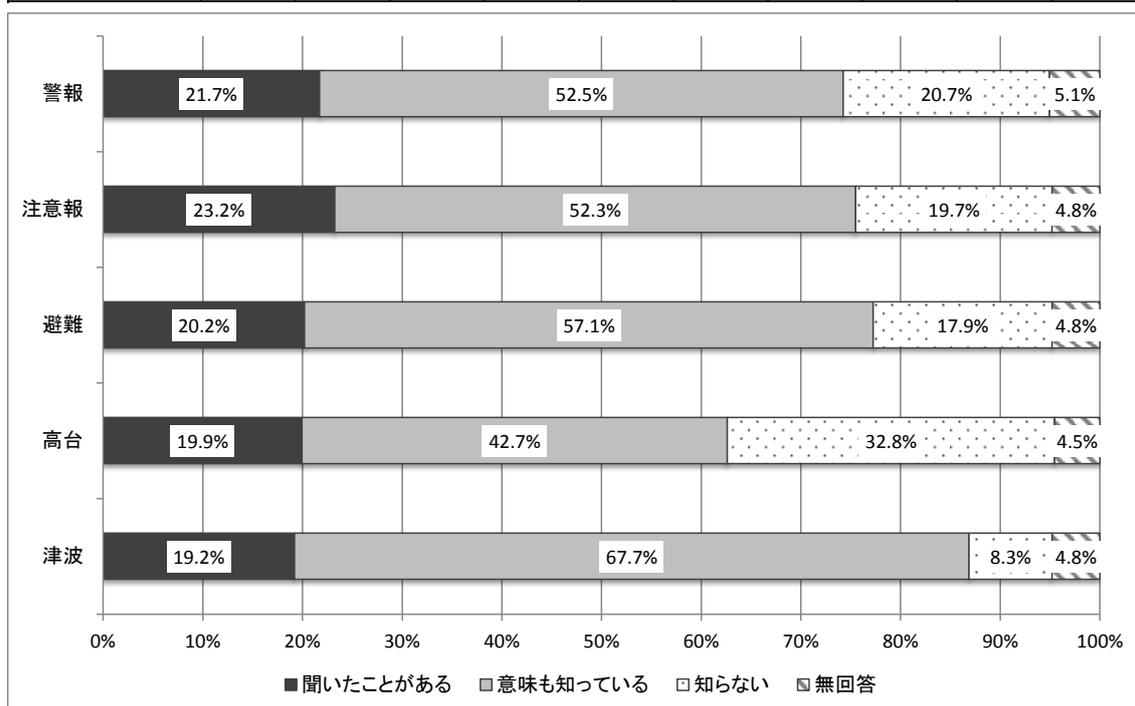


図 50 防災用語についての知識

(51) 災害から身を守る方法

災害から身を守るために必要なものとしては、「防災用品を準備する」が74.2%と最も多くの人を選択している。次いで「災害に関する知識を身につける」が70.7%、「避難所の場所や避難経路を確認しておく」が64.4%、「住宅の耐震化や家具の固定を行う」が32.6%となっている。

問 51 災害から自分の身を守るために、必要であると感じていることは何ですか

(3つまで)

表 51 災害から身を守る方法

	N	%
防災用品を準備する	294	74.2%
災害に関する知識を身につける	280	70.7%
避難所の場所や避難経路を確認しておく	255	64.4%
住宅の耐震化や家具の固定を行う	129	32.6%
日ごろから近所との交流を持つ	74	18.7%
日本語の学習をする	72	18.2%
母国語での情報提供を受ける	58	14.6%
その他	4	1.0%
無回答	18	4.5%
計	396	100%

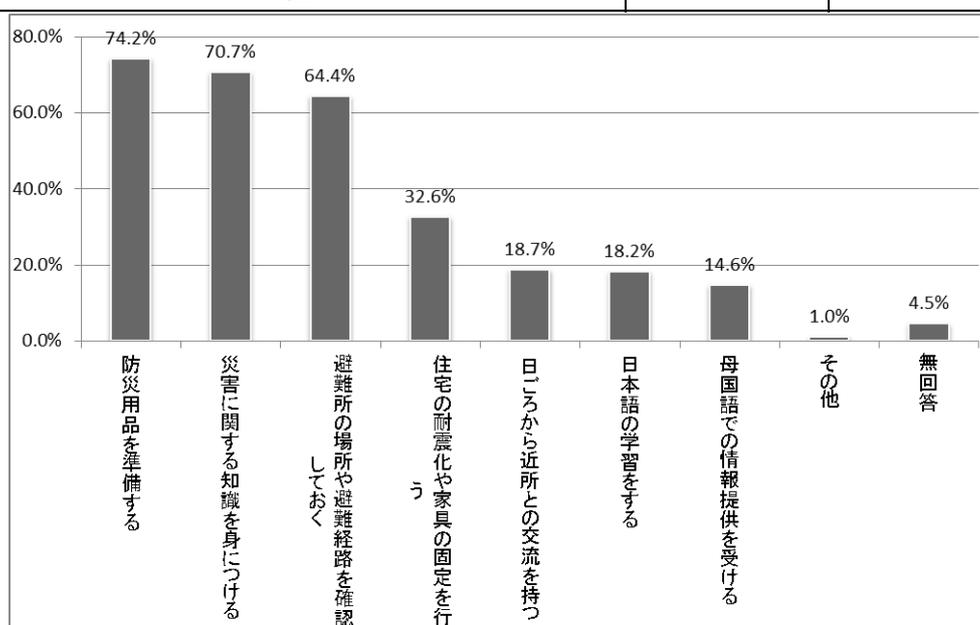


図 51 災害から身を守る方法

1 1 行政

(5 3) 行政施設を利用する上で困ったこと

行政施設を利用する上で困ったことについては、「ほとんどない」と回答する割合が 35.6%、「まったくない」と回答する割合が 34.1%であり、約 70%の人が問題をあまり感じていない。一方、「よくある」と回答する割合は 3.5%、「時々ある」と回答する割合は 22.5%となっている。

問 53 市役所や町役場、入国管理局などの行政の施設を利用するうえで、
困ったことがありますか

表 53-1 行政施設を利用する上で困ったこと

	N	%
よくある	14	3.5%
時々ある	89	22.5%
ほとんどない	141	35.6%
まったくない	135	34.1%
無回答	17	4.3%
計	396	100%

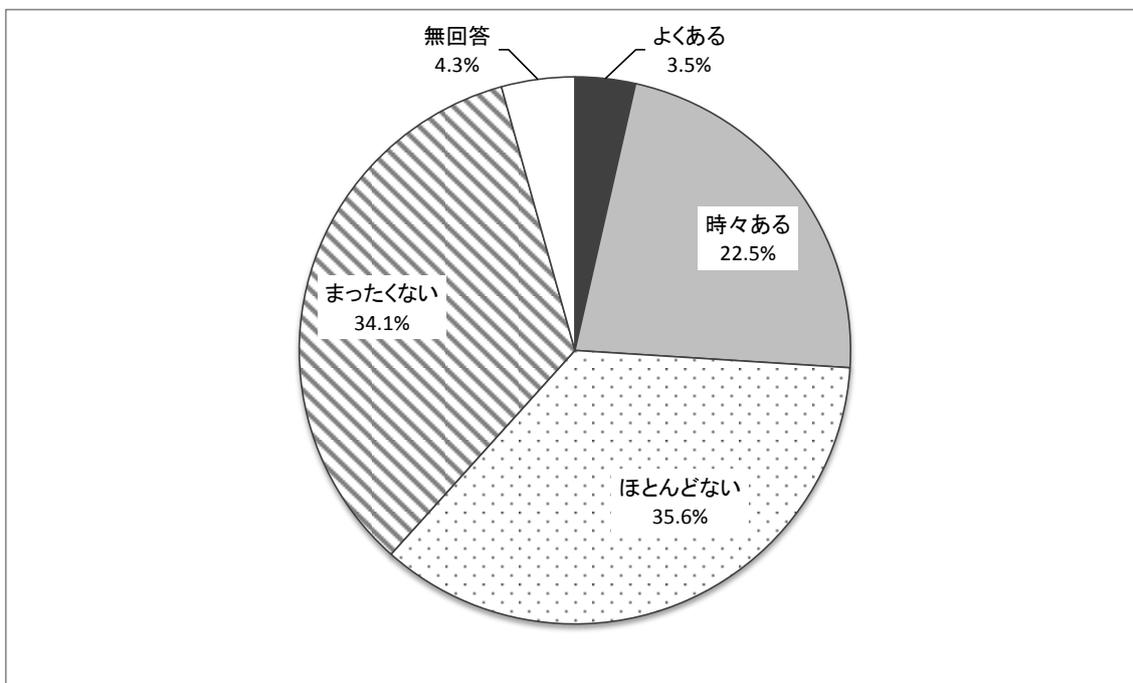


図 53-1 行政施設を利用する上で困ったこと

困ったことが「よくある」または「時々ある」と答えた人に対して、具体的な内容を聞いたところ、最も多かったのは「色々な書類をそろえるのが難しい」で53.4%、次いで「書類の内容、書き方がわからない」および「どのようなサービスがどこで受けられるのかわからない」が各39.8%、「窓口で言葉が通じない」が22.3%となっている。

表 53-2 どのようなときに感じたか

	N	%
色々な書類をそろえるのが難しい	55	53.4%
書類の内容、書き方がわからない	41	39.8%
どのようなサービスがどこで受けられるのかわからない	41	39.8%
窓口で言葉が通じない	23	22.3%
施設の場所、利用時間などの情報が入手できない	10	9.7%
その他	20	19.4%
無回答	4	3.9%
計	103	100%

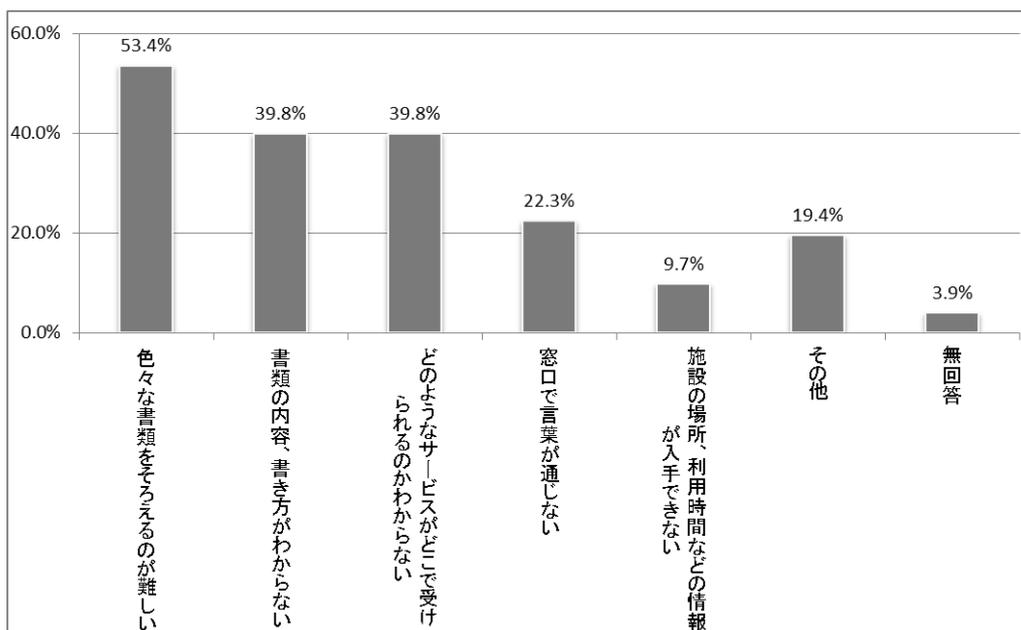


図 53-2 どのようなときに感じたか

(54) 充実してほしい行政情報

行政に充実してほしい情報として最も多く挙げられているのは、「税金、健康保険、年金」で36.9%が選択している。次いで「病院・医療」が30.3%、「就職、雇用」が23.5%、「事故や災害など緊急時の対応」が22.2%となっている。

問 54 行政が提供する情報のうち、充実してほしい情報はありますか (3つまで)

表 54 充実してほしい行政情報

	N	%
税金、健康保険、年金	146	36.9%
病院・医療	120	30.3%
就職、雇用	93	23.5%
事故や災害など緊急時の対応	88	22.2%
在留資格、住民登録	66	16.7%
教育制度・学校	64	16.2%
ゴミの出し方	52	13.1%
地域での交流イベントや祭り・町内会行事	51	12.9%
外国語で相談できる窓口	49	12.4%
地域の日本語を学べる場所	48	12.1%
出産・育児	42	10.6%
通訳・翻訳などのボランティアに参加する方法	36	9.1%
公共交通機関	33	8.3%
公営住宅	26	6.6%
その他	4	1.0%
とくになし	63	15.9%
無回答	23	5.8%
計	396	100%

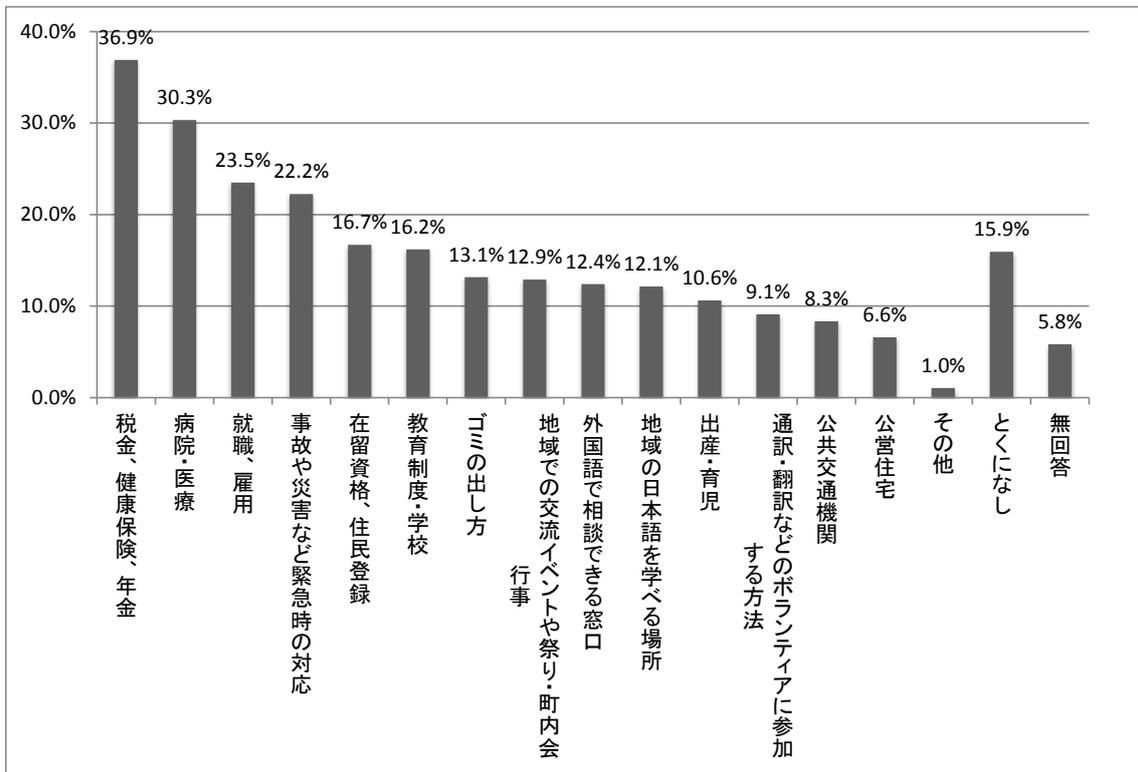


図 54 充実してほしい行政情報

(55) 行政に求めること

行政に求めることを見ると、「外国籍住民が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる」と「外国籍住民の就職を支援する」をあげる人が各 37.4%と最も多く、次いで、「外国籍住民と日本人住民が交流する機会を増やす」が 27.5%、「外国語の生活情報の提供を充実させる」および「外国籍住民の住宅入居を支援する」が各 24.7%、「日本人住民の異文化理解を進める」が 23.5%となっている。

問 55 在住する外国籍住民にとって暮らしやすいまちになるためには、
行政はどのようなことをすればよいと思いますか (3つまで)

表 55 行政に求めること

	N	%
外国籍住民が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる	148	37.4%
外国籍住民の就職を支援する	148	37.4%
外国籍住民と日本人住民が交流する機会を増やす	109	27.5%
外国語の生活情報の提供を充実させる	98	24.7%
外国籍住民の住宅入居を支援する	98	24.7%
日本人住民の異文化理解を進める	93	23.5%
外国籍住民の意見を行政に生かすための制度づくり	67	16.9%
外国語の相談窓口を充実させる	62	15.7%
外国語の案内表示を増やす	52	13.1%
子どもの教育における外国語サポートを充実させる	45	11.4%
日本人住民の外国語学習を支援する	31	7.8%
その他	15	3.8%
無回答	32	8.1%
計	396	100%

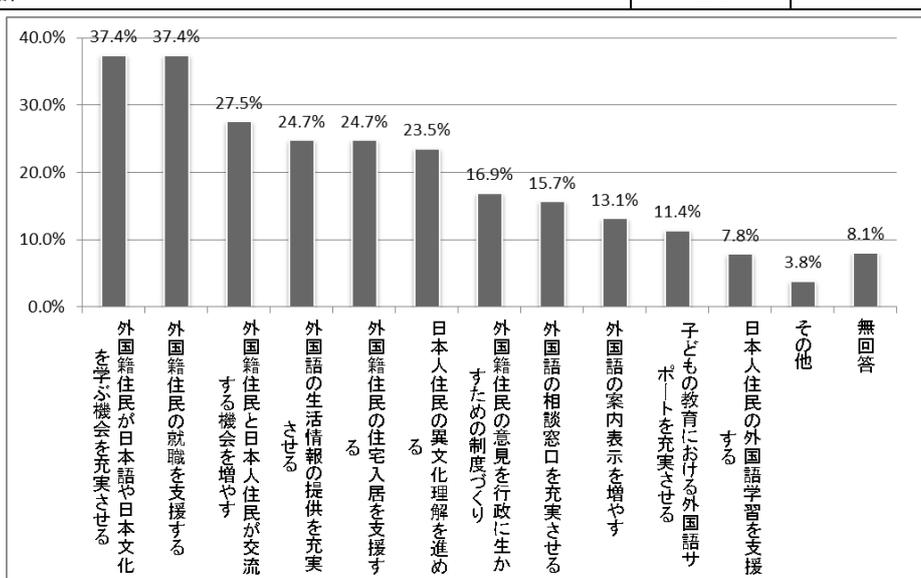


図 55 行政に求めること

Ⅲ アンケート調査票

平成29年度 宮城県外国人県民アンケート調査

県政の推進につきましては、日頃ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このアンケートは、宮城県が、外国籍住民の皆様の生活実態や意識を把握し、国籍や民族などの違いにかかわらず、県民の皆様が安心して暮らせる多文化共生(※)の社会づくりを進めるために実施するものです。

質問内容は、生活、言語、教育、防災など全部で55問の構成となっています。

この調査票は、宮城県内にお住まいの外国籍住民の皆様から、約1,900名を抽出し、郵送で配布しております。

回答に当たりますは、無記名で返信していただき、その結果は統計処理されますので、個人にご迷惑のかかるようなことはありません。

ご面倒をおかけし大変恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。

(なお、この調査票は「やさしい日本語」で表記している箇所があります。)

宮城県経済商工観光部 国際企画課長 今野 佳浩

※「多文化共生」とは

国籍、民族等の異なる人々が、互いに文化的背景等の違いを認め、及び人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きることを意味しています。

宮城県「多文化共生社会の形成の推進に関する条例」より

調査票の提出方法について

ご記入の調査票は、返信用封筒に入れていただき12月25日(月)

までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

なお、調査票は日本語版のほか、中国語(簡体字)版、韓国語版、英語版、ベトナム語版、ネパール語版を作成し、それぞれの方に最も適していると思われる言語版を送付しております。

ご回答は日本語版、外国語版のどちらか一方を使用していただき、使用した調査票のみを提出してください。

調査に関するお問い合わせや、受け取った調査票の言語では回答が難しい場合のご相談については、下記へご連絡ください。

【連絡先】 平日(月~金) 9:00~17:00 にお問い合わせください。

宮城県経済商工観光部 国際企画課

電話番号: 022-211-2972 Email: kokusaik@pref.miyagi.lg.jp

1 あなたご自身についてお聞きします

問1 あなたの国籍は次のどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|--------------------|----------|-----------|-------------|
| 1. 中国 | 2. 韓国 | 3. 朝鮮 | 4. ベトナム |
| 5. ネパール | 6. フィリピン | 7. 米国 | 8. インドネシア |
| 9. 台湾 | 10. タイ | 11. パキスタン | 12. バングラデシュ |
| 13. その他（国名： _____） | | | |

問2 あなたが住んでいる市町村はどこですか。
市町村名を記入してください。

市町村名 _____

問3 あなたの性別はどちらですか。
あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問4 あなたの年齢は以下のどれにあてはまりますか。
あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 |

問5 あなたは結婚していますか。
あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. している（配偶者の国籍： _____） | |
| 2. していない | 3. していたが、死別又は離別した |

とい問6

現在あなたと同居している人はいますか。

次のうち、あてはまる方すべての番号に○をつけ、それぞれ()の
中に人数を記入してください。また、同居者の国籍について人数、国名
を記入してください。

1. 配偶者	2. 子ども () 人	3. 父親・母親 () 人
4. 祖父母 () 人	5. 孫 () 人	
6. その他の親族 (兄弟姉妹を含む) () 人		
7. 友人・知人 () 人	8. ひとりぐらし	
国籍:	a. 日本 () 人	
	b. 自分と同じ国籍 () 人	
	c. その他の国籍 () 人 (国名:)	

とい問7

あなたの在留資格は以下のどれですか。

あてはまる番号に○をつけてください。

1. 留学	2. 永住者	3. 特別永住者
4. 家族滞在	5. 日本人の配偶者等	6. 技能実習
7. 教授	8. 技術・人文知識・国際業務	9. 定住者
10. 教育	11. 技能	12. 宗教
13. 特定活動	14. その他 ()	

とい問8

あなたは今後どれくらい、宮城県または日本に住もうと思っていますか。

あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. ずっと宮城県に住み続ける
2. 日本には永住するが、宮城県からは転出する
3. 日本には永住するが、宮城県に住み続けるかわからない
4. 将来は日本を離れる
5. 日本を離れるかどうかわからない
6. その他 (例: 母国との間を一定期間ごとに往復する、など) (具体的に:)

問9

あなたは日本国籍を取得しようとおもっていますか。
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 取得する 2. 取得しない 3. わからない

2

日常生活についてお聞きします

問10

お住まいの地域の日常生活について、総合的に、どのように感じていますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満
4. 不満 5. どちらともいえない

問11

日常生活に関する次の個別の事柄について、どのように感じていますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

生活情報	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
住宅環境	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
災害に対する備え	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
医療・福祉	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
近所付き合い	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
県や市町村が提供するサービス	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない

3 げんご ことば 言語についてお聞きします

問12 あなたの日本語能力を自分で判断するとすれば、次のどれにあたりますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

A 話す	1. 不自由なく話せる	2. だいたい話せる	
	3. あまり話せない	4. ほとんど話せない	
B 聞く	1. 不自由なく聞き取れる	2. だいたい聞き取れる	
	3. あまり聞き取れない	4. ほとんど聞き取れない	
C 読む 〔漢字〕	1. 不自由なく読める	2. だいたい読める	
	3. あまり読めない	4. ほとんど読めない	
	〔ひらがな〕	1. 不自由なく読める	2. だいたい読める
	3. あまり読めない	4. ほとんど読めない	
	〔カタカナ〕	1. 不自由なく読める	2. だいたい読める
	3. あまり読めない	4. ほとんど読めない	
D 書く 〔漢字〕	1. 不自由なく書ける	2. だいたい書ける	
	3. あまり書けない	4. ほとんど書けない	
	〔ひらがな〕	1. 不自由なく書ける	2. だいたい書ける
	3. あまり書けない	4. ほとんど書けない	
	〔カタカナ〕	1. 不自由なく書ける	2. だいたい書ける
	3. あまり書けない	4. ほとんど書けない	

問15

問14で「2.」に○をつけた方にお聞きします。

あなたはどのように日本語を学んでいますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 教材やインターネットまたはオンラインなどで自分で勉強している
2. 家族に教えてもらっている
3. 自宅に講師を招き、個人指導を受けている
4. 日本人の知人・友人に教えてもらっている
5. 通っている大学や学校で学んでいる
6. ボランティアの日本語教室に通っている
7. 語学学校（日本語学校）に通っている
8. その他（具体的に：)

問16

問14で「3.」「4.」に○をつけた方にお聞きします。

あなたが日本語を学ばない、学んでいない理由は何ですか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 忙しくて勉強する時間がないから
2. 日本語教室や日本語学校の情報がいないから
3. 近くに学べる場がないから
4. 勉強するお金がないから
5. 家族や友人などが通訳してくれるから
6. 母国の言葉だけで生活できるから
7. その他（具体的に：)

4 生活に必要な情報についてお聞きします

問17 あなたは、生活に必要な情報をどこから得ていますか。以下の中から、よく利用するものをいくつか選び、○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|----------------------|
| 1. 外国籍住民向け相談窓口（みやぎ外国人相談センターや市町村窓口等） | 3. 新聞・雑誌 |
| 2. テレビ・ラジオ | 4. 携帯電話を使用したインターネット |
| 4. パソコンを使用したインターネット | 5. 家族 |
| 6. 職場・学校 | 7. 近所の日本人、町内会の回覧 |
| 8. 日本人の友人・知人 | 9. ボランティア団体 |
| 10. 近所の日本人、町内会の回覧 | 11. 母国の大使館・領事館 |
| 12. 母国の大使館・領事館 | 13. その他（具体的に： _____） |
| 13. その他（具体的に： _____） | 14. 入手する方法がない |

5 居住についてお聞きします

問18 あなたは、通算して日本にどのくらい住んでいますか。また、宮城県、現在住んでいる市町村には、通算して何年間住んでいますか。以下の中から、あてはまる番号を選び、○をつけてください。

にほん 日本	1. 6ヶ月未満	2. 1年未満	3. 3年未満	4. 3～5年
	5. 5～10年	6. 10～20年	7. 20～30年	8. 30年以上
みやぎけん 宮城県	1. 6ヶ月未満	2. 1年未満	3. 3年未満	4. 3～5年
	5. 5～10年	6. 10～20年	7. 20～30年	8. 30年以上
げんざいす 現在住んで いる市町村	1. 6ヶ月未満	2. 1年未満	3. 3年未満	4. 3～5年
	5. 5～10年	6. 10～20年	7. 20～30年	8. 30年以上

問19

あなたは現在住んでいる市町村の前はどこに住んでいましたか。以下の
中から、あてはまる番号を選び、○をつけてください。

1. 宮城県内の他の市町村
(市・町・村)
2. 宮城県以外の都道府県
(都・道・府・県)
3. 日本以外の国・地域
(国・地域名 :)
4. 現在お住まいの市町村以外に住んだことはない

6 いりょう ふくし き
医療・福祉についてお聞きします

問20

以下のような保健・医療・介護サービスを利用したことがありますか。
あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 県または市町村の基礎健康診断
2. 県または市町村の各種がん検診
3. 県または市町村の健康相談
4. 県または市町村の心の健康相談
5. 休日・時間外の診療機関
6. 外国語で診療可能な医療機関
7. 介護保険サービス

問21

あなたが病気になるって病院に行くときに困ったことはありますか。
あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 外国語が通じる病院を利用したい
どこにあるかわからない
2. 休日・夜間に利用できる病院が
どこにあるかわからない
3. 医師や看護師と言葉が通じない
4. 日本語の書類・案内が理解できない
5. 医療費が高すぎる
6. とくに困っていることはない
7. その他 (具体的に :)

問22

あなたが病気になるって病院に行くときに、どのような言語支援があると良いと思いますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 通訳者 | 2. 母国語で会話ができるスタッフや医師 |
| 3. 母国語のパンフレット | 4. 言語支援の必要はない |
| 5. その他（具体的に： _____） | |

7 育児・教育についてお聞きします

問23

あなたには現在、18歳未満のお子さんがいますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。また、「2.」に○をつけた方は人数を記入し、それぞれのお子さんについて下記のとおりお答えください。

1. いない	2. いる（ _____ ）人
	現在の年齢 日本で生まれたお子さんに○ 日本に移住したお子さんは、移住してきた年齢
1人目	（ _____ ）歳 【 _____ 】 【 _____ 】歳
2人目	（ _____ ）歳 【 _____ 】 【 _____ 】歳
3人目	（ _____ ）歳 【 _____ 】 【 _____ 】歳
4人目	（ _____ ）歳 【 _____ 】 【 _____ 】歳
5人目	（ _____ ）歳 【 _____ 】 【 _____ 】歳

問23 で選択肢 1 を回答された方は問31へ、
 選択肢 2 を回答された方は問24へお進みください

とい問24

あなたがご家庭でお子さんと会話するときに使う言語は以下のうちどれですか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

(1) 日本で生まれたお子さんがいる場合

- | | | |
|----------|---------------------|------------------|
| 1. 日本語だけ | 2. 主に日本語 | 3. 日本語と母国語が同じぐらい |
| 4. 主に母国語 | 5. その他（具体的に： _____） | |

(2) 日本に移住してきたお子さんがいる場合

- | | | |
|----------|---------------------|------------------|
| 1. 日本語だけ | 2. 主に日本語 | 3. 日本語と母国語が同じぐらい |
| 4. 主に母国語 | 5. その他（具体的に： _____） | |

とい問25

育児について、以下のようなことで困っていることはありますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 子育てに関する悩みを相談できる相手がいない |
| 2. 子育てに関する情報が日本語なのでわかりにくい |
| 3. 子育てについて日本人の家族と意見が合わない |
| 4. 同じように子育てをしている人と知り合う機会がない |
| 5. 保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない |
| 6. その他（具体的に： _____） |
| 7. とくにない |

とい問26

以下のような子育て支援制度を利用したことはありますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 母子健康手帳 | 2. 妊産婦・新生児訪問指導 |
| 3. 乳幼児への予防接種 | 4. 乳幼児の健康診査、検査 |
| 5. 児童手当 | 6. 児童扶養手当 |
| 7. 放課後児童クラブ | 8. 子育てに関する各種電話相談 |

問27

教育について、以下のようなことで困っていることはありますか。
 あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 子どもが日本語がうまくできないので授業が理解しにくい
2. 子どもが学校になじまない
3. 進路、進学について不安がある
4. 子どもが外国人であることで差別を受けていると感じる
5. 言葉の違いなどから、保護者と学校との意思疎通がうまく行かない
6. 保育所が近くにない
7. 色々な費用が高い
8. その他（具体的に： _____）
9. とくにない

問28

あなたのお子さんは、学校で、以下のような制度を利用したことはありますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

A 日本語教室	1. 利用したことがある	2. 知っているが利用したことはない	3. 知らない
B 学校へのボランティア派遣制度	1. 利用したことがある	2. 知っているが利用したことはない	3. 知らない
C その他のサポート	1. 利用したことがある	2. 知っているが利用したことはない	3. 知らない

【A、B、Cの詳細】

- A・・・日本語が不自由な児童生徒を支援する国際学級
- B・・・宮城県国際化協会の外国籍の子どもサポートセンター事業
- C・・・AやB以外の日本語学習支援講座や、ボランティアによる教育サポート

とい
問29

あなたはお子さんに母国語や文化についての教育を受けさせたいと思いますか。

あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 現在受けさせており、今後も受けさせたいと思う
2. 現在は受けさせていないが、今後は受けさせたいと思う
3. 現在受けさせているが、今後は受けさせたいとは思わない
4. 現在受けさせておらず、今後も受けさせたいとは思わない
5. わからない

とい 問29 で選択肢 2、3、4 を回答された方は問30 へ、

選択肢 1、5 を回答された方は問31 へお進みください

とい
問30

問29 で「2.」「3.」「4.」に○をつけた方にお聞きします。現在受けさせていない、あるいは今後受けさせたいとは思わない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。

1. 母国語や文化を教えてくれる場所がない・知らない
2. 母国語や文化を学ぶ必要はない
3. 子どもが関心をもっていない
4. 日本語や日本文化を身につける妨げになる
5. 日本での勉強の妨げになる
6. その他（具体的に： _____）

8 8 労働についてお聞きします

問31 あなたは現在、どのような形態で仕事をしていますか。
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 経営者 | 2. 正社員 |
| 3. 派遣社員・契約社員 | 4. 自営業 (家業従業者、自由業等含む) |
| 5. パートタイム勤務、アルバイト、内職 | 6. 学生 |
| 7. 無職 (1～6以外で仕事を探している) | |
| 8. 無職 (1～6以外で仕事を探していない) | |

問31 で選択肢1、2、3、4、5を回答された方は問32へ、
選択肢6、7を回答された方は問35へ、
選択肢8を回答された方は問36へお進みください

問32 あなたの現在の職業は以下のうちどれにあたりますか。
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。2つ以上ある場合は、
主なもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 教員 | 2. 医療関係職 |
| 3. その他の専門職 (弁護士、会計士等) | 4. 経営・管理職 (課長以上) |
| 5. 事務職 | 6. 技術職 (研究員、技術者等) |
| 7. 技能職 (工場労働者、運転士等) | 8. サービス職 (販売員、接客業等) |
| 9. 作業員 (清掃、建設・土木、配達員等) | 10. 農林漁業 |
| 11. その他の職業 (具体的に:) | |

とい
問33

あなたは現在の仕事をどのようにして見つけましたか。
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 家族の紹介（親の仕事を継いだり、家族の仕事を手伝っている場合も含む）
2. 新聞・求人誌・チラシなど
3. 学校の紹介
4. 母国出身の友人・知人の紹介
5. 日本人の友人・知人の紹介
6. 職業安定所（ハローワーク）の紹介
7. 仕事を紹介する民間会社の紹介
8. 自分で設立
9. その他（具体的に： _____）

とい
問34

仕事で困っていることや不満はありますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 給料が安い
2. 雇用期間が短い
3. 労働時間が長い
4. いつ解雇されるか不安がある
5. 正職員になれない、又は昇格できない
6. 日本人とお互いの考えを理解しあえない
7. 上司や同僚との人間関係がうまくいっていない
8. 外国人として差別的な扱いを受けているように感じる
9. 希望する職種、業種ではない
10. その他（具体的に： _____）
11. とくにない

とい
問35

あなたは今後、宮城県または日本で働こうと思っていますか。
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 宮城県で働きたい
2. 日本で働きたいが、宮城県以外で働きたい
3. 母国に帰って働きたい
4. 日本と母国以外の国で働きたい
5. その他（具体的に： _____)
6. わからない

とい
問36

問31で「8.」に○をつけた方にお聞きします。仕事を探していない理由は何ですか。最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 就職できないから
(①から③のうち、最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。)
 - ① 日本語がうまく話せないから
 - ② 探しても希望する就職先が見つからないから
 - ③ 外国人を雇用する企業が少ないから
2. 働く意欲がわからないから
3. 生活していく上で必要がないから
4. 人間関係がよくないから
5. その他（具体的に： _____)

9 **しゃかいせいかついっばん** **き**
社会生活一般についてお聞きします

とい
問37 **げんざい**、あなたには、**なかよ**くしている**にほんじん**はいますか。a. **しょくば**、b. **がっこう**、
c. **ちいき**、d. **しょくば**・**がっこう**・**ちいき**以外のそれぞれについて、あてはまる**ばんごう**
を1つ**えら**び、○をつけてください。

a. **しょくば**

1. なん はな あ ひと 何でも話し合える人がいる	2. たま に たち ばなし ひと 話をする人ならいる
3. あいさつ をする ていど ひと 程度の人 しかいない	4. まった く い ない
5. はたら いていない	

b. **がっこう**

1. なん はな あ ひと 何でも話し合える人がいる	2. たま に たち ばなし ひと 話をする人ならいる
3. あいさつ をする ていど ひと 程度の人 しかいない	4. まった く い ない
5. がっこう に い って い ない	

c. **ちいき**
(**おな** **ちやうない**
ひと
同じ町内
の人など)

1. なん はな あ ひと 何でも話し合える人がいる	2. たま に たち ばなし ひと 話をする人ならいる
3. あいさつ をする ていど ひと 程度の人 しかいない	4. まった く い ない

d. **しょくば**・
がっこう・**ち**
い **い** **が** **い**
職場・地
域以外

1. なん はな あ ひと 何でも話し合える人がいる	2. たま に たち ばなし ひと 話をする人ならいる
3. あいさつ をする ていど ひと 程度の人 しかいない	4. まった く い ない

とい問38

あなたには、次のA～Dのようなことで悩んだり困ったりした場合、家族や親戚以外で、誰にまたはどこに相談をしようと思いますか。

A～Dのそれぞれについて、あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

A 人間関係	1. 母国出身の友人・知人	2. 近所の人	
	3. 日本人の友人・知人（2以外）	4. 母国出身者や日本人以外の友人・知人	
	5. 日本語教室の関係者	6. 民間の相談所やボランティア団体	
	7. 市役所、町村役場、県庁などの窓口	8. 市町村国際交流協会や宮城県国際化協会	
	9. その他（ ）		
	10. 自分で解決するので、相談しない	11. 相談する相手がいない	
	B 文化・習慣	1. 母国出身の友人・知人	2. 近所の人
		3. 日本人の友人・知人（2以外）	4. 母国出身者や日本人以外の友人・知人
		5. 日本語教室の関係者	6. 民間の相談所やボランティア団体
		7. 市役所、町村役場、県庁などの窓口	8. 市町村国際交流協会や宮城県国際化協会
9. その他（ ）			
10. 自分で解決するので、相談しない		11. 相談する相手がいない	
C 家族・生活		1. 母国出身の友人・知人	2. 近所の人
		3. 日本人の友人・知人（2以外）	4. 母国出身者や日本人以外の友人・知人
		5. 日本語教室の関係者	6. 民間の相談所やボランティア団体
		7. 市役所、町村役場、県庁などの窓口	8. 市町村国際交流協会や宮城県国際化協会
	9. その他（ ）		
	10. 自分で解決するので、相談しない	11. 相談する相手がいない	
	D 仕事・学業	1. 母国出身の友人・知人	2. 近所の人
		3. 日本人の友人・知人（2以外）	4. 母国出身者や日本人以外の友人・知人
		5. 日本語教室の関係者	6. 民間の相談所やボランティア団体
		7. 市役所、町村役場、県庁などの窓口	8. 市町村国際交流協会や宮城県国際化協会
9. その他（ ）			
10. 自分で解決するので、相談しない		11. 相談する相手がいない	

**とい
問39**

あなたは今後、地域の日本人とどのような交流をしたいとおもいますか。
あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 地域の行事にもっと参加したい
2. いっしょにボランティア活動などの社会活動をしたい
3. 日本人に母国の文化を紹介したい
4. 日本の文化や習慣を学びたい
5. いっしょに食事や買い物に行きたい
6. 家庭のことや子育てなどについて話し合いたい
7. その他（具体的に： _____）
8. とくに交流したいとは思わない

**とい
問40**

あなたは生活上、外国人だということでのいやかな経験やつらい思いをした（している）ことがありますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. よくある 2. 時々ある 3. ほとんどない 4. まったくない
5. 過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくない

とい 問40で選択肢1、2、5を回答された方は問41へ、
選択肢3、4を回答された方は問42へお進みください

**とい
問41**

問40で「1.」「2.」「5.」に○をつけた方にお聞きします。それはどのようなときに感じましたか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 仕事中 2. 日本人の友人との交際のとき 3. 住まいを探すとき
4. 仕事を探すとき 5. 近所との付き合いの中で 6. 子どもが学校などで
7. 買い物や食事をしているとき 8. 公的機関などでの手続きのとき
9. 移動しているとき（歩いているときや公共交通機関を利用しているときなど）
10. テレビ・インターネットなどのメディアの情報で
11. その他（具体的に： _____）

とい問42

あなたが生活している上で、現在最も困っていることは何ですか。
あてはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|-------------------------|----------|
| 1. 子育て・教育 | 2. 病気・けが | 3. 就職 |
| 4. 仕事 | 5. 生活費用 | 6. 住宅 |
| 7. 日本語の理解 | 8. 家族の介護 | 9. 老後の生活 |
| 10. 家族との人間関係 | 11. 家族に関する問題(1、8～10を除く) | |
| 12. 友人・知人や近所の人との人間関係 | | |
| 13. その他(具体的に:) | | |
| 14. とくになし | | |

とい問43

あなたは、仕事や学業以外で何らかの社会活動をしていますか。またはどのように考えていますか。それぞれについて、あてはまる番号を選び、○をつけてください。

1. 母国語や母国文化を生かせる交流活動	1. している 2. してみたい 3. する予定なし
2. 自分の仕事や学業(専攻)を生かせる交流活動	1. している 2. してみたい 3. する予定なし
3. 特技や趣味を生かせる文化・スポーツ活動	1. している 2. してみたい 3. する予定なし
4. 住民として地域のために役立つ活動	1. している 2. してみたい 3. する予定なし
5. 福祉や国際協力などのボランティア活動	1. している 2. してみたい 3. する予定なし
6. 母国出身者のために役立つ活動	1. している 2. してみたい 3. する予定なし
7. その他(具体的に:)	1. している 2. してみたい

10 ぼうさい き 防災についてお聞きします

問44 あなたは、平成23年3月11日の東日本大震災（以下「震災」といいます。）を経験しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. みやぎけんない けいけん 宮城県内で経験した。
2. ほか とどうふけん けいけん 他の都道府県で経験した
3. けいけん 経験していない

問44 で選択肢1を回答された方は問45へ、
問44 で選択肢2を回答された方は問46へ、
問44 で選択肢3を回答された方は問50へお進みください。

問45 問44で「1.」に○をつけた方にお聞きします。地震直後から1週間までの間に知りたいことは、何でしたか。
 あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. じしん じょうほう 地震の情報
2. つなみ じょうほう 津波の情報
3. ふくしまだいいちげんしりょくはつでんしょ じこ じょうほう 福島第一原子力発電所の事故の情報
4. どこに ひなん 避難すればよいか
5. かぞく ゆうじん あんび 家族・友人の安否
6. しゅつこく ほうほう 出国の方法
7. らいふらいん でんき がす ずいどう ふつきゆうじょうきょう ライフライン（電気・ガス・水道）の復旧状況
8. がいこくご そうだん まどぐち 外国語で相談できる窓口
9. ぎょうせい いがい そうだんまどぐち 行政の8以外の相談窓口
10. ぼこく たいしかん りょうじかん じょうほう 母国の大使館・領事館の情報
11. た くたいてき 其他（具体的に：)

問46

地震直後から1週間までの間、知りたい情報はどこから得ましたか。
あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. 日本語のラジオ放送
2. 日本語のテレビ放送
3. 地域の災害エフエム放送
4. 携帯電話のワンセグテレビ・インターネット
5. パソコンのインターネット
6. ツイッター、フェイスブック
7. 新聞
8. 日本語以外のラジオ放送
9. 日本語以外のテレビ放送
10. 日本にいる家族・親戚
11. 国外にいる家族・親戚
12. 近所の人
13. 日本人の友人・知人 (12を除く)
14. 母国出身の友人・知人
15. 母国以外の外国出身の友人・知人
16. 避難所にいた人
17. 職場・学校
18. 行政のお知らせ
19. その他 (具体的に:)
20. 情報は全く得ることができなかった
21. 情報は必要なかった

問47

宮城県では地震が多いことを知っていましたか。
あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問48

地震発生後には、津波が来る可能性があることを知っていましたか。
あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問47・問48 で選択肢1を回答された方は**問49**へ、
選択肢2を回答された方は**問50**へお進みください

とい問49

とい問47・問48で「1.」を選んだ方にお聞きします。

それはどのようにして知りましたか。

あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 日本に来る前から知っていた | 2. 家族や友人などから聞いた |
| 3. 先生から聞いた、または学校の資料で見た | 4. 職場で聞いた |
| 5. 防災訓練に参加した時に知った | 6. 自分で勉強した |
| 7. その他（具体的に： _____） | |

とい問50

『津波』、『高台』、『避難』、『注意報』、『警報』の意味を知っていますか。震災を経験した方は、経験前に知っていたかについてお答えください。

それぞれの言葉について、あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

津波（つなみ）	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない
高台（たかだい）	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない
避難（ひなん）	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない
注意報（ちゅういほう）	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない
警報（けいほう）	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない

とい問51

災害から自分の身を守るために、必要であると感じていることは何ですか。あてはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 災害に関する知識を身につける | 2. 防災用品を準備する |
| 3. 住宅の耐震化や家具の固定を行う | |
| 4. 避難所の場所や避難経路を確認しておく | |
| 5. 母国語での情報提供を受ける | 6. 日本語の学習をする |
| 7. 日ごろから近所との交流を持つ | |
| 8. その他（具体的に： _____） | |

とい
問54

ぎょうせい ていきょう じょうほう じゅうじつ じょうほう
行政が提供する情報のうち、充実してほしい情報はありますか。
あてはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------|-----------------|------------|
| 1. 就職・雇用 | 2. 病院・医療 | 3. 出産・育児 |
| 4. 教育制度・学校 | 5. 税金、健康保険、年金 | |
| 6. 事故や災害など緊急時の対応 | 7. 在留資格、住民登録 | |
| 8. 公営住宅 | 9. 公共交通機関 | 10. ゴミの出し方 |
| 11. 地域の日本語を学べる場所 | 12. 外国語で相談できる窓口 | |
| 13. 通訳・翻訳などのボランティアに参加する方法 | | |
| 14. 地域での交流イベントや祭り・町内会行事 | | |
| 15. その他（具体的に： _____） | | |
| 16. とくになし | | |

とい
問55

ざいじゅう がいこくせきじゅうみん く
在住する外国籍住民にとって暮らしやすいまちになるためには、
ぎょうせい
行政はどのようなことをすればよいと思いますか。
じゅうよう おも ばんごう
重要だと思うことを3つまで選び、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1. 外国籍住民が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる | 2. 外国語の生活情報の提供を充実させる |
| 3. 外国語の相談窓口を充実させる | 4. 外国語の案内表示を増やす |
| 5. 子どもの教育における外国語サポートを充実させる | 6. 外国籍住民の就職を支援する |
| 7. 外国籍住民の住宅入居を支援する | 8. 外国籍住民の意見を行政に生かすための制度づくり |
| 9. 日本人住民の異文化理解を進める | 10. 日本人住民の外国語学習を支援する |
| 11. 外国籍住民と日本人住民が交流する機会を増やす | |
| 12. その他（具体的に： _____） | |

平成29年度宮城県外国人県民アンケート調査結果報告書

平成30年3月

【編集・発行】 宮城県経済商工観光部国際企画課
〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号
TEL 022-211-2972 FAX 022-268-4639
URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ftp-kokusai/>

【集計・分析】 東京商工リサーチ東北支社